
令和4年度事業報告書

社会福祉
法人 柏市社会福祉協議会

目次

I 総括・重点事業報告

1	総括			1頁
2	重点的な取り組み			1頁

II 法人運営・計画・団体事務局等

1	役員会議等	自主	総務課	4頁
2	第4期柏市地域健康福祉活動計画	自主	総務課	5頁
3	柏市住民福祉大会	自主	総務課	6頁
4	啓発活動	自主	総務課	6頁
5	災害対策	自主	各課	8頁
6	社会福祉関係行事の後援等	自主	総務課	9頁
7	柏市民生委員児童委員協議会事務局	事務協力	総務課	11頁
8	他機関との連携・支援	自主	各課	11頁

III 会費・寄附・共同募金等

1	会員会費	自主	総務課	15頁
2	寄附	自主	総務課	15頁
3	共同募金〔千葉県共同募金会柏市支会〕	事務協力	総務課	16頁
4	共同募金・歳末たすけあい配分事業	自主	総務課	17頁
5	自動販売機設置経営事業	自主	総務課	19頁

IV 地域支援・ボランティア

1	地域活動拠点事業	自主・市補助	地域福祉課	20頁
2	エリアごとの支援体制整備事業	市委託	地域福祉課	26頁
3	地区社会福祉協議会の支援	自主・市補助	地域福祉課	28頁
4	生活支援体制整備事業	市委託・市補助	地域福祉課	29頁
5	ボランティア活動〔ボランティアセンター〕	自主・市補助	地域福祉課	35頁
6	ふれあい型給食サービス	自主	地域福祉課	37頁
7	柏市総合福祉センター関係事業	市委託	地域福祉課	38頁
8	地域活動館の運営	自主	総務課	40頁
9	地域子育て支援拠点事業（はぐはぐ広場沼南）	市委託	相談支援課	41頁
10	利用者支援事業	市委託	相談支援課	42頁
11	こどもの居場所活動団体の支援	自主	地域福祉課	43頁

V 福祉教育

1	福祉教育パッケージ指定地域の支援	県社協助成	地域福祉課	44頁
2	体験学習支援	自主	地域福祉課	44頁
3	「福祉の心」作品展	自主	地域福祉課	45頁
4	実習生の受入	自主	総務課	46頁

VI 在宅福祉サービス

1	さわやかサービス	自主・市補助	総務課	47頁
2	移動サービス	自主・市補助	総務課	48頁
3	かしわファミリー・サポート・センター事業	市委託	相談支援課	49頁
4	車いすの貸出	自主	相談支援課	50頁

VII 相談支援・貸付・援護金

1	福祉相談事業	自主	相談支援課	51頁
2	福祉資金貸付事業	自主	相談支援課	53頁
3	生活福祉資金貸付事業	県社協委託	相談支援課	53頁
4	交通遺児援護金等支給	自主・事務協力	相談支援課	55頁
5	緊急援護金支給事業	自主	相談支援課	56頁
6	若者自立支援活動団体の支援	自主	相談支援課	57頁
7	自殺予防対策事業 [かしわお元気コール事業]	自主・市補助	地域福祉課	57頁
8	障害者の就労支援	自主	総務課	59頁
9	ウクライナからの避難者支援事業	受託	相談支援課	59頁

VIII 権利擁護・地域包括支援センター

1	成年後見利用促進（中核機関）事業	市委託	相談支援課	60頁
2	成年後見事業	自主・市補助	相談支援課	64頁
3	柏市市民後見人推進事業	市委託	相談支援課	66頁
4	福祉サービス利用援助事業	県社協委託・市補助	相談支援課	68頁
5	沼南地域包括支援センター	市委託	相談支援課	69頁

IX 施設管理

1	沼南社会福祉センター設置経営事業	自主・市補助	総務課	74頁
2	介護予防センターいきいきプラザ管理運営事業	市委託	総務課	74頁
3	老人福祉センター管理経営事業	指定管理	総務課	75頁

[参考] 役員（理事・監事）・評議員・組織図

1	役員（理事・監事）名簿	77頁
2	評議員名簿	78頁
3	組織図	79頁

第4期 柏市地域健康福祉活動計画

社協アクションプラン・発展強化計画進捗状況

I 社協アクションプラン

1	地域・団体支援、ネットワークづくり	81頁
2	新たなしくみや活動づくり	86頁
3	人材の育成や活用、支援	91頁
4	生活課題解決への取り組み	97頁
5	情報発信・普及啓発	101頁

II 社協発展・強化計画

1	拠点戦略	104頁
2	人事戦略	106頁
3	運営戦略	108頁
4	財政戦略	110頁

I 総括・重点事業報告

1 総括

令和4年度も新型コロナウイルス感染症の流行により、市民生活や地域福祉活動の面では制約がありましたが、ワクチン接種の広まりや感染対策の定着もあって、徐々に日常生活に戻りつつあるところです。

これに対応して、地域におけるサロン活動や各種の交流活動も、その時々々の感染状態をにらみながらも、継続的に開催されるようになってきました。本会が主催する柏市住民福祉大会も3年ぶりに関係者の参加を得て開催することができました。

こうした一方で、コロナ禍の後遺症ともいえるべき社会的孤立や生活上の困難が深まり、よりきめ細かな支援が必要になっています。

このような潜在化し複雑・複合化した住民の生活課題に対応するため、柏市では、令和4年度から多様な相談機関が連携・協力して相談支援する体制の構築を進めることとなりました。本会においては、地域いきいきセンターをはじめとして、ブロックごとの多機関連携のコーディネートや子どもから高齢者までの様々な相談部署でこの連携の一翼を担うこととしています。

令和4年11月には、新たに「増尾地域いきいきセンター」を開設しました。「地域包括支援センター」や「通いの場」と同じ建物に同居していることから、新たな連携の方向を試みてまいります。

このほか、令和元年の房総半島台風など近年の異常気象による水害や将来予測されている大規模地震への備えとして、例年災害ボランティアセンターの設置対応訓練を実施しているところですが、今回はこれに加えて、本会が設置する災害対策本部の運営上の課題を把握するため、図上訓練を実施しました。また、これらに併せて、柏市との具体の連携内容や費用負担等の協議を行い協定書を締結することとなりました。

令和5年度においても、新型コロナウイルスの感染には注意を要する状況ではありますが、子どもの貧困対策など新たな課題にも積極的に取り組み、誰もが安心して生活できる地域社会の構築に努めてまいります。

2 重点的な取り組み

(1) 新たな取り組み

① エリアごとの支援体制整備事業の受託

重層的支援体制整備事業における多機関協働事業を柏市から新規に受託し、柏市および関係機関との連携による事業骨子・体制づくりに取り組みました。複合的な課題を抱えた世帯への支援を検討する重層的支援会議を開催し、相談支援専

門機関の調整、ネットワークづくりを進めるとともに、いきいきセンターを中心とした伴走支援を実施しました。

[26 頁／エリアごとの支援体制整備事業]

(2) 充実・強化

① 社会福祉法人の地域公益活動推進に向けたネットワークの構築

複雑・複合化している地域のニーズに対し、複数の法人が連携・協働して応えていくことで、社会福祉法人の価値や信頼を高めていくため、ネットワーク組織設立準備会を開催し、次年度の発足を目指して合意形成および組織の活動内容の検討を行いました。

[社会福祉法人ネットワークの取り組みの三本柱]

- ・法人間の情報共有と地域への情報発信
- ・人材育成（確保）と職員間交流
- ・地域公益活動の推進

[14 頁／他機関との連携・支援]

② 災害時における組織体制の強化と関係団体等との連携体制の構築

災害時対応マニュアルに新たに「災害対策本部機能訓練」「関係団体との調整、協定等」の項目を追加し、各拠点における必要人員の把握及び応援体制の図上訓練を行うとともに、柏市との協議・調整を実施し、協定の締結に向けて内容を整理しました。

[8 頁／災害対策]

③ 地域いきいきセンターの設置と常設型通いの場の開設

「ほのぼのプラザますお」内に、市内 9 か所目となる増尾地域いきいきセンターを開設しました。また同一施設において地域活動団体との連携・協働による常設型の通いの場を開設し、いきいきセンターとの一体的な運営によって、相談支援体制の構築や地域づくりに取り組みました。

[25 頁・35 頁／地域活動拠点事業・生活支援体制整備事業]

④ 参加支援を推進する多世代交流事業の展開

ラコルタ柏において、様々な活動を行う団体や相談支援機関と連携・協働し、ラコルタ柏のコンセプトである「誰もが集える みんながつながる 地域へ広がる」の実現に向けて、年齢等の属性にとらわれない講座・イベントを実施しました。

※イベント実施状況 80種 271回 延べ7,743名

[38 頁／柏市総合福祉センター関係事業]

⑤ 一時預かり事業（ぞうさんルーム）の拡充

利用者のニーズに応え、5月から新たに第4火曜日を追加しました。

また、利用回数の上限を設定したことで、新規の方が予約を取りやすくなり、利用者の幅が広がりました。引き続きぞうさんルームのニーズに対応できるよう、関係機関と調整・協議していきます。

[50 頁／かしわファミリーサポート・センター事業]

⑥ 出張「みずたま相談室」の拡充と出張「はぐはぐひろば」の実施

出張「みずたま相談室」は、新たに南部地域と光ヶ丘地域のいきいきセンターで実施しました。しかし、相談件数が少ないため、南部地域いきいきセンターでは「出張ひろば」の開催など利用機会の拡大に努めましたが、未だ増加には繋がっていない状況であり、更なる周知の強化に努めていきます。

また、ラコルタ柏で開始した出張「はぐはぐひろば」は、はぐはぐひろば沼南まで足を運ぶことのできない親子の参加が多く、キャンセル待ちが出るほどの利用状況となっています。

[42 頁／利用者支援事業]

(3) 調査・研究

① 理事会等の機能強化に向けた定数及び選出区分等の検討

令和5年度の理事改選に向けて定数及び選出区分の検討を行いました。また、理事部会、評議員懇談会において、様々な立場から本会運営および地域福祉推進に関わる意見をいただきました。

[4 頁／役員会議等]

② 遺贈による寄附の受け入れの仕組みづくり

相続人がいない高齢者の増加や慣れ親しんだ「地域」への想いを受け止める仕組みづくりとして、(公財) 成年後見センター・リーガルサポート千葉県支部に協力をいただきながら遺贈寄附のパンフレットを作成するとともに、紙ひこうき9月号に記事を掲載し、住民への周知に取り組みました。

[16 頁／寄附]

③ 福祉サービス利用援助事業利用料の検討

これまで県内一律とされていた利用料や生活支援員の手当てが、令和5年4月1日から、各市町村社協で設定することとなったことを受け、柏市社協における利用料等について検討しました。

利用料は、「利用者が利用しやすい制度であること」を念頭に置き、利用者の所得状況や物価、公共料金等生活費の増加を踏まえ、当面の間は据え置きとすること、生活支援員賃金は最低賃金を踏まえた水準を設定することとしました。

[68 頁／福祉サービス利用援助事業]

④ 基金や募金等の活用による子ども・子育て支援等の仕組みづくり

生活困窮家庭の児童・生徒への支援として、柏ロータリークラブの物品寄附を活用した学用品支援(体操服や文房具)を実施しました。また、生活困窮等で修学旅行費の立替払いが困難な世帯に対する特別貸付の対象拡大を関係機関と検討しました。

令和5年度からは、自主財源を活用した継続的事業として実施することとしました。

[16 頁／寄附]

Ⅱ 法人運営・計画・団体事務局等

1 役員会議等

自 主

総 務 課

(1) 正副会長会議の開催状況

期 日	主な内容
R4. 5. 19	[第1回] 令和3年度事業報告・計算書類等の承認、補正予算の承認、諸規程の一部改正、評議員候補者の推薦及び評議員選任・解任委員会委員の招集、定時評議員会の招集等
R5. 3. 7	[第2回] 令和5年度事業計画・予算、定款細則の制定、諸規程の一部改正、役員等賠償責任保険契約の締結、不納欠損処分、第2回評議員会の招集等

(2) 理事会の開催状況

期 日	主な内容
R4. 6. 2	[第1回] 令和3年度事業報告・計算書類等の承認、補正予算の承認、諸規程の一部改正、評議員候補者の推薦及び評議員選任・解任委員会委員の招集、定時評議員会の招集等
8. 25	[企画・財政、地域・生活合同部会]子ども子育て支援等のしくみづくり、日常生活自立支援事業の利用料設定、遺贈による寄附金受入れのしくみづくり等
11. 24	[第2回] 評議員候補者の推薦及び評議員選任・解任委員会委員の招集等
R5. 3. 16	[第3回] 令和5年度事業計画・予算、定款細則の制定、諸規程の一部改正、役員等賠償責任保険契約の締結、不納欠損処分、第2回評議員会の招集等

(3) 評議員会の開催状況

期 日	主な内容
R4. 6. 24	[定 時] 令和3年度事業報告・計算書類等の承認、補正予算の承認等
10. 14	[懇談会] それぞれの出身団体と柏社協の連携について、社協への理解を広めるために
R5. 3. 24	[第2回] 令和5年度事業計画・予算、規程の一部改正等

(4) 監査の実施状況

期 日	主な内容
R4. 5. 11	[顧問会計士監査] 令和3年度下半期会計監査（～R4. 5. 13）
5. 24	[監 事 監 査] 令和3年度事業報告・決算報告
11. 9	[顧問会計士監査] 令和4年度上半期会計監査（～R4. 11. 11）

(5) 評議員選任・解任委員会の開催状況

期 日	主な内容
R4. 6. 8	[残任期間] 評議員 3 名の解任及び選任
12. 5	[残任期間] 評議員 1 名の選任

(6) 福祉サービス調整委員会議

期 日	主な内容
R5. 3. 3	苦情等の報告、その他

2 第 4 期柏市地域健康福祉活動計画

自

主

総務課

(1) 計画全体・地区別計画

前年度までの成果や課題を踏まえ、令和 4 年度の実施計画を策定するとともに、柏市支えあい推進協議会を開催して計画の進捗管理や推進方策の検討を行いました。





期 日	柏市地域支えあい推進協議会のテーマ
[第 1 回] R4. 9. 30	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域支えあい推進協議会の機能について ・ 第 4 期活動計画「中間期見直し追加版」について ・ 令和 4 年度生活支援体制整備事業の進捗報告について ・ 第 4 期活動計画の進捗報告および今後の展開について ・ 支えあい会議（第 2 層協議体）の活性化に向けて ・ 支えあい活動ロゴデザインの募集について
[第 2 回] R5. 2. 24	<ul style="list-style-type: none"> ・ 分野を超えた社会福祉法人のネットワークづくりについて ・ 重層的支援体制整備事業の進捗について ・ 令和 5 年度生活支援体制整備事業の進め方について ・ 支えあい活動で使用するロゴデザインについて

(2) 社協アクションプラン・発展強化計画

プラン・計画の目標達成に向けて、年 2 回の部局ヒアリングを実施するとともに、各レベルの会議において進捗管理と課題解決に努めました。

会議名	期 日	主な内容
主管者会議	毎月第 2 火曜日	重要案件等の協議、組織方針の意思決定
局長課長会議	毎月第 1 火曜日	事業の進捗確認、課題等の調整、協議
課内会議等	各課・担当毎	主管者会議、局長課長会議の伝達、業務進捗管理や調整
グループリーダー会議	隔 月 開 催	計画進捗確認、計画推進課題等の協議
ヒアリング	年 2 回 開 催	(5 月) 実施計画、(10 月) 中間期進捗確認

3	柏市住民福祉大会	自 主	総 務 課
---	----------	-----	-------

期 日	主な内容
R4. 10. 25	表彰者選考会議
R5. 1. 21	<p>第 49 回柏市住民福祉大会 [アミューゼ柏クリスタルホール] 参加者 211 名</p> <p>[第一部] 社会福祉功労者の顕彰 (個人・団体) 柏社協会長表彰状 206 名・10 団体 柏社協会長感謝状 1 名・14 団体 福祉の心作品展入賞者 5 名</p> <p>[第二部] 映画上映「僕が跳びはねる理由」</p>
	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>福祉の心作品展入賞者</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>第二部（映画の一場面）</p> </div> </div>

4	啓発活動	自 主	総 務 課
---	------	-----	-------

(1) 地域福祉の情報紙「紙ひこうき」

町会・自治会での回覧や会員向けに配布するとともに、公共施設に配架するなど、地域福祉の情報提供及び広報活動に努めました。

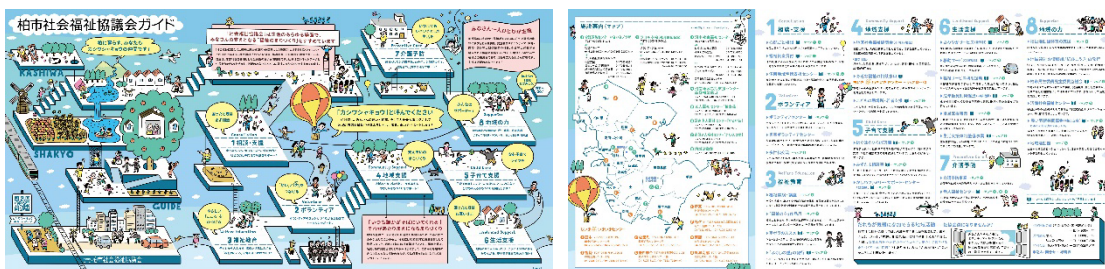
[8 ページ構成、発行部数 約 18,000 部/回]

※新型コロナウイルス感染症に伴う町会等への回覧物中止により、5 月号は 12,000 部に減りましたが、9 月号および 5 月号は町会長宛てに回覧希望を伺い、18,000 部を発行しました。



期 日	主な内容（特集）
R4. 5. 1	[181 号] 終活応援ルーム「望」ってどんなところ？
9. 1	[182 号] こんな社会になったらうれしいなあ
R5. 3. 1	[183 号] 第 49 回柏市住民福祉大会

(2) 社協ガイド



組織・事業の理解を広めるため、令和 4 年度版社協ガイドを発行しました。

(3) ホームページ

事業の対外的な発信や伝達、利便性の向上を目的に最新情報の公開に努めました。

(4) 地域福祉啓発カレンダー

事業への理解促進及び地域福祉の推進を目的に、柏市社会福祉協議会カレンダーを作製しました。特別会員をはじめ、町会及び近隣センター等の関係諸機関へ配付し、啓発を行いました。



(5) 地域活動ガイダンス

これから「何か活動に参加したい!」と考えている市民に対して、地域に係る様々な活動の情報を提供し、活動の第一歩をサポートする講座を実施しました。

期 日	会場	内 容	参加者人数
R4. 5. 27 8. 26 11. 16	ラコルタ 柏多世代 交流スペース	1 ボランティア活動・地域活動の魅力 2 個別の活動紹介（さわやかサービス・ファミリーサポートセンター・ボランティアセンター・生活支援員・お元気コール・身近な地域の活動） 3 個別の相談・マッチング	5 名 3 名 7 名
R5. 2. 18	東京大学 柏の葉キャンパス	生涯現役促進協議会が主催する、「生涯現役55歳からのセカンドキャリア塾」にて地域活動ガイダンスでお伝えした概要を説明し、セカンドライフで就労ニーズがある方に対して、社会貢献を勧めるとともに活動を紹介しました。	会場 39 名 Zoom 14 名



大規模災害時に備えて災害ボランティアセンターを始めとした支援の仕組みづくりを準備するとともに、本会の機能が継続できるよう以下の取り組みを行いました。

(1) 災害対策本部機能訓練の実施

災害時対応マニュアルに新たに「災害対策本部機能訓練」の項目を追加し、各拠点における必要人員の把握及び図上訓練を行いました。

(2) 柏市および他団体との協力体制の確立

災害時対応マニュアルに新たに「関係団体との調整、協定等」を追加し、柏市との協議・調整を実施し、協定の締結に向けて内容を整理しました。

(3) 災害ボランティアセンター

① マニュアル改訂・資機材整備

昨年度の設置訓練で挙げた課題を洗い直し、実態に即したマニュアル、様式の改訂を行いました。新規の業務フローとして、ボランティア保険加入時の領収書の発行、金銭授受を追加し、領収書発行については訓練内で実施しました。

② 災害ボランティアコーディネーター養成講座

災害ボランティアセンター運営に市民の参画を得るため、コーディネーター養成講座（訓練含む）を開催しました。（現在登録者 103 名）

項 目	R2	R3	R4
養成人数	22 名	7 名	6 名

③ 災害ボランティアコーディネーター自主勉強会等

災害ボランティアコーディネーター修了者のフォローアップとしてスキルアップ講座を開催しました。

期 日	講座名	主な内容
R5. 2. 4	災害ボランティア コーディネーター フォロー講座	「災害から命を守る・つなぐ」 講師：防災ボランティアチーム 地域 「情報防災」プロジェクト 荒谷 博氏

④ 職員研修・訓練

万一の体制整備の一環として、研修及び訓練を実施しました。

期 日	項 目	主な内容
毎月 1 回	初期行動訓練	LINEWORKS による送受信訓練
R4. 11. 10	職 員 研 修	マニュアル確認と訓練説明他
11. 19	災害ボラ訓練	災害ボランティアセンター設置・運営訓練

		参加者数 25 名（新規 5 名 修了者 20 名） 職員参加者数 38 名 [参加団体] 公益社団法人柏青年会議所 SL 災害支援ネットワーク千葉 災害支援ネットワークちば（CVOAD） 千葉県社会福祉協議会 柏市
--	--	---



災害ボランティアセンター設置・運営訓練

6	社会福祉関係行事の後援等	自 主	総 務 課
----------	---------------------	------------	--------------

▶ 当年度申請受理分〔後援 29 件〕

	後援等申請団体	内 容
1	里彩くるカエル倶楽部	柏の葉公園リサイクルフリーマーケット
2	”NPO 法人 フリーマーケット推進ネットワーク”	柏の葉公園フリーマーケット
3	エコロジーネットワークラ ズベリー	かしわ油田 柏の葉フリーマーケット
4	柏・麦わらぼうしの会	この子たちを忘れない 2022-1945 ヒロシマ・ナガ サキ原爆の記憶-
5	特定非営利活動法人 老いじたくあんしんねっと	”令和 4 年度柏市民セミナー 「遺言書の作成と生前贈与」”
6	社会福祉法人よつば	社会福祉法人よつば市民向啓発講演会
7	福祉ネットワーク水の輪	ひろげよう福祉の輪 コンサーと水の輪
8	NPO 法人ホスピスケアを広 める会	「新渡戸稲造生誕 160 周年記念とがん哲学外来 とは！」
9	福祉ネットワーク水の輪柏 支部	第 17 回水の輪・夢コンサーと&作品展

10	柏マジッククラブ	柏マジッククラブ発表会 2022
11	ワーカーズコレクティブういず	「ひとり親家庭等の子どもの食事等支援事業」
12	大津ヶ丘ふるさとまつり実行委員会	大津ヶ丘ふるさとまつり
13	介護・認知症の家族と歩む会	交流会「笑顔」～ちよっときになること～話してみませんか
14	はぐはぐフォーラム実行委員会	はぐはぐフォーラム 2023
15	社会福祉法人よつば	市民向け啓発講演会「ひきこもり・本人と家族を支援する」
16	柏市立柏高等学校	第 40 回チャリティーコンサート
17	認定 NPO 法人東葛市民後見人の会	市民後見人養成講座（基礎編）
18	NPO 法人地域活性リサイクル活動 ミルクの会	リサイクルフリーマーケット
19	特定非営利活動法人 おいじたくあんしんねっと	おいじたく公開セミナー「人生は 60 歳からが面白い」
20	認定 NPO 法人東葛市民後見人の会	講習会「老後の安心講座」
21	社会福祉法人よつば	市民向け啓発後援会「生きづらさを抱える人を支える後援会」
22	柏ユネスコ協会	第 48 回市民かるた大会
23	全国大陶器市振興組合	チャリティー全国大陶器市
24	かしわ障害者をむすぶ会（福）彩会 ザザビー・ドゥ	お「むすび」THE ラン&ウォーク
25	特定非営利活動法人 おいじたくあんしんねっと	令和 5 年度柏市民セミナー「遺言書作成と生前贈与」
26	社会福祉法人青葉会	ふれあいフェスタ 2023
27	千葉県東葛地区・生と死を考える会	30 周年記念大会及び生と死を考える会全国協議会全国大会
28	柏茶の湯協会	チャリティー納涼茶会
29	柏子どもの文化連絡会	第 24 回 増尾のもりでいっしょにあそぼう！

地域福祉を推進するため、柏市民生委員児童委員協議会事務局を担当しました。

項 目	内 容（回数、人数等）
単位民生委員児童委員協議会	22 地区
定 数	584 名[R4. 12. 1 現在定数]
訪 問 回 数	108,667 回／年[累計]
活 動 日 数	80,371 日／年[累計]
主 な 会 議 等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 三役会（第 3 火曜） ・ 単位民児協会会長会議（第 4 火曜） ・ 高齢者福祉部会 ・ 生活福祉部会 ・ 女性児童福祉部会 ・ 主任児童委員連絡会 <p>※コロナ対策をしつつ、少しずつ事業を再開。 できることを模索し、研修会等を実施。</p>

市及び関係機関との連携・支援として、役職員による会議の委員等協力、講師派遣を行いました。また、各種表彰及び民間助成応募に係る推薦も行いました。

(1) 他機関設置会議の委員等協力

① 理事・評議員（設置主体の名称は、令和 4 年度のものの）

会 議 名	設置主体
柏市健康福祉審議会 障害者健康福祉専門分科会 地域健康福祉専門分科会 児童健康福祉専門分科会	柏市福祉総務課
柏市民生委員推薦会	柏市福祉総務課
柏市廃棄物処理清掃審議会	柏市廃棄物政策課
柏市要保護児童対策地域協議会 代表者会議	柏市こども支援室
千葉県社会福祉協議会評議員会	千葉県社会福祉協議会
柏市在宅医療・介護多職種連携会議	柏市地域医療推進課
千葉県市町村社会福祉協議会会長会議	千葉県社会福祉協議会
社会を明るくする運動柏市推薦委員会	柏市福祉総務課
柏市交通政策審議会	柏市交通政策課
柏市空き家等対策協議会	柏市住宅政策課
柏市介護保険施設等事業者選定委員会	柏市高齢者支援課

千葉県共同募金会理事会	千葉県共同募金会
東葛飾地区社会福祉協議会連絡会	船橋市社会福祉協議会
豊四季台地域高齢社会総合研究会	柏市福祉政策課

② 管理職（設置主体の名称は、令和４年度のもの）

会 議 名	設置主体
柏市健康福祉審議会 高齢者健康福祉専門分科会 地域健康福祉専門分科会	柏市福祉総務課
柏市自殺予防対策連絡会議委員	柏市福祉政策課
柏市フレイル予防プロジェクト 2025 推進委員会	柏市・東大 IOG
千葉県共同募金会配分委員会	千葉県共同募金会
千葉県共同募金会支会・分会事務局長会議	千葉県共同募金会
千葉県内市町村社会福祉協議会局長会議	千葉県社会福祉協議会
柏市精神障害にも対応した地域包括ケアシステム 構築推進会議（代表者会議）	柏市保健予防課
千葉県福祉人材確保・定着東葛飾地域推進協議会	千葉県健康福祉指導課
千葉県社会福祉協議会政策調整委員会	千葉県社会福祉協議会
千葉県地域ぐるみ福祉振興基金助成事業運営委員会	千葉県社会福祉協議会
柏市災害医療検討会	柏市防災安全課
振り込め詐欺等対策会議	柏市防災安全課
地域福祉推進委員会	全国社会福祉協議会
千葉県地域福祉支援計画策定・推進協議会	千葉県
柏市障がい者スポーツ推進連絡会	柏市スポーツ課
柏市社会教育委員会議	柏市生涯学習課
柏市公民館運営審議会	柏市中央公民館
柏市立図書館協議会	柏市図書館
柏市権利擁護ネットワーク会議全体会	柏市地域包括支援課
柏市権利擁護ネットワーク会議（高齢者に関する専門部会）	柏市地域包括支援課
柏市権利擁護ネットワーク会議（成年後見制度に関する専門部会）	柏市地域包括支援課
柏市権利擁護ネットワーク会議（障害者に関する専門部会）	柏市障害福祉課
柏市地域生活支援センター支援調整会議	柏市地域生活支援センターあいネット
認知症にやさしいまちづくり会議	柏市地域包括支援課
柏市障害者差別解消支援地域協議会	柏市障害福祉課
柏市要保護児童対策地域協議会 実務担当者会議	柏市こども福祉課
柏市在宅医療・介護多職種連携協議会 啓発・広報部会	柏市地域医療推進課

柏市保健所精神保健福祉連絡協議会	柏市保健所保健予防課
柏市生涯現役促進協議会	柏市・東大 IOG
ラコルタ柏（柏市教育福祉会館）事業推進委員会	柏市福祉総務課 柏市中央公民館

③ 職員（設置主体の名称は、令和４年度のもの）

会 議 名	設置主体
老いじたくあんしんネット報告会	柏市高齢者支援課
千葉県助け合い協議会	千葉県社会福祉協議会
柏市非営利団体連絡会	タイムストック柏の会
柏市乳幼児保健懇話会	柏市教育研究所
郡市民児協事務局担当会議	千葉県民生委員児童委員協議会
千葉県共同募金会支会・分会担当会議	千葉県共同募金会
千葉社協職員連絡協議会 代議員	千葉県社会福祉協議会
柏市地域包括支援センター 運営協議会 センター長会議 社会福祉士連絡会 主任ケアマネ連携会議 医療職連携会議 認知症地域支援推進員会議 主任介護支援専門員連絡会	柏市地域包括支援課
柏市高齢者権利擁護ネットワーク運営委員会	柏市地域包括支援課
柏市介護支援専門員協議会総会	柏市介護支援専門員協議会
南部みんなの広場運営委員会	柏市子育て支援課
松戸地域生活保護受給者等就労自立促進事業協議会	ハローワーク松戸
地域包括ケアワーキンググループ	柏市・東大 IOG
柏市消費者行政推進協議会	消費者生活センター
あ・えーるテラスネットワーク会議	あ・えーるテラス
柏市精神障害にも対応した地域包括ケアシステム 構築推進会議（実務者会議）	柏市保健所保健予防課
成年後見制度利用促進地区別意見交換会	千葉県社会福祉協議会
成年後見制度利用促進体制整備のための千葉県域会議	千葉県社会福祉協議会
柏市生涯現役促進協議会総会	柏市福祉政策課

(2) 他市視察受入

	期 日	依頼者	主な内容
1	R4. 7. 22	船橋市役所	中核機関の業務について
2	R4. 10. 31	ひたちなか市大島地区ま ちづくり市民会議	たすけあい活動の立ち上げについて
3	R5. 3. 3	習志野市社会福祉協議会	成年後見（法人後見等）事業について

(3) 職員の講師派遣

地域の教育機関や各団体等へ地域福祉等の講師として職員の派遣を行いました。

	期 日	依頼者	主な内容
1	R4. 8. 21	パレット柏「子育てフォーラム」	育児相談
2	7. 9	麗澤大学	ボランティア活動について
3	9. 15	麗澤中学校	災害ボランティアについて
4	12. 7	地域生活支援拠点 サポートセンター沼南	地域包括支援センターの役割について
5	12. 9	田中地域柏市民健康づくり推進員	講習会 「乳幼児と過ごす楽しい時間」
6	12. 16	千葉県地域包括・在宅介護支援センター協議会	地域包括支援センターと社会福祉協議会の連携
7	R5. 1. 18	手話サークルかしわの会	ボランティアについて
8	1. 24	はぐはぐ子育て応援フォーラム実行委員	座談会 「どうする父親支援」
9	1. 29	はぐはぐ子育て応援フォーラム実行委員会	育児講座(父親向け) 「ドゥーラ パパ手帳を作ろう」
10	2. 13 20	医療創生大学	地域を学ぶ実習 「地域の支えあい活動」
11	3. 3	風早北部「母と子のつどい」	出張講座 「泣いている子どもの扱い方について」
12	3. 7	田中地区社会福祉協議会 子育て支援部会	子育て支援部会サポーター向け講座 「ほっこり子育て」

※「わたしの望みノート」や中核機関（かしわ福祉権利擁護センター）、沼南地域包括支援センターからの講師派遣は、各々のページに実施状況を掲載

(4) 分野を超えた社会福祉法人のネットワークづくり

社会福祉法人のネットワーク化に向けて、「情報発信」「人材育成・交流」「地域公益活動」の三本柱を掲げ、次年度の発足に向けての準備会を定期的実施しました。

期 日	会議の内容
R4. 5. 30	取り組みの柱・ネットワーク組織体制について
7. 25	〔代表者会議〕会議報告、設立後の取り組みについて
9. 26	代表者会議を受けての今後の進め方について
11. 28	地域公益活動の具体的活動について①
R5. 1. 30	地域公益活動の具体的活動について②
3. 27	情報共有発信および人材育成・研修の具体的活動について

Ⅲ 会費・寄附・共同募金等

1	会員会費	自 主	総 務 課
----------	-------------	------------	--------------

町会・自治会・区・管理組合の住民団体、企業、福祉団体、個人から、重要な財源である社協会費の協力を得ました。

種 類	R2	R3	R4
住民団体会員	[279 町会等] 33,610,029 円	[265 町会等] 31,468,700 円	[277 町会等] 32,312,801 円
特別会員	[150 法人等] 1,540,000 円	[168 法人等] 1,700,000 円	[170 法人等] 1,730,000 円
賛助会員 (団 体)	[44 団体] 305,000 円	[45 団体] 320,000 円	[41 団体] 290,000 円
賛助会員 (個 人)	[663 名] 1,114,000 円	[699 名] 1,157,500 円	[619 名] 1,012,150 円
計	36,569,029 円	34,646,200 円	35,344,951 円

2	寄 附	自 主	総 務 課
----------	------------	------------	--------------

善意の寄附金等が多く寄せられました。寄附金は、生活困窮者や子ども食堂への助成等に活用しました。また、物品預託は、福祉施設等へ寄贈しました。

(1) 寄附金

種 類	R2	R3	R4
一 般 寄 附	[96 件] 3,581,023 円	[111 件] 2,686,390 円	[99 件] 2,453,762 円
災 害 対 策 基 金	[0 件] 0 円	[0 件] 0 円	[0 件] 0 円
セーフティーネット基金	[14 件] 180,000 円	[13 件] 85,000 円	[11 件] 60,000 円
柏こども未来基金	[25 件] 775,000 円	[25 件] 743,745 円	[34 件] 1,007,529 円
支えあい推進基金	[0 件] 0 円	[0 件] 0 円	[3 件] 25,850 円
計	4,536,023 円	3,515,135 円	3,547,141 円

(2) 物品預託

種 類	R2	R3	R4
衣 料 品 [新品洋服等、寝具類等]	7 件	2 件	5 件
家 庭 用 品 [タオル、マスク、生理用品等日用品]	7 件	9 件	11 件
介 護 用 品 [車いす、紙オムツ、ポータブルトイレ等]	6 件	16 件	13 件
ベビー用品 [ベビーカー、チャイルドシート、玩具等]	7 件	1 件	7 件
食 料 品 [米、果物、レトルト食品、菓子等]	9 件	13 件	10 件
学 用 品 [文房具、体操服、給食袋、上履入れ等]	—	5 件	2 件
そ の 他 [観戦チケット、切手、金券、車両タイヤ等]	7 件	4 件	5 件
計	43 件	50 件	53 件

【物品預託の活用例】

柏ロータリークラブからの寄附物品を活用し、社会福祉協議会と相談支援機関とで連携し、生活困窮世帯の小・中学生 83 名に、学用品（体操服上下と靴下セットや文房具セット）の提供を行いました。

(3) 遺贈による寄附受け入れの仕組みづくり

相続人がいない高齢者の増加や慣れ親しんだ「地域」への想いを受け止める仕組みづくりとして、(公財) 成年後見センター・リーガルサポート千葉県支部に協力をいただきながら遺贈寄附のパフレットを作成するとともに、紙ひこうき 9 月号に記事を掲載し、住民への周知に取り組みました。



3

共同募金 [千葉県共同募金会柏市支会]

事務協力

総 務 課

(1) 募金方法別の募金額

▶ 赤い羽根募金

赤い羽根募金	R2	R3	R4
戸 別	18,004,242 円	17,604,068 円	17,363,122 円
法 人	503,639 円	422,500 円	482,800 円
学 校	846,753 円	981,690 円	803,927 円
職 域	152,832 円	151,889 円	139,743 円
その他	532,395 円	440,226 円	630,133 円
計	20,039,861 円	19,600,373 円	19,419,725 円

▶ 歳末たすけあい募金

歳末募金	R2	R3	R4
戸 別	9,861,133 円	9,399,718 円	9,652,655 円
法 人	390,500 円	312,500 円	347,500 円

その他	9,000 円	2,000 円	2,000 円
計	10,260,633 円	9,714,218 円	10,002,155 円

(2) 募金協力依頼

住民団体をはじめ、幅広い市民の協力のもと募金活動を実施しました。

また、店舗等に募金箱、しおりの設置及びポスターの掲示、デジタルサイネージ（電子看板）による広報を行いました。

区 分	町会・自治会等	法 人	学 校	募金箱・ポスターの設置
依頼数	296 件	192 件	87 件	公共施設 32 ケ所 店舗等 58 ケ所 (しおり) 5 ケ所



一人一人のあたたかい支援を大切に



柏レイソル選手の協力による
ポスター&ピンバッジ

(3) 主な募金・啓発活動

街頭募金活動	10月1日柏駅周辺において、わせがく高等学校の生徒、柏ガールスカウトの協力で実施しました。
募金啓発活動	<ul style="list-style-type: none"> 市内の店舗、大学等へ募金箱・ポスターを設置し、来街者からの寄附を募りました。 柏レイソル選手が語りかける啓発動画を制作し、柏駅頭や店舗・公共施設で放映しました。

4	共同募金・歳末たすけあい配分事業	自 主	総 務 課
---	------------------	-----	-------

(1) 配分委員会の開催

期 日	主な内容
R4. 7. 22	[第 1 回] 歳末援護金の対象世帯及びランドセル配付対象世帯の調査依頼、歳末援護金配分の見直し、歳末たすけあい財源の活用、団体助成金配分等

11. 8	[第2回] 歳末援護金配分、福祉活動団体等助成金等 歳末援護金配分及びランドセル配付の申請状況、福祉活動団体等助成金、歳末たすけあい援護金・非営利団体情報登録・福祉活動団体等助成金の見直し等
R5. 2. 7	[第3回] 生活困窮世帯援護金配分及びランドセル配付結果報告、福祉活動団体等助成の検討および地域課題解決活動プレゼンテーション、歳末たすけあい援護金の見直しに関する経過報告等
3. 2	[第4回] 地域課題解決活動助成団体の最終選考および決定等

(2) 共同募金の配分

① 配分金額

	R2	R3	R4
一般募金配分金	14,248,000 円	14,028,000 円	13,720,000 円
歳末たすけあい配分金	9,956,500 円	9,923,660 円	9,705,894 円
計	24,204,500 円	23,951,660 円	23,425,894 円

② 事業配分

活動区分	主な事業	配分金額
高 齢 者 福 祉	地域活動館運営、わたしの望みノート等	2,477,000 円
障 害 者 福 祉	当事者団体支援等	1,458,000 円
児童・青少年福祉	こども・若者支援、「福祉の心」作品展等	696,000 円
母 子 父 子 福 祉	はぐはぐひろば沼南の充実、子育て支援等	1,481,176 円
ボ ラ ン テ ィ ア	ボランティアセンター運営、災害備蓄等	5,226,542 円
福祉育成・援助	心配ごと相談事業、地区社協支援等	2,381,282 円

③ 団体助成配分

助成種類	助成数	内 訳
当事者・福祉団体	18 団体	高齢者福祉、障害児者福祉、児童福祉団体等
ボランティア団体	60 団体	スタートアップ助成 4 団体 地域貢献活動助成 60 団体 ステップアップ助成 7 団体 ※複数区分での交付団体があるため、内訳の合計と助成数は異なる。
地域課題解決活動	3 団体	[障がい理解推進チームW a ' s] ▶障がいのある方への相談支援と居場所づくり [かしわトータルヘルスケア協議会] ▶コロナ禍による生活様式変更から生じた不活動に対する支援 [虹色未来大学] ▶高齢者インターネット利活用推進と志縁型コミュニティの確立

柏市民生委員児童 委員協議会	1 団体	地区民児協運営費の一部
地区社会福祉協議会	22 団体	基本事業費の一部

5 自動販売機設置経営事業

自 主

総 務 課

自主財源確保のため、柏市及び関係機関の協力により、自動販売機設置経営事業を実施しました。

設置場所	R2	R3	R4
沼南社会福祉センター	3 台	3 台	3 台
老人福祉センター柏寿荘	1 台	1 台	1 台
南部老人福祉センター	2 台	2 台	2 台
沼南老人福祉センター	1 台	1 台	1 台
関 係 機 関	—	—	1 台
計	7 台	7 台	8 台
手 数 料 収 入 合 計	188,486 円	249,083 円	246,451 円

IV 地域支援・ボランティア

1

地域活動拠点事業

自主・市補助

地域福祉課

身近な場での相談及び地域活動支援を目的として、令和4年11月に増尾地域いきいきセンターを新規開設し、計9つのコミュニティエリア（風早南部、松葉町、光ヶ丘、豊四季台、富勢、田中、南部、新富、増尾）に拠点が広がりました。各地域いきいきセンターでは窓口運営を中心に、福祉相談、ボランティア育成、地域づくり等を実施しました。

(1) 風早南部地域いきいきセンター [H21. 4. 1 開設]

項 目	R2	R3	R4
開 設 日 数	147 日	142 日	144 日
利 用 件 数	906 件	906 件	743 件
[手段] 電 話	419 件	401 件	286 件
来 所	357 件	344 件	339 件
訪 問	110 件	125 件	115 件
メ ー ル	20 件	36 件	3 件
[目的] 相 談	163 件	177 件	156 件
地域関係	540 件	487 件	465 件
事業関係	160 件	182 件	89 件
そ の 他	43 件	60 件	33 件

主 な 事 業

地域活動支援	ふる協との連携（定例役員会、ふるさとフェアの支援）、地区社協との連携（定例役員会・見守り活動会議や地区懇談会等の行事支援、福祉教育パッケージ関連）、多世代交流型コミュニティ実行委員会との連携（定例会出席・茶論支援）、民児協との連携、地域支えあい推進員との連携（支えあい分科会、たすけあい活動運営支援、支えあい交流会、介護保険と支えあい団体に関する住民向け説明会）
ボランティア育成等講座	実施なし
その他（広報等）	かしわお元気コール実施 [別記 58 頁]、沼南地域包括支援センターとの連携（スタッフ会議出席、個別ケース対応協力）、中央公民館との連携（風早南部かるた会議出席）

(2) 松葉町地域いきいきセンター [H22. 11. 1 開設]

項 目	R2	R3	R4
開 設 日 数	146 日	144 日	144 日
利 用 件 数	984 件	1, 349 件	1, 572 件
[手段] 電 話	375 件	460 件	531 件
来 所	412 件	625 件	791 件
訪 問	132 件	188 件	203 件
メ ー ル	65 件	76 件	47 件
[目的] 相 談	151 件	158 件	325 件
地域関係	436 件	762 件	860 件
事業関係	348 件	330 件	339 件
そ の 他	49 件	99 件	48 件
主 な 事 業			
地 域 活 動 支 援	ふる協(地区社協)・民児協との連携(サロン、定例会議、行事開催支援等)、ふる協(地区社協)・民児協・包括等の連携による支えあいの推進(支えあい会議の開催、たすけあい団体の活動支援及び交流会の開催等)、町会単位の支えあい活動と居場所の立ち上げ支援、ふる協・市地域支援課との連携による通いの場(まつば R)の支援		
ボランティア育成等講座	実施なし		
その他(広報等)	ミニコミ誌発行、かしわお元気コール実施 [別記 63 頁] 北部第 2 地域包括支援センターとの連携(個別ケース支援及び地域の居場所づくりに向けた連携等)		

(3) 光ヶ丘地域いきいきセンター [H25. 5. 11 開設]

項 目	R2	R3	R4
開 設 日 数	146 日	149 日	146 日
利 用 件 数	820 件	1, 126 件	1, 147 件
[手段] 電 話	265 件	361 件	295 件
来 所	454 件	623 件	710 件
訪 問	89 件	119 件	129 件
メ ー ル	12 件	23 件	13 件
[目的] 相 談	152 件	291 件	411 件
地域関係	349 件	337 件	370 件
事業関係	192 件	276 件	254 件
そ の 他	127 件	222 件	112 件
主 な 事 業			
地 域 活 動 支 援	ふる協(執行部会、総会、理事会出席)との連携、地区社協(全体会、役員会、サロン代表者会議への出席、講座への出		

	席、イベントへの出席、両地区社協合同地区懇談会への出席、サロンの講師および取材訪問)との連携、民児協との連携(三地区合同研修会での事例発表)地域支えあい推進員との連携(支えあいコア会議、支えあい会議、ふる協政策的事業への支えあいとしての参加・協力、新町会長へのヒアリングとたすけあい活動の説明)、
ボランティア育成等講座	「心のサインに気が付いて～ストレスに負けないために～」講座実施
その他(広報等)	かしわお元気コール実施[別記 58 頁] 光ヶ丘地域包括支援センターとの連携(定例会議への出席、地域ケア会議、地域ケア圏域会議への出席、個別ケース対応協力)

(4) 豊四季台地域いきいきセンター [H27. 6. 2 開設]

項 目	R2	R3	R4
開 設 日 数	141 日	146 日	149 日
利 用 件 数	1,061 件	1,216 件	1,490 件
[手段] 電 話	571 件	552 件	614 件
来 所	320 件	367 件	520 件
訪 問	155 件	226 件	290 件
メ ー ル	15 件	71 件	66 件
[目的] 相 談	150 件	96 件	277 件
地域関係	605 件	799 件	928 件
事業関係	220 件	193 件	201 件
そ の 他	86 件	128 件	84 件
主 な 事 業			
地域活動支援	ふる協、地区社協との連携(役員会出席、地区社協行事開催支援)、ボランティア団体の支援、町会等サロンへ講師紹介等支援、ささえ愛実行委員会・WG 運営、さんあいネットワーク相談受付、地域支えあい推進員との連携(全 14 町自治会での「支えあいに関する意見交換会」の実施、通いの場・多世代交流の居場所運営継続支援等)、(株)御用聞きとの連携(豊四季台団地支えあい活動の推進及び自治会行事運営支援)		
ボランティア育成等講座	実施なし		
その他(広報等)	ミニコミ誌発行、かしわお元気コール実施[別記 58 頁]、豊四季台プロジェクトにおける東京大学・柏市・UR 等関係機関との連携、柏西口地域包括支援センターとの連携(地域ケア会議・地域推進圏域会議への出席等)		

(5) 富勢地域いきいきセンター [H29. 5. 28 開設]

項 目	R2	R3	R4
開 設 日 数	147 日	147 日	149 日
利 用 件 数	816 件	1, 524 件	1, 548 件
[手段] 電 話	206 件	362 件	353 件
来 所	477 件	925 件	879 件
訪 問	125 件	176 件	278 件
メ ー ル	8 件	61 件	38 件
[目的] 相 談	91 件	198 件	424 件
地域関係	495 件	704 件	920 件
事業関係	194 件	144 件	170 件
そ の 他	36 件	478 件	34 件

主 な 事 業

地 域 活 動 支 援	ふる協（地区社協）との連携、サロン・通いの場を訪問、地域支えあい推進員との連携（たすけあい団体立ち上げ支援、支えあい活動推進）、布施新町みらいプロジェクトの活動支援、地域の居場所づくり等にかかる打ち合わせへの参加及び後方支援、こども食堂立ち上げ・再開と運営支援
ボランティア育成等講座	「かしわお元気コールボランティア養成講座」、「LINE スタンプ作り講座」開催
その他（広報等）	かしわお元気コール実施 [別記 58 頁] 北柏地域包括支援センターとの連携（個別ケースの情報共有及び連携支援、地域ケア会議、地域ケア圏域会議への出席）、スクールソーシャルワーカーとの連携（個別ケースの対応）

(6) 田中地域いきいきセンター [R1. 8. 19 開設]

項 目	R2	R3	R4
開 設 日 数	144 日	143 日	79 日
利 用 件 数	1, 192 件	1, 064 件	930 件
[手段] 電 話	567 件	370 件	303 件
来 所	405 件	451 件	391 件
訪 問	121 件	124 件	138 件
メ ー ル	99 件	119 件	98 件
[目的] 相 談	83 件	191 件	198 件
地域関係	936 件	716 件	664 件
事業関係	166 件	134 件	62 件
そ の 他	7 件	23 件	6 件

主 な 事 業	
地 域 活 動 支 援	ふる協（地区社協）と連携、（町会等のサロン訪問、子育て・高齢者サロンの再開に向けての支援、子どもサロン、子ども食堂、多世代の居場所の立ち上げ支援、子ども会イベントの支援）支えあい活動推進（支えあい会議開催、地域元気情報の情報収集、たすけあい団体立ち上げ支援）シニアクラブ新樹会と連携（ポッチャ会立ち上げ支援、小学校を訪問し多世代交流継続の支援）民生委員・主任児童委員と連携（地域活動講座「しめ縄講座」「ミニ交流会講座」を支援）
ボランティア育成等講座	「身近な草花遊びとよもぎ染講座」を開催。
その他（広報等）	かしわお元気コール実施〔別記 58 頁〕 小学校と SSW と連携（個別ケースの対応）、柏北部地域包括支援センターと連携（定例会議への出席、個別ケア会議、地域ケア圏域会議への出席）地域の高齢者施設、児童発達支援事業所、地域生活支援事業所と連携（各個別ケース対応）

(7) 南部地域いきいきセンター [R2. 5. 11 開設]

項 目	R2	R3	R4
開 設 日 数	126 日	135 日	136 日
利 用 件 数	569 件	873 件	1, 157 件
〔手段〕 電 話	216 件	399 件	421 件
来 所	211 件	274 件	545 件
訪 問	132 件	189 件	181 件
メ ー ル	10 件	11 件	10 件
〔目的〕 相 談	107 件	325 件	519 件
地域関係	272 件	315 件	371 件
事業関係	174 件	164 件	234 件
そ の 他	16 件	69 件	33 件

主 な 事 業	
地 域 活 動 支 援	ふる協（地区社協）との連携、町会等のサロン訪問、地域支えあい推進員との連携（新町会長に支えあい活動説明、支えあいコア会議 8 回、支えあい会議 2 回、支えあい活動アンケート実施）、主任児童委員・健康づくり推進員との連携
ボランティア育成等講座	「子育て（乳幼児）世代向け・わくわくヨーガ講座」（南部いきいきセンター主催）
その他（広報等）	ミニコミ誌発行、かしわお元気コール実施〔別記 58 頁〕、南部地域包括支援センターとの連携（定例会議への出席、個別ケア会議、地域ケア圏域会議への出席、認知症カフェ）、かしわ福祉権利擁護センターとの連携（終活応援ルーム「望」）、子育て支援担当との連携（南部みずたま相談室）、住環境再生課との連携（南逆井まちづくりプロジェクト）

(8) 新富地域いきいきセンター [R3. 4. 27 開設]

項 目	R2	R3	R4
開 設 日 数	—	134 日	147 日
利 用 件 数	—	655 件	908 件
[手段] 電 話	—	150 件	254 件
来 所	—	335 件	462 件
訪 問	—	169 件	180 件
メ ー ル	—	1 件	12 件
[目的] 相 談	—	108 件	210 件
地域関係	—	352 件	418 件
事業関係	—	144 件	230 件
そ の 他	—	51 件	50 件

主 な 事 業

地 域 活 動 支 援	ふる協・地区社協との連携(役員会出席、講座内容検討)、民 児協との連携(必要時定例会に出席)、サロン・シニアクラ ブ訪問、支えあい活動推進(支えあい会議・コア会議開催、 地域元気情報の情報収集、たすけあい団体支援)、健康づく り推進員と連携してミニコミ誌発行、こども食堂立ち上げ 支援
ボランティア育成等講座	「ウォーキング講座」開催
その他(広報等)	かしわお元気コール実施[別記 58 頁] 柏西口第2 地域包括支援センターとの連携(地域ケア会議、 圏域推進会議出席、ケース共有)

(9) 増尾地域いきいきセンター [R4. 11. 1 開設]

項 目	R2	R3	R4
開 設 日 数	—	—	79 日
利 用 件 数	—	—	172 件
[手段] 電 話	—	—	37 件
来 所	—	—	106 件
訪 問	—	—	28 件
メ ー ル	—	—	1 件
[目的] 相 談	—	—	30 件
地域関係	—	—	39 件
事業関係	—	—	56 件
そ の 他	—	—	47 件

主 な 事 業

地 域 活 動 支 援	ふる協・地区社協との連携(役員会出席、町会等のサロン・ シニアクラブ訪問、講師紹介等支援)地域支えあい推進員と
-------------	--

	の連携（増尾 G5 会議 4 回、支えあい会議 3 回）小学校を訪問し多世代交流継続の支援
ボランティア育成等講座	「かしわお元気コールボランティア養成講座」開催
その他（広報等）	かしわお元気コール実施 [別記 58 頁] 地域包括支援センターとの連携（定例会議への出席、地域ケア圏域会議への出席）SSW との連携

（10）その他の取り組み

コロナ禍における生活困窮者等に対する生理用品配布の実施窓口として、来所者に対する相談対応等を実施しました。また、4 回目・5 回目のワクチン接種予約に関して、高齢者等予約システムでの予約が難しい市民に対し、電話及び窓口でのサポート、相談対応を実施しました。

2 エリアごとの支援体制整備事業（令和 4 年度新規）

市委託

地域福祉課

（1）事業推進に向けた体制づくり

あいネット・関係課等との定例会議を開催し、事業の体制づくりに取り組みました。

	R2	R3	R4
回数	-	-	11 件
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・事業方針のすり合わせ ・継続ケースの進捗確認、新規ケースの検討 ・帳票等マニュアルの確認等 ・重層的支援会議実施に向けた調整等 		

（2）周知・広報

事業の円滑な推進のため、市関係課・あいネットと連携し、地域包括支援センター、地域生活支援拠点、ハローワーク、法テラス、保護観察所等の関係機関を訪問し、事業内容の理解と連携を図りました。

（3）重層的支援会議（小会議）等の実施

重層的支援体制整備事業における多機関協働事業として、重層的支援会議等の開催を通じた関係機関のコーディネート、伴走支援を実施しました。

① 会議実施回数

	R2	R3	R4
回数	-	-	6 回

※支援会議・ケース会議を含む

② 会議提案・対応ケース数

	R2	R3	R4
新規	－	－	4 件
継続	－	－	0 件
終了	－	－	0 件
合計ケース数	－	－	4 件
主なケース内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 両親、子のそれぞれに課題のある 7 人世帯 ・ 高齢者と障害のある子の世帯 ・ 障害が疑われるひきこもりがちな単身世帯 ・ 精神疾患のある両親、不登校や障害を抱えた子の世帯 		

③ 関係機関との情報共有・連携に向けた取り組み

事業推進の中でカナミックシステムやテレビ電話（かしまるネット）を導入し、支援関係機関との効果的な情報共有・連携の体制づくりを実施しました。

(4) 重層的支援会議（中会議）の実施

相談支援関係機関への事業理解の促進、連携強化を目指し、中会議を実施しました。

期日	主な内容
R4. 12. 1	令和 4 年度の取り組み報告及び令和 5 年度の進め方 ワールドカフェ形式で事業に対する意見交換 ※大会議と合同開催

(1) 活動支援

市内22の地区社会福祉協議会で、地域の各種支えあい活動を展開しました。また、本会と地区社会福祉協議会が相互に連携が図れるよう、地区担当職員を配置し、福祉団体や行政機関と連携しながら地域福祉の推進に取り組みました。

項 目	R2	R3	R4
職員活動回数総数	944 回	1,103 回	1,170 回

▶ 主な地区社協活動

区 域	地区社協名	主な活動
北 部	田中、柏の葉、西原、 富勢、松葉、高田・松 ヶ崎	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 役員会、運営委員会、部会等の会議 ▶ 地域福祉関係者会議 ▶ ボランティア講座、研修・勉強会 ▶ ふれあいサロン・喫茶、子育てサロン ▶ 見守り、声かけ活動 ▶ 日常生活支援活動 ▶ 世代間交流（ふれあい給食） ▶ 敬老・ふれあい・ひとり暮らしの集い ▶ 相談窓口の設置、個別ケース相談 ▶ 地区懇談会 ▶ 支えあい会議 ▶ 地区内の支えあい活動団体支援 ▶ その他
中 央	豊四季台、柏中央、新 富、旭町、新田原、富 里、永楽台	
南 部	光ヶ丘、土(増尾)、南 部、藤心、酒井根	
東 部	手賀、風早南部、大津 ヶ丘・塚崎、風早北部	

(2) 連絡会等の開催

期 日	主な内容	出席者
R4. 5. 18	第1回 令和4年度地区社協活動助成金申請、オンラインサロン体験（ハイブリッド開催）	93 名
9. 21	第2回 コミュニティ・スクールについて、地域活動に係るワークショップ	52 名
12. 21	第3回（支えあい研修会） ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	-
R5. 1. 25	ふるさと協議会連合会合同 会計担当者初任者研修	25 名
2. 15	第4回（支えあい研修会） [テーマ] 多様な通いの場の構築 ～多世代の先駆的事例～ ※みんなの家タブノキ（長野県小諸市）から現地中継	144 名

(3) 活動助成金の交付

継続的な活動展開のため、運営及び活動費等を助成しました。地区別計画推進、支えあい活動、担い手育成、ネットワークづくり等を重点に交付しました。

地区社協助成金	R2	R3	R4
助成金総額	30,990,000 円	27,650,000 円	27,210,000 円

(4) 情報提供

地区社会福祉協議会が発行した広報紙や関係機関の講座・研修等の情報を各地区社会福祉協議会に提供しました。[毎月送付]

(5) 地区社協一般参加者傷害補償保険の加入

活動に参加する高齢者等一般住民のケガ等に対する傷害保険に加入しました。

4	生活支援体制整備事業	市委託・市補助	地域福祉課
----------	-------------------	---------	-------

(1) 地域支えあい推進協議会

つながりと支えあいのある地域の実現に向け、現状の活動や体制構築が適切に進められているか、進捗状況を報告し、課題解決を中心に議論しました。

期 日	主な内容
[第1回] R4. 9. 30	令和4年度生活支援体制整備事業の進捗報告について
[第2回] R5. 2. 24	令和5年度生活支援体制整備事業の進め方について 支えあい活動で使用するロゴデザインについて

(2) 支えあい研修会

子どもや高齢者、障害者などすべての人々が地域、暮らし、生きがいを共に創り、高め合うことができる地域共生社会の実現を目指し、他県の通いの場と会場をオンラインでつなぎ、視察を行いました。新たな視点や気づきを得ることで、これからの支えあい活動について考えを深めました。

期 日	主な内容	出席者
R5. 2. 15	※地区社協連絡会と同時開催 [テーマ] 多様な通いの場の構築 ～多世代の先駆的事例～ ※みんなの家タブノキ（長野県小諸市）から現地中継	144 名

(3) 地域協議体（支えあい会議）

支えあい会議の開催 [全21地域中19地域、40回開催]

地域の課題やニーズを共有し、支えあいの充実を図るために各地域で支えあい会議が実施されました。

地 域	回数	期 日
田 中	1 回	6/18
柏 の 葉	4 回	①5/29 ②8/30 ③11/12 ④2/4
西 原	2 回	①11/27 ②3/26
富 勢	0 回	
松 葉	1 回	7/23
高田・松ヶ崎	2 回	①9/10 ②12/10
豊四季台	1 回	10/18
柏 中 央	1 回	11/17
新 富	1 回	9/10
旭 町	0 回	
新 田 原	11 回	毎月 1 回（1 月を除く）
富 里	1 回	7/8
永 楽 台	2 回	①9/15 ②3/23
増 尾	3 回	①7/21 ②12/8 ③2/16
光 ヶ 丘	1 回	7/25
南 部	2 回	①9/4 ②2/18
藤 心	1 回	11/26
酒 井 根	1 回	2/18
手 賀	1 回	7/27
風早南部	2 回	①5/27 ②3/25
風早北部	2 回	①6/30 ②1/18

(4) 生活支援コーディネーター

① 第 1 層コーディネーター

地域支えあい推進協議会の運営、地域支えあい推進員の育成・支援、市域の人材育成、資源開発などを実施しました。

ア 第 2 層コーディネーター（地域支えあい推進員）定例会開催

イ 人材育成（一般公開講座）

▶ オンライン入門講座（全 3 回）

期日	主な内容	参加者
R4. 8. 24	ZOOM の基本を学ぶ（会場参加）	16 名
8. 31	ZOOM の機能を試してみる（オンライン参加）	14 名
9. 7	ZOOM の楽しさを体験する（オンライン参加）	15 名

▶ オンライン入門フォローアップ講座

期日	主な内容	参加者
R4. 9. 22	ZOOM の基本と機能の復習（会場参加）	11 名

▶ スマホを教えるボランティア養成講座（全3回）

期日	主な内容	参加者
R4. 6. 13	講師としての心構え，コミュニケーションの必要性 他	26 名
6. 17	傾聴の大切さ，講師役演習 他	23 名
6. 24	相手に伝える力と環境作り，講師役演習 他	23 名

▶ スマホを教えるボランティアフォローアップ講座

期日	主な内容	参加者
R4. 7. 1	スケジュールリングの大切さ，講師役演習	9 名

▶ スマホ操作の出前講座

スマホを教えるボランティア養成講座修了生を中心に、ふるさと協議会、地区社会福祉協議会、市内の通いの場及びふれあいサロンへの出前講座を開催しました。

開催回数	参加者総数	延べ活動者数
32 回	210 名	304 名

▶ オンラインでつくる!みんなの居場所講座受講者フォローアップ

自主グループ化した団体がオンラインフェスティバルを開催するにあたり、機材貸出、周知、資料作成、当日の運営サポート等の後方支援を行いました。

期日	内容	延参加者
R4. 10. 24	講座受講者から自主グループ化して、「仲間とつながれ 地域再発見!!かしわオンラインフェスティバル 2022」を開催	188 名

ウ 企業との連携

たすけあいサービスの重層化を目指し、市内企業と市域たすけあい団体による粗大ごみの搬出・廃棄に関する連携がスタートしました。

② 第2層コーディネーター（地域支えあい推進員）

ア 委嘱

全21地域中15地域〔欠員：田中、柏の葉、松葉、柏中央、新富、旭町〕

イ 研修・定例会

外部研修	[R5. 1. 25] 生活支援コーディネーター研究協議会(2名)
視察訪問	[R4. 10. 5] 特定非営利活動法人取手アートプロジェクト
定例会	全12回開催 ・外部講師による講座・研修 ・市内外の先進事例や活動の共有 ・意見交換 等

ウ 活動 [延 1, 175 回]

	支えあい会 議・準備会 の運営	関係者の ネットワーク	普及啓発	活動準備 立ち上げ支援	定例会 研修等参加	資料の 準備・作成	合 計
田 中	—	—	—	—	—	—	—
柏 の 葉	—	—	—	—	—	—	—
西 原	7	32	1	1	17	7	65
富 勢	2	42	4	4	14	2	68
松 葉 町	—	—	—	—	—	—	—
高田・松ヶ崎	6	31	0	13	48	3	101
豊四季台	5	70	0	0	10	2	87
柏 中 央	—	—	—	—	—	—	—
新 富	—	—	—	—	—	—	—
旭 町	—	—	—	—	—	—	—
新 田 原	18	22	3	0	5	20	68
富 里	10	24	2	1	17	5	59
永 楽 台	8	36	0	3	10	9	66
増 尾	17	25	2	16	9	2	71
光 ケ 丘	9	59	0	9	9	38	124
南 部	10	46	0	0	12	11	79
藤 心	4	39	7	0	19	4	73
酒 井 根	13	18	4	3	2	23	63
手 賀	2	73	1	15	14	9	114
風早南部	13	27	2	0	12	9	63
風早北部	10	42	0	0	17	5	74
合 計	134	586	26	65	215	149	1,175

(5) 生活支援の担い手の養成やサービスの開発

① 柏市訪問型生活支援サポーター（かじサポ）フォローアップ懇談会

期 日	主 な 内 容	参 加 者
R5. 2. 28	地域活動紹介、懇談「これからの私」	11 名

② 生活支援人材無料職業紹介所

求職者	求人事業所	採用決定
0 名	3 事業所	0 名

③ たすけあい活動団体研修会（同じ内容で 2 日間開催）

期 日	主 な 内 容	参 加 者
R4. 10. 6	講座「認知症の人とのお付き合い」 講師：佐久間 尚実 氏	38 名
10. 7	（千葉県認知症コーディネーター） 事例検討「こんなときどうしたらいい？」	28 名

④ 通いの場交流会

期 日	主な内容	参加者
R4. 7. 22	コロナ禍の現状共有、事例紹介、意見交換	21 名

⑤ サロン研修会（同じ内容で3日間開催）

期 日	主な内容	参加者
R4. 7. 8	講座「サロンでやってみよう！脚の筋トレ体操」	17 名
7. 13	講師：坂東 啓子 氏（日本レクリエーション協会） 情報交換「サロンの現状／あなたが夢見るサロンは？」	21 名
7. 20		20 名

(6) たすけあいサービス及び通いの場事業費補助金交付

① 補助金の交付審査

主な内容	
書類審査及び ヒアリング	たすけあいサービス 59 件 通いの場サービス 21 件
現地調査	通いの場サービス 2 件
交付審査会	▶ 常設型通いの場事業費補助金「運営費補助・家賃補助」 交付審査会 2 件

② 補助金交付団体

▶ たすけあいサービス事業費補助金交付団体

	R2	R3	R4
交付団体	62 団体	59 団体	59 団体
（内訳）町会	34 団体	32 団体	33 団体
コミュニティ	18 団体	18 団体	17 団体
複数コミュニティ	10 団体	9 団体	9 団体
活動登録者数	1,729 名	1,623 名	1,621 名
（内訳）町会	869 名	785 名	859 名
コミュニティ	690 名	688 名	609 名
複数コミュニティ	170 名	150 名	153 名
利用者数（登録又は実人数）	2,171 名	2,730 名	2,809 名
（内訳）町会	700 名	986 名	1,132 名
コミュニティ	524 名	664 名	692 名
複数コミュニティ	947 名	1,080 名	985 名
内ゴミ出し利用者実人数	271 名	392 名	476 名
（内訳）町会	100 名	121 名	194 名
コミュニティ	128 名	156 名	172 名
複数コミュニティ	43 名	115 名	110 名
年間延べ活動者数	15,512 名	17,043 名	18,851 名
（内訳）町会	4,517 名	4,251 名	5,745 名
コミュニティ	6,599 名	7,850 名	7,241 名
複数コミュニティ	4,396 名	4,942 名	5,865 名
金 額	4,552,000 円	4,350,000 円	4,424,000 円

▶ 通いの場事業費補助金交付団体

	R2	R3	R4
交付団体数	18 団体	21 団体	21 団体
（内訳）週一型	12 団体	13 団体	13 団体
常設型	6 団体	8 団体	8 団体
年間延べ開設回数	968 回	1,607 回	2,225 回
（内訳）週一型	264 回	446 回	585 回
常設型	704 回	1,161 回	1,640 回
年間延べ利用者数	15,192 名	23,662 名	34,845 名
（内訳）週一型	3,394 名	5,202 名	8,767 名
常設型	11,798 名	18,460 名	26,078 名
一日あたり利用者数	229 名	339 名	323 名
（内訳）週一型	135 名	220 名	211 名
常設型	94 名	119 名	112 名
金 額	5,068,000 円	6,082,000 円	5,818,000 円

③ 補助事業の広報・周知

次年度の補助事業について、広報かしわ（地域包括支援課協力）、本会ホームページへ掲載、窓口での配布をしました。また、補助制度の説明会を開催しました。

(7) たすけあいサービス実施団体向けの活動保険加入受付

① 活動補償事業の広報・周知

地区社会福祉協議会、非営利団体連絡会等、たすけあいサービスを実施する団体への通知を行いました。

② 保険加入等の状況

	町会エリア	コミュニティエリア
申請受付団体数	34 団体	15 団体
申請事務（延べ活動従事者数）	10,285 名	
事故対応数	3 件	
賠償対応数	1 件	

(8) 支えあい推進活動支援金交付

たすけあいサービス及び通いの場事業新規立ち上げ団体を対象に、立ち上げ支援金を交付しました。

▶ たすけあいサービス立ち上げ支援金

交付団体数	交 付 額
2 団体	100,000 円

▶ たすけあいサービス運営支援金

交付団体数	1 団体
交 付 額	30,000 円
活動登録者数	5 名
利用者数（登録又は実人数）	4 名
内ゴミ出し利用者実人数	0 名
年間延べ活動者数	760 名

(9) ほのぼのプラザますおでの通いの場事業の運営

地域活動団体との連携・協働による常設型(週4日)の通いの場を運営しました。1階は地域の方々が集うコミュニティカフェ、2階は市民提案型のイベント事業を実施しました。

※令和4年11月開所

項 目	R4
多目的ひろば1 利用者数	1,077名
多目的ひろば2 利用者数	27回 498名



通いの場のイベントの様子

(10) 居場所づくりお助けグッズ

地域のサロン活動などの居場所づくりを応援する為のグッズの貸出しを行いました。

項 目	R4
貸出件数	278件
貸出品目数	459品



(11) 地域元気情報の発行

地域住民の活躍の場をお知らせし、参加を推進するために、様々な地域活動等をまとめた地域元気情報を発行しました。

① 柏市域版(6,000部発行)

スマホやパソコンから見る事ができる情報サイトをまとめ、はたらく、習う・学ぶ等のカテゴリ別のホームページを紹介しました。

② 地域版(200部×21地域発行)

地域毎に、たすけあい・通いの場・サロン、身近なサークル情報等を計989団体紹介しました。

「ピアボン」で遊んでいる様子

地域	発行部数	発行日	発行先
柏市域版	6,000部	令和4年11月	市内各所
地域版	200部×21地域	令和4年11月	各地域内

地域元気情報

5

ボランティア活動 [ボランティアセンター]

自主・市補助

地域福祉課

(1) 啓発活動

ボランティアセンターパンフレット、登録ボランティア団体一覧、通年ボラ冊子(ボラ∞)などの発行、メール配信サービスを利用したボランティア情報のお知らせメールの配信等を行いました。

(2) ボランティアの育成講座

項 目	R2	R3	R4
講座数	8 講座 15 回	7 講座 15 回	7 講座 16 回
延参加数	219 名	246 名	285 名

▶ 実施講座一覧

講座名称	回 数	延人数
ボランティア入門講座	4 回	52 名
精神保健ボランティア養成講座（全 4 回） ※ 3 回目は体験として 8/31～9/24 の間で実施	4 回	90 名
災害ボランティアコーディネーター養成講座	3 回	57 名
災害ボランティアコーディネーターフォローアップ講座	1 回	30 名
車椅子点検ボランティア交流会	1 回	13 名
個人登録ボランティアフォローアップ講座	2 回	30 名
D I Y 講座	1 回	13 名



ボランティア入門講座
(もどかしさ体験)



D I Y 講座

(3) ボランティアの登録・支援

活動の促進を図るため、グループへの助成金交付、活動上の連絡調整や課題等の相談支援を行いました。

① 社協登録

登録種別	R2	R3	R4
グループ	132 グループ 2,381 名	131 グループ 2,375 名	128 グループ 2,344 名
個人	931 名	880 名	941 名
計	3,312 名	3,255 名	3,285 名

② 登録NPO法人

登録種別	R2	R3	R4
NPO法人	29 団体	29 団体	29 団体

(4) ボランティア相談及び紹介事業

ボランティア活動に関するさまざまな相談に対応するため、ボランティアコーディネーターによるボランティア相談を実施しました。

① 各種相談〔ボランティア相談等〕

相談区分		R2	R3	R4
ボランティア活動に関する相談	活動依頼	185 件	211 件	298 件
	活動希望	283 件	354 件	319 件
	活動関係	1,460 件	1,860 件	1,306 件
	備品関係	378 件	84 件	87 件
その他の相談・問合せ	福祉相談等	613 件	481 件	129 件
計		2,919 件	2,990 件	2,139 件

② ボランティアコーディネート

内容区分	R2	R3	R4
活動情報等希望	0 件	0 件	0 件
障害者関係	1 件	9 件	11 件
高齢者関係	4 件	10 件	38 件
児童関係	31 件	64 件	75 件
レクリエーション	23 件	12 件	44 件
イベント関係	10 件	12 件	20 件
傾聴関係	2 件	1 件	0 件
収集ボランティア関係	1 件	0 件	0 件
環境関係	0 件	0 件	0 件
その他	2 件	0 件	5 件
計	74 件	108 件	193 件

(5) ボランティア活動保険・行事用保険

ボランティア活動者の保険（登録外ボランティア、災害支援ボランティア等）及びボランティア行事用保険の契約手続を行いました。

保険種別	R2	R3	R4
活動保険	84 件 [998 名]	114 件[1,010 名]	100 件[1,202 名]
行事保険	42 件 [4,475 名]	49 件[3,265 名]	92 件[6,340 名]
計	126 件 [5,473 名]	163 件[4,275 名]	192 件[7,542 名]

6

ふれあい型給食サービス

自主

地域福祉課

ひとり暮らし高齢者を対象に、ボランティアが中心となって手作り弁当の配食（会食）を実施している団体に助成を行いました。

団体名	R2	R3	R4
富里地区社協とみさと会〔富里地区〕	44 名	85 名	194 名
計	44 名	85 名	194 名

※表中の利用者数は、助成対象事業の利用者数（1食あたり200円を助成）

(1) イベント開催事業

ラコルタ柏 2 階多世代交流スペースは「屋内型の多世代公園で様々なイベントが開催されている場」というイメージで多様な団体からの提案による連携事業を展開しました。

対象別のニーズに合ったイベントや、障害理解・相談・居場所・学習支援等、多種多様な方々が集い、交流が促進されるよう企画・運営をしました。

① イベント開催

イベント項目	R2	R3	R4
多世代交流	—	5 種 12 回 1,485 名	19 種 37 回 2,511 名
子育て向け	2 種 6 回 148 名	14 種 37 回 517 名	23 種 78 回 2,383 名
児童健全育成	—	7 種 23 回 474 名	7 種 14 回 498 名
障がい理解・支援	2 種 3 回 15 名	6 種 14 回 218 名	5 種 16 回 671 名
シニア向け	—	7 種 20 回 143 名	12 種 19 回 498 名
相談支援	3 種 6 回 11 名	7 種 82 回 696 名	6 種 96 回 1,095 名
人材育成	3 種 4 回 50 名	3 種 3 回 50 名	3 種 6 回 87 名
展示	—	4 種 4 回 —	5 種 5 回 —
計	10 種 19 回 224 名	53 種 195 回 3,583 名	80 種 271 回 7,743 名



〔多世代交流〕
ボランティア協力
「月に一度はあそびたいム！」



〔子育て向け〕
くろみこども園と連携
「絵の具であそぼう」



〔児童健全育成〕
YouTuber と連携
「未来起業家になろう」



〔障がい理解・支援〕
障がい理解推進チーム Wa's と連携
「障害のある子もない子と一緒に遊ぼう」



〔シニア向け〕
資生堂 JAPAN と連携
「メイクの力〜いきいき美容教室」



〔展 示〕
おもちゃ図書館「かたつむり」と連携
書道クラブ「みんなで書きました」

② 広報・周知

イベント開催の告知は、紙媒体だけでなく、HP や Twitter 等を活用し、様々な世代の方が気軽にイベントに参加できるよう広報を行いました。

また、今年度から公式 LINE と Instagram を開設しました。



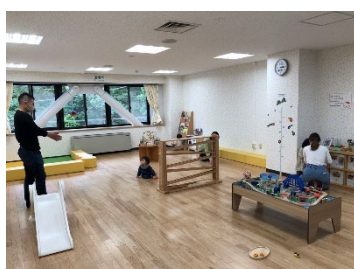
インスタグラム



公式ライン

③ 親子スペース

乳幼児の遊び場として一日あたり約 15 組の親子が利用しています。また、サポートボランティアを配置し、スペースの環境整備やイベントサポートの他、利用者の育児不安の傾聴、親子同士の交流を促進しています。



親子スペース



サポートボランティアによる
季節の飾りつけ

(2) 総合福祉センター施設管理等事業

利用状況

項目		R2	R3	R4
多目的 研修室 1・2	昼	—	—	449 件 11,625 名
	夜	—	—	41 件 800 名
多目的 研修室 1	昼	37 件 338 名	398 件 3,796 名	19 件 194 名
	夜	2 件 12 名	59 件 383 名	1 件 7 名
多目的 研修室 2	昼	34 件 293 名	376 件 3,480 名	3 件 36 名
	夜	1 件 7 名	38 件 206 名	0 件 0 名
講座室	昼	35 件 322 名	365 件 3,407 名	384 件 4,541 名
	夜	0 件 0 名	11 件 59 名	17 件 120 名
活動室	昼	17 件 104 名	253 件 1,559 名	274 件 2,075 名
	夜	0 件 0 名	10 件 70 名	22 件 173 名
計		126 件 1,076 名	1,510 件 12,960 名	1,210 件 19,571 名

(3) コミュニケーション支援事業

視覚障害者等が情報を得やすい環境をつくるためのボランティア人材を養成しました。

種類	R2	R3	R4
	延受講者数／修了者数／団体入会数		
点訳奉仕員養成講座 全10回	—	133名／13名／9名	38名／4名／4名
音訳ボランティア養成講座 全20回	—	417名／21名／21名	—
計	—	550名／34名／30名	38名／4名／4名

8

地域活動館の運営

自

主

総務課

住民が自由に集まることのできる地域交流スペースとして、住民団体に会場をご利用いただき、様々なイベントを企画・運営しました。

また、障害理解や就労支援等を目的とした製品販売の場「かしわモノづくりマルシェ」が毎月第3火曜日と第2木曜日に開催されています。



項目	R2	R3	R4
延べ利用団体数	123 団体	256 団体	333 団体
延べ活動者数	552 名	1,091 名	1,201 名
延べ参加者数	892 名	2,636 名	3,595 名
情報交換会	148 団体 195 名	155 団体 165 名	172 団体 199 名

子育て中の親子の孤立化を防ぎ、親同士の支え合いや子ども同士の育ち合う関係づくりを目的として、未就学児の親子を対象に楽しく安全に遊べる場所として運営しています。



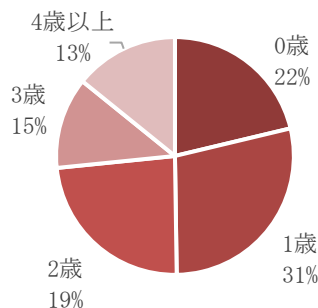
子育て関連の情報の充実及び拡充に努めたほか、新たに「出張ひろば」を月 1 回ラコルタ柏の「多世代交流スペース」で実施しました。

なお、イベントや育児講座等については、感染対策を講じながら予約制で実施しました。

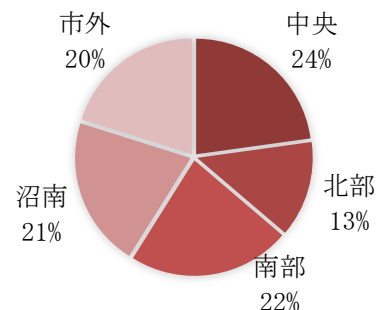
(1) 利用者数

項 目	R2	R3	R4
相 談 件 数	290 件	222 件	304 件
新規利用登録世帯数 [累計数]	288 世帯 [5,302 世帯]	473 世帯 [5,775 世帯]	477 世帯 [6,252 世帯]
年間利用者数 [世帯数]	14,153 名 [5,872 世帯]	14,442 名 [5,953 世帯]	13,955 名 [5,710 世帯]

こどもの年齢別割合



利用世帯別エリア



(2) 子育て及び子育て支援に関する講習等の実施

項 目	R2	R3	R4
育児講座 (毎月 1 回以上)	7 回	14 回	17 回
	120 名 [45 組]	326 名 [194 組]	400 名 [165 組]
0 歳あつまれ！ すくすくタイム (毎週 1 回)	33 回	49 回	47 回
	— [156 組]	569 名 [257 組]	644 名 [286 組]
1 歳のじかん	第 1・3 週 1 回	第 1・3 週 1 回	第 1～4 週 1 回
	14 回	22 回	44 回
	— [70 組]	254 名 [124 組]	540 名 [259 組]

その他イベント	・季節のおたのしみ（こどもの日／七夕／まつり／クリスマス／節分／おひなまつり） ・リユース会 ・り楽つくすタイム ・誕生会
---------	--

※すくすくタイム・1歳のじかんは、令和2年度組数のみ積算。

(3) ニコニコデイズの実施

音楽や遊びを通じて、ボランティアと子育て親子がふれあうイベントを実施しました。

項 目	R2	R3	R4
実 施 回 数	8 回	4 回	4 回
延参加者数	102 名	91 名	103 名
延ボランティア数	15 名	20 名	14 名

[主な内容] コンサート／打楽器演奏／ペンシルバルーン/手遊び・ハーモニカ演奏

10

利用者支援事業

市 委 託

相談支援課

はぐはぐひろば沼南にて、子育て支援アドバイザーによる、育児に悩む保護者の個別相談、各種支援サービスの情報提供や調整等の支援を行いました。出張相談は、光ヶ丘地域いきいきセンター、南部地域いきいきセンター、ラコルタ柏「多世代交流スペース」で実施しました。

(1) 相談実績

項 目	R2	R3	R4
相談件数	1,023 件	1,202 件	949 件
〔手段〕 来所	943 件	1,056 件	811 件
電話	49 件	68 件	59 件
出張	18 件	69 件	69 件
その他（※）	13 件	9 件	10 件
〔新規〕	686 件	331 件	357 件
〔継続〕	337 件	871 件	592 件
他機関へ繋ぐ	7 件	17 件	8 件

※〔その他〕他機関からの問い合わせ（職員から見た気になる利用者）

(2) 主な相談内容

項 目	R2	R3	R4
基本的生活 [睡眠・授乳・離乳食等]	157 件	177 件	126 件
育 児 方 法 [健康・教育・しつけ等]	296 件	315 件	224 件
発 育 発 達 [言葉・性格・社会性等]	219 件	328 件	251 件
医 療 関 係 [病気・事故・予防接種等]	24 件	30 件	33 件
生 活 環 境 [家庭・近隣・人的関係]	194 件	273 件	261 件
園 生 活 [入園・在園等]	147 件	157 件	117 件
母親自身の悩み	120 件	112 件	132 件
そ の 他	99 件	116 件	54 件

※1 件で複数の相談項目が重複することがあるため(1)相談実績の件数と一致しない

11

こどもの居場所活動団体の支援

自 主

地域福祉課

こども食堂、学習支援のこどもの居場所団体の継続的な活動を支援するため、活動費等を助成しました。

こどもの居場所活動助成金	R2	R3	R4
助成金総額	500,000 円	700,000 円	950,000 円
団 体 数	7 団体	11 団体	16 団体

V 福祉教育

1 福祉教育パッケージ指定地域の支援

県社協助成

地域福祉課

千葉県社会福祉協議会・千葉県教育委員会による福祉教育パッケージの指定を受け、小学校3年生から高校までの福祉単元計画を立て、青少年の時期から切れ目ない福祉へのわが事意識を育てる機会をつくり、その計画の中で地域の方々にも関わり合いを持ちながら福祉教育の推進を図りました。(指定期間：令和3年度～令和5年度の3年間)

学校名・地区名	主な取組内容
高柳小学校	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が考える誰もが過ごしやすい学校の提言 ・児童が考えた認知症理解を啓発するパンフレット等の作成
高柳西小学校	<ul style="list-style-type: none"> ・各階の廊下に車いすや白杖を常設し、福祉体験ができる環境を整備 ・ボッチャ体験でオリジナルルールを考案
高柳中学校	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症サポーター養成講座や福祉体験を実施
沼南高柳高校	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉関係の書籍を購入、朝読書で活用 ・福祉体験講座、パラスポーツ体験と講話を実施
風早南部地区社協	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校への福祉体験講座のサポート ・学校の協力を得て地域かるたの絵札を作成

2 体験学習支援

自主

地域福祉課

(1) 福祉体験への支援

高齢者疑似・白杖・車いす・手話体験や障害理解の講話等を企画した学校・企業等[延2,067名]に対し、ボランティア[延107名]や職員を派遣し、体験学習支援を行いました。また、障害当事者団体と連携した講座も実施しました。

区 分	R2	R3	R4
小 学 校	3 回	7 回	15 回
中 学 校	0 回	1 回	3 回
高校・大学・専門	1 回	1 回	1 回
地 域	1 回	3 回	1 回
企業・その他	2 回	2 回	1 回
計	7 回	14 回	21 回

(2) 福祉教育ボランティアの交流会

小・中学校や高等学校からの福祉体験の希望に対応するため、体験をサポートする福祉教育ボランティアの増員を目的に開催しました。視覚障害者疑似体験、高齢者疑似体験、車いす体験を行い、新たに12名の方が福祉教育ボランティアとして活動することになりました。

(3) 夏季ボランティア体験「夏ボラのススメ」

青少年（小学生から大学生まで）を対象に、夏休みを利用したボランティア体験学習を実施しました。その周知と募集を図るために、夏季ボランティア体験学習の受入先を紹介する冊子「夏ボラのススメ」を作成しました。

[実施期間：R4. 7. 1～8. 31]

項 目	R2	R3	R4
受入施設	76 施設	55 施設	65 施設
受入団体	32 団体	34 団体	39 団体
体験人数	延 132 名	延 360 名	延 543 名

(4) 福祉教育普及パンフレット「ふくしの種」

児童が福祉に触れる機会の充実を図るため、市内小学生に対し、「おうちの人と考える福祉」をテーマに、普及啓発パンフレットを配布しました。



普及啓発パンフレット「ふくしの種」

(5) 福祉体験教室

障害当事者やボランティア団体等の協力を得て、小・中・高校生を対象に、夏休み期間中を利用した福祉体験教室を実施しました。

項 目	R2	R3	R4
開催日数	2 日	7 日	4 日
内 容	盲導犬ユーザーとパピーウォーカーについて学ぶ	①介護未来案内人 ②点字体験 ③手話ソング体験 ④障がいのある子も ない子も一緒に楽し もう！ ⑤認知症って何だろ う？ ⑥盲導犬について ⑦車いす体験	①「文字を声で届け よう」音訳体験 ②目の見えない見え にくい方をサポート する盲導犬と白杖 ③パラスポーツ体 験！みんなでボッチ ャ ④車いすでバリアフ リー体験
参加人数	60 名	129 名	89 名

(6) 体験機材等の貸出

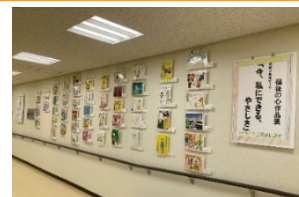
項 目	R2		R3		R4	
車 い す	11 件	69 台	16 件	110 台	12 件	159 台
高齢者疑似体験道具	14 件	99 個	15 件	122 個	16 件	205 個
白 杖	18 件	220 個	21 件	248 個	17 件	309 個
点 字 練 習 器	5 件	248 個	9 件	216 個	2 件	150 個
沐浴・妊婦体験道具	3 件	12 個	5 件	12 個	5 件	11 個

3 「福祉の心」作品展

自 主

地域福祉課

市内小・中学校の児童・生徒を対象として、「こんな『まち』になるといいな」をテーマにポスター作品を募集し、福祉に対する意識の高揚を図りました。入賞作品はイオンモール柏店、モラージュ柏、ラコルタ柏、沼南社会福祉センターで展示しました。



ラコルタ柏での作品展示

種 類	R2	R3	R4
ポスター	395 点	307 点	635 点

4 実習生の受入

自 主

総務課

未来の福祉を担う人材の育成に貢献するため、実習生を積極的に受け入れました。

(1) 社会福祉士実習 ※総務課

項 目	R2	R3	R4
受入数等 [24 日実習]	7 名 淑徳大、聖徳大、帝京平成大、日本福祉教育専門学校 ※内 2 名は 16 日実習	13 名 日本福祉大、淑徳大、聖徳大、帝京平成大、東洋大、帝京科学大、筑波大、日本福祉教育専門学校 ※内 2 名は 16 日実習	10 名 日本福祉大、日本大、淑徳大、聖徳大、帝京平成大、東洋大、文教大、上智大 ※内 1 名は 16 日実習

(2) 公衆衛生看護学実習 ※沼南地域包括支援センター

項 目	R2	R3	R4
受入数等 [4 日実習]	1 名 聖徳大学	1 名 聖徳大学	3 名 聖徳大学、東京情報大学

(3) 老年看護学実習 ※老人福祉センター 3 館

項 目	R2	R3	R4
受入数等 [1 日実習]	79 名 葵会柏看護専門学校	80 名 葵会柏看護専門学校	—

(4) 母性看護学実習 ※子育て支援グループ

項 目	R2	R3	R4
受入数等 [1~2 日実習]	16 名 葵会柏看護専門学校	45 名 慈恵柏看護専門学校 葵会柏看護専門学校	41 名 慈恵柏看護専門学校 葵会柏看護専門学校

(5) 東京大学オンライン実習 ※子育て支援グループ

項 目	R2	R3	R4
受入数等	4 名	—	—

VI 在宅福祉サービス

1 さわやかサービス

自主・市補助

総務課

住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、市民相互の支えあいを基盤に住民参加型の有償在宅福祉サービス事業を実施しました。

お互いさまの気持ちをもって、日常生活にお困りの高齢者障害者、産前産後の母親などを対象とした、生活援助や介護サービスを提供しました。

協力会員のスキルアップ研修では「国際福祉機器展」の見学を兼ねて情報交換や交流を図りました。



(1) 会員登録数

区 分		R2	R3	R4
利用会員	登 録 数	632 名	719 名	766 名
	年度中入会数	191 名	219 名	232 名
	年度中退会数	150 名	132 名	185 名
協力会員	登 録 数	168 名	168 名	176 名
	年度中入会数	32 名	34 名	36 名
	年度中退会数	13 名	34 名	28 名

(2) サービス実施状況

① 生活援助サービス・介護サービス

種 類	R2	R3	R4
生活援助サービス	2,714 件 3,995 時間	3,371 件 5,225 時間	3,420 件 5,305 時間
(上記の内)	430 件	597 件	764 件
産前産後支援	722.5 時間	1,062 時間	1,352 時間
介 護 サ ー ビ ス	239 件 423 時間	367 件 621 時間	668 件 1,136 時間
計	2,953 件 4,418 時間	3,738 件 5,846 時間	4,088 件 6,441 時間

② 相談事業

区 分	R2	R3	R4
会員からの相談	3,622 件	3,628 件	3,735 件
会員外からの相談(ケアマネ等)	382 件	547 件	557 件

(3) 人材育成・交流活動

種 類	主な内容	R2	R3	R4
協 力 会 員 登 録 時 研 修	新規登録の協力会員を対象 とした研修会	7 回 32 名	5 回 38 名	4 回 32 名
〃	地域訪問型の研修会	—	—	1 回 3 名
講習・スキル アップ研修	産前産後講習会、私の望みノ ート、認知症に関する座学と フ レ イ ル 予 防 体 操 他	2 回 32 名	4 回 34 名	4 回 48 名
会 員 交 流 会	全体交流会	0 回 0 名	0 回 0 名	0 回 0 名
非 営 利 団 体 連 絡 会	オンライン意見交換会、コ ミュニケーション作り、事 例検討会他	0 回 0 名	1 回 2 名	3 回 CO 3 名
たすけあい連 絡協議会	情報交換会、ケアラズカ フェ視察他	—	—	2 回 CO 2 名

(4) 普及啓発活動

項 目	主な内容
地域福祉の情報紙「紙ひこうき」 「広報かしわ」、協力会員募集チラシ	[随 時] 事業内容周知、協力会員募集
産 前 産 後 支 援 チ ラ シ	[随 時] 利用対象者に向け支援内容周知
会 報 「 さ わ や か だ よ り 」	[年 3 回] 会員・関係機関配布 ※5月25日、9月25日、1月25日発行

2 移動サービス

自主・市補助

総 務 課

車いすを使用し、公共交通機関を利用することが困難な方について、福祉車両こらくだくん(6台)による移動支援を行いました。車内での飛沫感染予防として消毒等の徹底、また運転席と後部座席の間をアクリル板で仕切るなどの対策を継続し、運行しました。

また、新型コロナワクチン接種会場への送迎に時間外の対応を行いました。



(1) 利用件数等

項 目	R2	R3	R4
登録者数	412 名	455 名	468 名
利用件数	4,506 件	5,199 件	4,969 件
稼働日数	293 日	293 日	293 日
走行距離	89,799 km	91,480 km	89,402 km
車両1台あたりの 1日平均利用件数	2.5 件	3.0 件	2.9 件

(2) 福祉有償運送運転者講習会の開催（国土交通省認定）

新たなサービス提供者の育成を目的に、福祉有償運送運転者講習会を年1回実施していましたが、講習会を受講できる場所が多くなったことで、参加希望者が減少している実態を踏まえ、廃止しました。

項 目	R2	R3	R4
福祉有償運送運転者講習	13 名	10 名	—
〔内訳〕 市内	5 名	4 名	—
市外	8 名	6 名	—
期 日	R2. 10. 23・24	R3. 10. 29・30	—

3 かしわファミリー・サポート・センター事業

市 委 託

相談支援課

安心して子育てができるよう、育児の援助を行いたい人（協力会員）と、その援助を受けたい人（利用会員）が会員となり、会員同士による育児の援助活動の支援を行いました。

コロナ感染拡大のため中止となっていたファミサポフェスタを3年ぶりに開催し、会員の交流を図るとともに、協力会員研修では研修会への参加意欲を持続できるようスタンプカードを作成するなど工夫を凝らして実施しました。

また、会員がセンターのルールをより理解していただくため、会員向けの手引書を作成し会員に配付しました。

(1) 会員登録数

区 分		R2	R3	R4
利用会員	登 録 数	2,014 名	2,079 名	2,198 名
	年度中入会数	197 名	218 名	297 名
	年度中退会数	143 名	153 名	178 名
協力会員	登 録 数	303 名	333 名	329 名
	年度中入会数	46 名	43 名	38 名
	年度中退会数	33 名	13 名	42 名
両方会員	登 録 数	113 名	122 名	139 名
	年度中入会数	24 名	25 名	25 名
	年度中退会数	14 名	16 名	8 名

(2) 入会説明会・研修等

種 類	内 容	R2	R3	R4
基礎研修会 〔協力会員〕	子供の心身発達・応 急処置等	6 回 58 名	10 回 68 名	9 回 69 名
協力会員フォロー アップ研修会	研修会、幼児安全法 救急講習会	5 回 59 名	7 回 89 名	14 回 218 名
ファミサポ フェスタ	新型コロナウイルス感 染拡大防止のため中止	0 回 (中止)	0 回 (中止)	1 回 72 名

地区別交流会	協力会員の交流	1 回	1 回	1 回
	事例検討	1 回	1 回	1 回
地区リーダー 連絡調整会議	各地区の活動状況と 問題点	9 回	9 回	11 回
		164 名	166 名	180 名

(3) 援助活動状況

項 目	R2	R3	R4
事前打ち合わせ件数	180 件	188 件	264 件
援 助 活 動 件 数	5,937 件	6,914 件	7,154 件
ぞうさんルーム (一時預かり)	[実施場所] 沼南社会福祉センター [実施回数及び利用者数] 82 回／208 名		

(4) 普及啓発活動

項 目	主な内容
地域福祉の情報紙「紙ひこうき」	[随 時] 事業内容周知、会員募集
「 広 報 か し わ 」	[随 時] 事業内容周知、会員募集
協力会員向けリーフレット作成	[随 時] 事業内容周知、会員募集
利用会員向けリーフレット作成	[随 時] 事業内容周知、会員募集
ポ ス タ ー の 作 成 ・ 掲 示	市内保育機関、関係施設へ周知と会員募集
広 報 紙 「 ぞ う さ ん 通 信 」	[年 2 回] 会員・関係機関配布

4 車いすの貸出

自 主

相談支援課

緊急的かつ一時的に車いすを必要とする方に対し、無料で車いすを貸し出しました。

貸出場所	R2	R3	R4
ボランティアセンター	208 件	—	—
いきいきプラザ	—	302 件	347 件
沼南社会福祉センター	50 件	75 件	102 件
計	258 件	377 件	449 件

※ 令和3年度から貸出場所を一部変更しました（ボランティアセンターからいきいきプラザへ）

VII 相談支援・貸付・援護金

1	福祉相談事業	自 主	相談支援課
---	--------	-----	-------

(1) 相談事業

福祉相談窓口として、相談受付・自立支援を実施しました。

① 相談件数等

項 目	R2	R3	R4
合計相談件数	2,209 件	2,175 件	3,582 件
[手段] 来 所	732 件[33%]	876 件[40%]	1,312 件[37%]
電 話	1,459 件[66%]	1,228 件[57%]	2,230 件[62%]
訪 問 等	18 件[1%]	71 件[3%]	40 件[1%]
[状況] 新 規	919 件[42%]	699 件[32%]	996 件[28%]
継 続	1,000 件[45%]	904 件[42%]	1,121 件[31%]
再 来	233 件[10%]	390 件[18%]	764 件[21%]
調 整 等	57 件[3%]	182 件[8%]	701 件[20%]
[内容] 生計問題	1,647 件[75%]	1,230 件[57%]	1,942 件[54%]
(※) 生計以外	562 件[25%]	945 件[43%]	1,640 件[46%]
主な相談内容			
生計問題	生活費、職業（失業）、教育、住宅、後見等		
生計問題以外	家族、障害・高齢者福祉、母子父子・児童福祉・法律等		

② 研修

相談技術向上を目的に、心配ごと相談員をはじめ、日常生活自立支援事業生活支援員、相談業務担当職員等を対象に、相談援助従事者研修会を行いました。

期 日	内 容	参加者
R4. 11. 25	寄り添う聞き方・伝え方	19 名

(2) 心配ごと相談

心配ごと相談員（14名委嘱）を配置し、いきいきプラザは毎週水曜日、沼南社会福祉センターは毎週木曜日に心配ごと相談所を開設しました。またケース会議や研修会を開催し、相談技術の向上に努めました。

① 相談件数（開設日数／相談件数）

実施場所	R2	R3	R4
いきいきプラザ	23 日／40 件	48 日／50 件	50 日／ 57 件
沼南社会福祉センター	29 日／19 件	49 日／28 件	47 日／ 29 件
計	52 日／59 件	97 日／78 件	97 日／ 86 件

② 相談内容

内 容	R2	R3	R4
1 生 計	3 件	6 件	6 件
2 年 金	2 件	0 件	0 件
3 職業・生業	4 件	1 件	3 件
4 住 宅	4 件	2 件	4 件
5 家 族	17 件	21 件	23 件
6 結 婚	1 件	0 件	0 件
7 離 婚	2 件	5 件	1 件
8 健康・保健	13 件	3 件	4 件
9 医 療	5 件	8 件	9 件
10 人権・法律	2 件	2 件	2 件
11 財 産	3 件	3 件	3 件
12 事 故	1 件	0 件	0 件
13 児童・母子保健	0 件	0 件	0 件
14 教育・青少年	0 件	0 件	0 件
15 障 害 福 祉	0 件	1 件	0 件
16 母子・父子福祉	0 件	0 件	0 件
17 高齢者福祉	6 件	1 件	4 件
18 苦 情	3 件	5 件	3 件
19 そ の 他	12 件	28 件	32 件
計	78 件	86 件	94 件
[終了/継続/紹介]	[54 件/ 5 件/19 件]	[64 件/ 8 件/14 件]	[59 件/11 件/24 件]

※1 件で複数の相談項目が重複することがあるため①相談件数と一致しない

③ ケース会議、研修会等

2 か月に 1 回、対応に苦慮したケースなどについて、相談員同士で意見交換や研修を実施しました。

回数	主な内容	延べ参加者数
6 回 (奇数月)	<ul style="list-style-type: none"> ・相談を繰り返す相談者（リピーター）への対応について ・電話での相談対応について ・相談者への声掛けの仕方や確認すべき内容などについて 	80 名

2	福祉資金貸付事業	自 主	相談支援課
----------	-----------------	------------	--------------

低所得世帯で、他の施策による援助が困難な方へ貸付を実施しました。

また、滞納者に対する定期的な督促を実施するとともに、生活再建に係る相談支援を実施しました。

(1) 貸付の状況（決定額）

種 類	R2	R3	R4
一 般 貸 付	656 件 11,519,826 円	669 件 11,104,682 円	805 件 13,751,040 円
特 別 貸 付	11 件 815,000 円	5 件 345,000 円	17 件 1,424,450 円
交通費貸付	13 件 3,880 円	15 件 4,800 円	5 件 1,600 円
計	680 件 12,338,706 円	689 件 11,454,482 円	827 件 15,177,090 円

(2) 債権管理（貸付・据置・償還中件数）

600 件 [内 一般貸付 540 件、特別貸付 21 件、交通費 39 件]

3	生活福祉資金貸付事業	県社協委託	相談支援課
----------	-------------------	--------------	--------------

(1) 生活福祉資金及び臨時特例つなぎ資金

種 類	R2	R3	R4
総合支援資金	0 件 0 円	0 件 0 円	1 件 390,000 円
福 祉 資 金	0 件 0 円	0 件 0 円	福祉費 1 件 73,900 円 生業費 1 件 750,000 円 技能習得費 1 件 760,800 円
教育支援資金	33 件 44,611,400 円	35 件 43,311,900 円	35 件 47,958,600 円
緊急小口資金（通常）	43 件 4,220,000 円	38 件 3,625,500 円	63 件 6,109,000 円
臨時特例つなぎ資金	0 件 0 円	0 件 0 円	0 件 0 円
計	76 件 48,831,400 円	73 件 46,937,400 円	102 件 56,042,300 円

(2) 不動産担保型生活資金

世帯主及び配偶者が65歳以上の世帯に対して、居住用不動産を担保とする生活資金の貸付を行いました。

項 目	R2	R3	R4
事 前 鑑 定	—	2 件	0 件
貸 付 件 数	0 件	0 件	1 件
貸付限度額	0 円	0 円	9,590,000 円

※令和4年度貸付1件は、令和3年度に事前鑑定をしています。

(3) 要保護世帯向け不動産担保型生活資金

世帯主及び配偶者が65歳以上の生活保護を受給する世帯に対して、居住用不動産を担保とする生活資金の貸付を行いました。

項 目	R2	R3	R4
事 前 鑑 定	—	8 件	1 件
貸 付 件 数	0 件	0 件	1 件
貸付限度額	0 円	0 円	14,483,000 円

(4) 緊急小口資金・総合支援資金（特例貸付）

① 貸付の状況（決定額）

新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、収入が減少した世帯を対象に、生活資金の貸付を行いました。なお、本制度は令和4年9月30日で終了しました。

項目	R2	R3	R4
緊急小口資金	2,226 件	878 件	87 件
（特例）	433,450,000 円	169,840,000 円	16,750,000 円
総合支援資金	1,778 件	794 件	57 件
（特例）	909,600,000 円	377,360,000 円	24,660,000 円
総合支援資金	1,031 件	233 件	—
（特例）延長	538,530,000 円	119,890,000 円	—
総合支援資金	233 件	1,154 件	—
（特例）再貸付	123,810,000 円	581,140,000 円	—
計	5,268 件	3,059 件	144 件
	2,005,390,000 円	1,248,230,000 円	41,410,000 円

② 償還免除等の状況

償還が困難な世帯を対象に、償還の免除及び猶予の相談に応じるとともに、申請を受け付けました。

項目	R2	R3	R4
緊急小口資金 (特例)	— — —	— — —	償還猶予 36 件 償還免除 803 件 156,120,060 円
総合支援資金 (特例)	— — —	— — —	償還猶予 34 件 償還免除 710 件 366,425,000 円
総合支援資金 (特例) 延長	— — —	— — —	— — —
総合支援資金 (特例) 再貸付	— — —	— — —	— — —
計	— — —	— — —	償還猶予 70 件 償還免除 1,513 件 522,545,060 円

(5) 債権管理（貸付・据置・償還中件数）

7,520 件 [内 福祉資金 17 件、教育支援資金 263 件、生活復興支援資金 1 件、総合支援資金(通常)128 件、離職者支援資金 3 件、緊急小口資金(通常)160 件、不動産担保型生活資金 4 件、要保護世帯向け不動産担保型生活支援資金 15 件、緊急小口資金(特例)2,379 件、総合支援資金(特例)初回 1,885 件、総合支援資金(特例)延長 1,266 件、総合支援資金(特例)再貸付 1,399 件]

4 交通遺児援護金等支給

自主・事務協力

相談支援課

交通事故により、父または母を失った 18 歳未満の遺児のいる世帯に対し、援護金等を支給しました。

(1) 交通遺児援護金・高等学校入学支度金支給【自主】

種 類	R2	R3	R4
援 護 金 [1 名 40,000 円]	5 世帯 9 名 360,000 円	6 世帯 10 名 400,000 円	7 世帯 11 名 440,000 円
支 度 金 [1 名 50,000 円]	2 世帯 2 名 100,000 円	1 世帯 1 名 50,000 円	2 世帯 2 名 100,000 円
計	7 世帯 11 名 460,000 円	7 世帯 11 名 450,000 円	9 世帯 13 名 540,000 円

(2) 交通遺児援護金勉学奨励金・激励金・見舞金・受験費用助成金【県社協事務協力】

種 類	R2	R3	R4
勉学奨励金 [1名 30,000 円]	1 世帯 1 名 30,000 円	0 世帯 0 名 0 円	3 世帯 3 名 90,000 円
激 励 金 [1名 60,000 円]	1 世帯 2 名 120,000 円	6 世帯 6 名 360,000 円	5 世帯 5 名 300,000 円
見 舞 金 [1名 100,000 円] 2人目からは 50,000 円	2 世帯 5 名 350,000 円	0 世帯 0 名 0 円	1 世帯 1 名 100,000 円
受験費用助成金	1 世帯 2 名 138,800 円	1 世帯 1 名 35,000 円	4 世帯 4 名 146,400 円
計	5 世帯 10 名 638,800 円	7 世帯 7 名 395,000 円	13 世帯 13 名 636,400 円

※受験生 1 名あたりの助成額上限[高校等受験：50,000 円、大学等受験：100,000 円]

5 緊急援護金支給事業

自 主

相談支援課

(1) 援護金・食糧の支給

やむを得ない事情により金銭的な支援が必要な世帯に対して、援護金、食糧（米、缶詰、レトルトカレー、カップ麺等）、物品（体操服）を支給しました。

種 類	R2	R3	R4
緊急援護金	2 世帯 170,000 円	3 世帯 205,000 円	2 世帯 25,000 円
食糧支援	—	34 世帯	30 世帯
物品支援	0 世帯	0 世帯	2 世帯
計	2 世帯 170,000 円	37 世帯 205,000 円	34 世帯 25,000 円

(2) ランドセルの配付

小学校入学に伴いランドセル準備が難しい生活困窮世帯へ右記の機関を通じて配付しました。

配 付 先	配付個数
柏市こども福祉課	7 個
柏市生活支援課	7 個
民生委員・スクール ソーシャルワーカー	3 個

6

若者自立支援活動団体の支援

自主

相談支援課

若者の自立を支援する団体との連携とその活動の支援を目的として、若者自立支援サポーター連絡会を開催するとともに、活動助成金を交付しました。

(1) 若者自立支援サポーター連絡会

期 日	主な内容	参加者
R5. 3. 27	各団体による活動報告、重層的支援体制整備事業と市役所によるひきこもり支援調査についての意見交換	9 名

(2) 団体助成金

若者の居場所活動助成金	R2	R3	R4
助 成 金 総 額	300,000 円	166,007 円	100,000 円
団 体 数	2 団体	2 団体	1 団体

7

自殺予防対策事業 [かしわお元気コール事業]

自主・市補助

地域福祉課

孤立しがちな高齢者等を対象に、電話声かけボランティアによる声かけを実施しました。

(1) 電話声かけボランティア養成講座・ボランティア交流会

項 目	R2	R3	R4
養 成 講 座	1 回 12 名	11 回 16 名	9 回 21 名
交 流 会	※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	6 回 65 名	7 回 75 名

※養成講座実施回数：個人及び集団向けの合計。交流会実施回数：各拠点及び全体の合計。

(2) 利用者数

実施場所	R2	R3	R4
風早北部地域	8 名	7 名	6 名
松 葉 地 域	6 名	6 名	7 名
風早南部地域	6 名	7 名	7 名
光ヶ丘地域	10 名	10 名	10 名
豊四季台地域	4 名	1 名	2 名
富 勢 地 域	8 名	6 名	9 名
田 中 地 域	6 名	7 名	6 名
南 部 地 域	9 名	15 名	22 名
新 富 地 域	—	2 名	2 名
増 尾 地 域			2 名
計	57 名	61 名	73 名

(3) 電話声かけボランティア登録数

実施場所	R2	R3	R4
風早北部地域	14 名	10 名	8 名
松 葉 地 域	10 名	11 名	9 名
風早南部地域	11 名	11 名	10 名
光ヶ丘地域	18 名	11 名	10 名
豊四季台地域	11 名	9 名	8 名
富 勢 地 域	6 名	7 名	10 名
田 中 地 域	12 名	9 名	8 名
南 部 地 域	7 名	9 名	9 名
新 富 地 域	—	4 名	3 名
増 尾 地 域	—	—	8 名
計	89 名	81 名	83 名

※複数拠点で重複して登録している 4 名を含む [実人数 : 79 名]

(4) 活動日数／延電話件数

実施場所	R2	R3	R4
風早北部地域	50 日／ 457 件	49 日／ 337 件	50 日／ 370 件
松 葉 地 域	50 日／ 302 件	49 日／ 245 件	50 日／ 310 件
風早南部地域	50 日／ 388 件	48 日／ 287 件	50 日／ 286 件
光ヶ丘地域	49 日／ 557 件	49 日／ 481 件	48 日／ 457 件
豊四季台地域	47 日／ 105 件	50 日／ 86 件	49 日／ 73 件
富 勢 地 域	50 日／ 127 件	49 日／ 284 件	50 日／ 353 件
田 中 地 域	50 日／ 19 件	48 日／ 295 件	50 日／ 283 件
南 部 地 域	36 日／ 187 件	50 日／ 588 件	49 日／ 854 件
新 富 地 域	—	25 日／ 49 件	49 日／ 156 件
増 尾 地 域	—	—	19 日／ 32 件
計	382 日／2, 142 件	417 日／2, 652 件	464 日／3, 174 件

(5) 安否確認訪問回数

ボランティアによる電話声かけ時に不通だった場合、職員による安否確認のための訪問を実施しました。また、訪問により、早期の医療受診につなげたり、必要に応じた関係機関との連携・調整などを行いました。

実施場所	R2	R3	R4
風早北部地域	2 回	1 回	2 回
松 葉 地 域	1 回	0 回	1 回
風早南部地域	2 回	0 回	0 回
光ヶ丘地域	6 回	8 回	0 回
豊四季台地域	0 回	0 回	0 回
富 勢 地 域	0 回	4 回	1 回
田 中 地 域	1 回	4 回	4 回

南 部 地 域	1 回	4 回	7 回
新 富 地 域	—	0 回	0 回
増 尾 地 域	—	—	0 回
計	13 回	21 回	15 回

(6) その他の取り組み

ボランティアセンターや地域活動ガイダンス等、他担当との連携を図り、新たなお元気コールボランティア活動者の担い手発掘に取り組みました。また南部地域での利用者増を受け、多いニーズに対応するため、実施時間の変更等の対応を試みました。

8 障害者の就労支援

自 主

総 務 課

障害者の就労支援を推進するため、LITALICO（りたりこ）ワークス柏と連携し、職場体験や実習の受入れを実施しました。

項 目	R2	R3	R4
日 数	7 日	14 日	23 日
実 人 数	13 名	28 名	17 名
延 人 数	23 名	65 名	42 名

職場体験・実習内容

さわやかサービス、ファミリーサポートセンターにおける各種情報誌・通知文等の封入

9 ウクライナからの避難者支援事業

市 委 託

相談支援課

ウクライナから柏市に避難してきた世帯に対し、生活支援金の支給等の支援を実施しました。

支 援 世 帯 数	5 世帯
支援金支給総額	1,429,860 円

VIII 権利擁護・地域包括支援センター

1 成年後見利用促進（中核機関）事業

市 委 託

相談支援課

成年後見制度利用促進基本計画に基づき、一次相談機関（地域包括支援センター、地域生活支援拠点）や司法・福祉専門職等と連携して、地域連携ネットワークを構築し、成年後見制度の利用促進を図りました。

(1) 広報・啓発

① チラシ・パンフレット等の配布及び紙・電子媒体による普及啓発

- ・紙ひこうき 5/1 号、柏市社協HPに中核機関の情報を掲載。
- ・「成年後見制度ご利用・ご検討中の方へ」（チラシ）、「かしわ福祉権利擁護センターパンフレット」を以下のとおり配架。

【配架先】一次相談機関 17 か所、行政関係課・近隣センター等 60 か所、高齢者・障害者福祉事業所 211 か所、金融機関（チラシのみ）37 か所、柏市医師会を通じて医療機関 203 か所。

- ・モラージュ柏の敬老イベントに参加し、成年後見制度に関する情報の掲示及びチラシの配付。ミニセミナー及び個別相談会を実施。
- ・柏市内の郵便局全 32 店舗を訪問、チラシの配架や郵便局での対応状況等の聞き取りを実施。

② 出前講座の実施

一次相談機関等からの依頼により、主に市民を対象とした出前講座を実施しました。

項 目	R2	R3	R4
件 数 等	2 件 20 名 [内訳] 福祉団体 2 件	7 件 108 名 [内訳] 一次相談機関 7 件	27 件 686 名 [内訳] 一次相談機関 11 件 民児協 7 件 その他 9 件

③ 各種講座・シンポジウムの開催

市民、司法職・福祉職等を対象に、各種講座を実施しました。

また、制度をより身近に感じられるよう、落語家を招いてシンポジウムを開催しました。



【市民向け講座】

期 日	内 容	参加者
R4. 6. 1	成年後見基本講座 (いきいきプラザ 15 名 オンライン 9 名)	24 名
6. 21	成年後見制度申立て説明会 (いきいきプラザ 13 名 オンライン 9 名)	22 名
7. 8	親族後見人向け講座 (いきいきプラザ 19 名 オンライン 16 名)	35 名
9. 9	任意後見制度説明会 (東葛テクノプラザ 10 名 オンライン 13 名)	23 名
R5. 2. 3	市民向け普及啓発講座 (沼南社会福祉センター13 名 オンライン 15 名)	28 名

【専門職向け（福祉職・司法職）講座】

期 日	内 容	参加者
R4. 8. 30	福祉専門職向け成年後見制度研修会 (いきいきプラザ 5 名 オンライン 26 名)	31 名
12. 6	福祉専門職向け研修会(事例を含めた成年後見制度) (いきいきプラザ 7 名 オンライン 39 名)	46 名
R5. 1. 20	専門職後見人向け研修 (行政書士 10 名 社会福祉士 6 名 社会保険労務士 4 名 司法書士 1 名 税理士 1 名 ケアマネジャー 1 名) ※オンラインのみ	23 名
3. 14	専門職後見人向け研修 (行政書士 5 弁護士 2 社会保険労務士 2 名 ほか 1 名) ※オンラインのみ	10 名

※コロナ禍でも参加しやすいよう、会場参集とオンラインのハイブリッドで開催

【シンポジウム】

期 日	内 容	参加者
R4. 10. 28	落語家と成年後見人から学ぶ成年後見制度 一部：落語「後見爺さん」桂ひな太郎氏 二部：当事者家族、地域包括支援センター、弁護士、司法書士、社会福祉士によるシンポジウム「事例から学ぶ成年後見制度と老いへの備え」 当日の様子は、柏社協のホームページにて動画公開しました。	65 名

(2) 相談

① 相談件数

項 目	R2	R3	R4
相談件数	239 件	253 件	299 件
	[内訳]	[内訳]	[内訳]
	高 齢 128 件	高 齢 172 件	高 齢 202 件
	知 的 19 件	知 的 21 件	知 的 24 件
	精 神 34 件	精 神 27 件	精 神 45 件
	その他 58 件	その他 33 件	その他 28 件

② 相談内訳

内 容	R2	R3	R4
成 年 後 見 全 般	—	125 件	153 件
申 立 て	—	121 件	105 件
候 補 者 選 定	—	11 件	16 件
そ の 他	—	54 件	67 件
合 計	—	311 件	341 件

※ 1 人が複数の相談をすることもあり、件数の合計と内訳の合計は一致しません。

③ 成年後見無料相談会

リーガルサポート千葉県支部柏地区との協働により、司法書士による無料相談会を開催しました。

日時／場所	R4. 11. 26／介護予防センターいきいきプラザ
参 加 者	9 組 9 人

(3) 利用促進

① 候補者調整会議

候補者の職種選定及びケース検討を行う候補者調整会議を開催しました。

項 目	R2	R3	R4
開 催 数	—	8 回	9 回
件 数 等	—	職 種 選 定 18 件 ケース検討 2 件	職 種 選 定 22 件 ケース検討 1 件

② 一次相談機関連携会議

一次相談機関職員の相談対応やアセスメント技術向上を目的に、研修及び意見交換等を行いました。

期 日	内 容	参加者
R4. 9. 5	成年後見制度相談対応の講義、質疑応答、相談対応ロールプレイ	19 名
R5. 3. 6	弁護士との交流会 弁護士 1 人に対し参加者 3～4 人のグループをつくり、地域別に 2 回実施。法的課題解決の助言、一次相談機関職員と弁護士との関係づくりを行いました。	22 名

③ 一次相談機関訪問

地域包括支援センター全12か所と地域生活支援拠点等5か所を訪問し、意見交換等を実施しました。

期 日	内 容
R4. 12. 7 ～ R5. 1. 11	個別ケースの相談や成年後見制度の利用促進における課題等の共有、出前講座の開催提案等。初期相談に使用する「成年後見制度相談対応の手引き」「成年後見制度Q&A」「成年後見制度利用支援相談票」の配付

④ 地域ケア会議等の出席

一次相談機関の依頼を受け、地域ケア会議等に参加し成年後見制度に関する助言を行いました。

期 日	場 所
R4. 7. 19	北柏第2地域包括支援センター
12. 23	柏北部第2地域包括支援センター
R5. 2. 1	柏北部地域包括支援センター
3. 2	沼南地域包括支援センター

(4) 後見人等支援

市内の後見人からの相談等に対応しました。

項 目	R2	R3	R4
件 数 等	—	モニタリング 0件 後見人支援 3件	引き継ぎ会議 3件 後見人支援 3件

※ 引き継ぎ会議は、市長申立て案件で後見人等が決定した後、市担当課を中心に後見人等への事務や関係者からの支援の引き継ぎを行うための会議。

(5) 協議会運営

柏市権利擁護ネットワーク会議成年後見制度に関する専門部会を開催しました。

期 日	内 容
R4. 7. 29	【報告】令和3年度中核機関事業報告について 令和4年度中核機関事業計画について 【議題】第二期成年後見制度利用促進基本計画及び任意後見制度の利用促進・普及啓発について
11. 2	【報告】令和4年度上半期中核機関事業報告について 【議題】令和5年度中核機関事業計画について 福祉と司法専門職の連携強化について

(6) その他

① 重層的支援会議大中合同会議の出席

期 日	内 容
R4. 12. 1	【大会議】・令和4年度重層的支援体制整備事業これまでの取り組み ・令和5年度に向けての進め方 【中会議】・中会議の位置づけや概要説明 ・ワールドカフェ（グループワーク）

② 地域包括支援課・障害福祉課連絡調整会議の開催

開催回数	内 容
9 月から 月 1 回	地域包括支援課、障害福祉課、社協の三者で、事業の進捗管理、報告、課題、今後の方向性等について情報共有及び意見交換等を実施

2 成年後見事業

自主・市補助

相談支援課

本会が法人として受任して行う法人後見事務及び高齢者等の意思決定支援の啓発事業を実施しました。

(1) かしわ福祉権利擁護センター運営委員会

期 日	内 容
R4. 7. 29	令和 3 年度事業報告及び令和 4 年度事業計画組織体制について 後見支援員、市民後見人の活動の場の拡充について
11. 2	令和 4 年度上半期事業報告について 令和 5 年度事業計画について わたしの望みノートの改訂について

(2) 法人後見業務

① 受任調整会議

項 目	R2	R3	R4
開催回数	5 回	1 回	2 回
審査件数	7 件	1 件	2 件

② 後見人受任件数

項 目	R2	R3	R4
受任件数	14 件	15 件	16 件
新規件数	5 件 [内訳] 高齢者 5 件 障害者 0 件	4 件 [内訳] 高齢者 4 件 障害者 0 件	6 件 [内訳] 高齢者 5 件 障害者 1 件
終了件数	11 件	3 件	5 件

※終了件数は、被後見人の死亡又は後見人辞任（市民後見人へ引き継ぎ）によるものです。

(3) 後見支援員に対する取り組み

① 後見支援員活動

後見支援員 38 名のうち 17 名が法人後見業務の事務執行者として、延べ 166 回の被後見人居所訪問や各種手続き等の後見業務を実施しました。また、終活応援ルーム「望」の相談員として 21 名が延べ 33 回、活動しました。

※終活応援ルーム「望」の取り組みについては、66 頁(6)に記載。

② 後見支援員登録者研修

期 日	内 容	参加者
R4. 5. 25	令和4年度の職員紹介 交流会 事務連絡（終活応援ルーム望）	29 名
R5. 3. 10	法人後見受任者のケースについて（医療同意についての 意思決定支援の事例2 ケース） 同期生同士の交流会	26 名

(4) 後見監督人業務

① 監督件数

項 目	R2	R3	R4
受任件数	6 件	5 件	6 件
新規件数	4 件 [内訳] 法人から 2 件 市長申立 2 件	1 件 [内訳] 法人から 0 件 市長申立 1 件	3 件 [内訳] 法人から 2 件 市長申立 1 件
終了件数	4 件	2 件	2 件

※内訳の「法人から」は、本会が法人後見人を辞任した後に市民後見人へ引き継いだもの

② 定期面接実施回数（市民後見人定期報告）

8 名 延 7 5 回

(5) 意思決定支援事業「わたしの望みノート」

① 「わたしの望みノート」本編及び体験版の配布

「わたしの望みノート」本編（改訂版）に加え、普及啓発や本編導入を目的とした体験版を配布しました。[本編 1,000 部増刷]

② 出前講座

ふれあいサロンや一般市民を対象に、「わたしの望みノート」の記入体験を通し、ノート活用のポイントや介護・医療・相続等について考える出前講座を実施しました。

期 日	内 容	参加者
R4. 6. 1	一般社団法人「生きる」主催 「わたしの望みノートの紹介」	12 名
7. 9	柏北部第2地域包括支援センター主催 「わたしの望みノートの紹介と在宅医療について」	17 名
7. 11	さわやかサービス協力会員スキルアップ研修 「わたしの望みノート活用術」	7 名
9. 6	酒井根地区民生委員児童委員協議会主催 「わたしの望みノートの紹介」	11 名
11. 4 11. 18	柏北部地域包括支援センター主催 「わたしの望みノートの紹介」 振り返り（2 日目）	18 名

11. 15	北柏地域包括支援センター主催 「わたしの望みノートの紹介」	8 名
11. 29 11. 30	コスモス成年後見サポートセンター、柏法務局、柏市社会福祉協議会による合同講座（2 日とも同内容） 「終活応援！わたしの望みノートと自筆証書遺言書保管制度について」	18 名
R5. 1. 17	サロン「布施新町ものがたり広場」主催 「わたしの望みノートの紹介」	33 名
1. 18	新婦人松葉班主催「わたしの望みノートの紹介」	15 名

(6) 終活応援ルーム「望」の実施

成年後見制度及びわたしの望みノートの普及啓発と利用促進を目的に、終活応援ルーム「望」を南部地域いきいきセンター（毎月第 1・第 2 木曜日）及び豊四季台地域活動館（毎月第 3 金曜日）で実施しました。

項 目	R2	R3	R4
開催回数	16 回	35 回	33 回 [内訳] 南部 21 回 豊四季台 12 回
相談件数	2 件	13 件	30 件 [内訳] 南部 8 件 豊四季台 22 件

3	柏市市民後見人推進事業	市 委 託	相談支援課
----------	--------------------	--------------	--------------

(1) 市民後見人養成研修の実施

① 市民後見人養成講座（座学）

親族や専門職後見人の不足が予測される中で、新たな担い手としての市民後見人を養成する講座を全 12 回にわたり開催しました。

期間/回数	令和 4 年 7 月 7 日～令和 5 年 3 月 16 日 木曜日開催／全 12 回 (修了式含む)
内 容	市民後見概要、成年後見概論、対象者の理解、対人援助の基礎、成年後見制度と市町村責任、関係制度・法律、地域福祉・権利擁護の理念、成年後見の実務、後見人活動の実際、専門職の理解、家庭裁判所の役割、地域包括支援センターの役割、民法の基礎、市民後見人の心構え、振り返り
受講者数	12 名（うち 3 名は令和 5 年度修了予定）

② 現任訓練

市民後見人養成研修受講者（後見支援補助員）が 2 人 1 組となり、職員とともに成年被後見人等を担当し、月 1 回程度の同行訪問や後見事務等を実施しながら市民後見人として必要な実務経験を重ねました。

補助員数	活動回数	活動内容
12 名	83 回	本人居所訪問、銀行手続き（預貯金の引出しや利用料支払い）、各種行政手続き（福祉手当等）、事務報告書の作成等（演習）

※活動回数は、後見支援補助員の延べ活動数の合計

(2) フォローアップ研修の実施

① 市民後見人候補者名簿登録者フォローアップ研修

市民後見人候補者名簿登録者を対象に、必要な知識等の学習機会及び交流の場の提供を目的に実施しました。

[市民後見人候補者名簿登録者数：37名]

期 日	内 容	参加者
R4. 8. 26	事実行為について考える 【講師】一般社団法人千葉県社会福祉士会 副会長 古澤 肇 氏	29 名
12. 2	第二期成年後見制度利用促進基本計画の概要と市民後見人候補者に求めることについて 【講師】一般社団法人千葉県社会福祉士会 梶原 幸夫 氏 市民後見人活動報告 【市民後見人】大岩 哲夫 氏 三上 康之 氏	27 名

② 市民後見人交流会の実施

市民後見人活動経験者や活動予定者のスキルアップ及び交流の場の提供を目的に実施しました。 [市民後見人経験者10名]

期 日	内 容	参加者
R4. 9. 8	松戸市 NPO 法人成年後見センターしぐなるあいずの市民後見協力員との意見交換	7 名
12. 17	浦安市社会福祉協議会（市民後見人・後見支援員）との意見交換	8 名

(3) 市民対象の普及啓発研修の開催

一般市民を対象に、成年後見制度や関連制度及び市民後見人活動の普及啓発を目的とする研修会を開催しました。

期 日	内 容	参加者
R4. 10. 11	成年後見人・市民後見人の活動について知ろう！ 【講師】一般社団法人千葉県社会福祉士会 今川 純子 氏 【市民後見人】松本 茂 氏	10 名
R5. 3. 3	成年後見人・市民後見人の活動について知ろう！ 【講師】東葛総合法律事務所 小川 款 氏 【市民後見人】大岩 哲夫 氏	11 名

判断能力が十分でないために適切なサービスの提供を受けられない方に対し、福祉サービスの利用手続きの援助や代行、財産管理、財産保全サービスを実施しました。

(1) 相談件数

項 目	R2	R3	R4
合計相談件数	156 件	151 件	144 件
[相談者] 本 人	8 件	8 件	5 件
家 族 親 類	6 件	7 件	8 件
※そ の 他	142 件	136 件	131 件
[対象者] 高 齢 者	102 件	106 件	102 件
知的障害者	6 件	3 件	8 件
精神障害者	34 件	22 件	21 件
そ の 他	14 件	20 件	13 件

※その他は介護支援専門員、地域包括支援センター、行政等専門機関、友人等を含む

※エリア別件数 [北部:38 件 中央:52 件 南部:22 件 東部:10 件 その他:22 件]

(2) 訪問調査件数

件 数 等	R2	R3	R4
実 件 数	119 件	156 件	158 件
延訪問調査回数	160 回	265 回	236 回

(3) 契約件数

件 数	R2	R3	R4
新 規 契 約 件 数	25 件	36 件	19 件
解 約 件 数	27 件	28 件	29 件
年 度 末 契 約 件 数	110 件	118 件	108 件

(4) 支援回数

回 数	R2	R3	R4
支 援 回 数	1,134 回	1,597 回	1,506 回
内 専 門 員 支 援	644 回	884 回	879 回
内 生 活 支 援 員 支 援	490 回	713 回	627 回

(5) 生活支援員研修会

生活支援員の資質向上を目的に開催しました。

期 日	内 容	参加者
R4. 5. 19	福祉施設の種類や特徴 講師 柏北部地域包括支援センター センター長 山本 敏子 氏	25 名
11. 15	消費者講座 講師 市民生活部消費生活センター 消費生活相談員 後藤 久子 氏 主事補 仲間 優 氏	20 名

R5. 1. 17	①支援の方法と種類および支援に関わる書類の書き方 ②専門員との意見交換 講師 かしわ福祉権利擁護センター 専門員 ※生活支援員となって概ね2年以内の方を対象として実施	8 名
3. 17	精神疾患について知ろう 講師 柏市保健所 保健予防課 精神保健福祉士 石月 克哉 氏	16 名

(6) 千葉県運営適正化委員会による福祉サービス利用援助事業現地調査

社会福祉法第84条及び千葉県運営適正化委員会が定める「福祉サービス利用援助事業に関する運営監視事業実施要綱」に基づき、令和4年10月13日に現地調査を実施。調査結果は、一部指摘もありましたが、概ね適正であるとの評価を受けました。

5 沼南地域包括支援センター

市委託

相談支援課

沼南圏域を担当し、高齢者の総合相談・権利擁護、介護予防プラン作成、地域の介護予防活動支援、介護支援専門員の支援を実施しました。また、認知症の方や介護者への支援として認知症カフェの設置や家族会への支援、地域包括ケアシステムの構築に向けたネットワークづくり等を行いました。

(1) 普及啓発

地区社協、民生委員児童委員などの集まりや郵便局、銀行、商店などへ出向き地域包括支援センターの普及啓発を実施しました。

(2) 総合相談

① 沼南地域包括支援センター（沼南社会福祉センター内） ※（ ）内は新規件数

項 目	R2	R3	R4
介護予防等の相談支援、一般介護予防事業、フレイル予防など	6 件 (6)	5 件 (5)	14 件 (14)
介護予防ケアマネジメント、総合事業	112 件 (112)	129 件 (128)	104 件 (101)
権利擁護[虐待・成年後見等]	47 件 (47)	71 件 (70)	61 件 (61)
包括的・継続的ケアマネジメント	82 件 (82)	98 件 (96)	89 件 (85)
認知症に関する相談	81 件 (81)	80 件 (80)	130 件 (126)
介護保険、福祉制度・サービス	519 件 (501)	561 件 (548)	648 件 (574)
在宅医療・介護連携推進	21 件 (21)	12 件 (12)	13 件 (12)
生活体制整備	14 件 (14)	5 件 (5)	7 件 (7)

そ の 他	224 件(217)	140 件(140)	179 件(167)
介護者の離職防止に関する相談	2 件 (2)	1 件 (1)	0 件 (0)
計	1,108 件(1,083)	1,102 件(1,085)	1,245 件(1,147)

② 沼南地域包括支援センター高柳相談窓口（ヤオコー柏高柳駅前店 3 階）

項 目	R2(6 月開設)	R3	R4
介護予防等の相談支援、 一般介護予防事業、フレイル予防など	8 件 (8)	8 件 (8)	1 件 (1)
介護予防ケアマネジメント、 総 合 事 業	35 件 (35)	46 件 (46)	41 件 (40)
権利擁護[虐待・成年後見等]	14 件 (14)	25 件 (25)	20 件 (20)
包括的・継続的ケアマネジメント	6 件 (6)	11 件 (11)	15 件 (15)
認知症に関する相談	66 件 (64)	44 件 (44)	71 件 (70)
介護保険、福祉制度・サービス	267 件(248)	292 件(287)	333 件(285)
在宅医療・介護連携推進	5 件 (4)	7 件 (7)	8 件 (8)
生活体制整備	5 件 (5)	8 件 (8)	6 件 (6)
そ の 他	99 件 (96)	85 件 (85)	101 件 (92)
介護者の離職防止に関する相談	0 件 (0)	0 件 (0)	0 件 (0)
計	505 件(480)	526 件(521)	596 件(537)

(3) 権利擁護業務

成年後見制度、消費者被害及び高齢者虐待に関する相談へ対応しました。また、権利擁護の普及啓発のため、地域内の終活カウンセラーや司法書士と連携した寸劇を交えた講座や地域生活支援拠点と共催した成年後見制度に関する講座を実施しました。

項 目	R2	R3	R4
高齢者虐待への対応	7 件	8 件	2 件
措置による老人福祉施設入所調整	1 件	1 件	0 件
成年後見制度市長申立相談支援	0 件	1 件	3 件
計	8 件	10 件	5 件

(4) 地域ケア会議

沼南圏域の関係機関を招集し、地域包括ケアシステム構築に向け、個別ケースについてテーマを絞って生活課題の解決、地域の現状把握等を検討しました。

項 目	R2	R3	R4
開 催 数	4 回	3 回	3 回
主な内容			
R4. 8. 9	[テーマ] 障害者と認知症を抱える世帯を地域でささえる		
R5. 2. 17	[テーマ] 難病を抱える世帯の複合的課題を整理し、専門職と行政で連携しささえる		
3. 2	[テーマ] 知的障害がある家族と要介護状態となった高齢者の世帯を地域でささえる		

(5) 沼南地域ケア推進会議

沼南圏域の関係機関を招集し、地域ケア会議を通して見えてきた地域課題を報告し、地域課題の解決のために関係機関が包括と連携してできること、施策として提案すべきことを検討しました。

項 目	R2	R3	R4
開 催 数	1 回	1 回	1 回
主な内容			
R5. 3. 15	[テーマ] 複合的課題を抱える高齢者世帯への対応について		

(6) 包括ケア地区別研修

介護支援専門員に向け、支援方法や社会資源に関する学習・研修を実施しました。

項 目	R2	R3	R4
開 催 数	2 回	2 回	2 回
主な内容			
R4. 10. 12	[テーマ] パーソン・センタード・ケアとケアマネジメント		
10. 20	[テーマ] 成年後見制度とケアマネジメント		

※パーソン・センタード・ケアとは、認知症の人を何もできない人と決めつけず、1人の人間として尊重し、本人の立場に立って行うケアのこと。

(7) 事例検討会

介護支援専門員の個別事例に対して、地域の主任介護支援専門員や理学療法士、管理栄養士からの助言による、実践力の強化を行いました。

項 目	R2	R3	R4
開 催 数	1 回	1 回	5 回
延参加者数	20 名	20 名	43 名
主な内容			
R4. 6. 13 8. 8 10. 17 12. 14 R5. 2. 13	〔テーマ〕 個別事例を通じて専門的な視点を学ぶ（9 事例）		

(8) 介護予防普及啓発事業

市民へ介護予防の必要性について理解が得られるよう講座等を実施しました。

項 目	R2	R3	R4
開 催 数	3 回	9 回	11 回
延参加者数	34 名	148 名	142 名
主な内容			
フレイルチェック講座、ラジオ体操講座（地域のサロンと共催）			

(9) 介護予防等における地域活動組織への支援、出前講座

項 目	R2	R3	R4
実 施 回 数	15 回	27 回	54 回
延参加者数	180 名	549 名	1,177 名
主な内容			
フレイル予防（体操・栄養・オーラルフレイル）、消費者被害、包括業務紹介等			

(10) 認知症に関する相談

認知症相談会の開催と「認知症家族の会～沼南ひまわりの会」の相談支援を行いました。

項 目	R2	R3	R4
実施回数	6 回	9 回	11 回
参加人数	43 名	60 名	73 名

(11) 認知症カフェ

認知症カフェは、認知症の人とその家族が気軽に立ち寄れ、地域の人たちとのつながりを作るきっかけができる場所として開催しています。感染症対策の下、飲食無しで実施し、家族相談会と同時開催で行いました。

項 目	R2	R3	R4
実施回数	7 回	9 回	11 回
参加人数	34 名	60 名	73 名

(12) オレンジフレンズ交流会

オレンジフレンズ（認知症サポーター講座を受講後、協力者として登録してくれた方）に向け、活動の主旨の理解と活動へとつながるよう情報提供を行いました。

項 目	R2	R3	R4
実施回数	1 回	1 回	2 回
参加人数	27 名	26 名	51 名

(13) 認知症サポーター養成講座

認知症の正しい理解のための普及啓発活動を行いました。

項 目	R2	R3	R4
実 施 回 数	19 回	29 回	28 回
延参加者数	465 名	751 名	694 名

※沼南高柳高校、沼南高校、高柳小、手賀西小学校、高柳中、いこい荘、シルバー人材センター、さわやかサービス、社会福祉士実習生、柏市社協等で実施

(14) 徘徊模擬訓練

市民、関係者に対して認知症の理解を深め、認知症になっても住み慣れた地域で生活できるよう実施しました。

項 目	R2	R3	R4
実 施 回 数	—	1 回	—
延参加者数	—	16 名	—

※令和 2 年度は新型コロナウイルス感染拡大に伴い未実施。令和 3 年度は大津ヶ丘 3-1 町内会で実施。令和 4 年度は計画なし。

(15) 指定介護予防支援事業

要支援 1・2、事業対象者のケアプラン作成を行いました。※()内新規件数

件 数	R2	R3	R4
要支援ケアプラン作成請求件数	1,272 件 (35)	1,640 件 (64)	1,927 件 (72)
要支援ケアプラン作成委託件数	2,748 件 (77)	2,590 件 (62)	2,520 件 (79)

※ 介護予防ケアマネジメントを含む

(16) 「お元気応援マップ」の改訂

コロナ禍を機にサロン等の活動内容や時間を変更したところもあり、改めてマップ情報を更新しました。また各地区の避難施設を掲載し、地区社協、民生委員、介護支援専門員が活用できるよう配布やセンター窓口に配架をしました。

IX 施設管理

1 沼南社会福祉センター設置経営事業

自主・市補助

総務課

こどもから高齢者、ボランティア等が利用する沼南社会福祉センターの管理運営を行いました。また、施設の経年による改良修繕として照明のLED化を行いました。

(1) 利用状況

レクリエーション室・調理実習室・研修室・会議室の貸出（有料）を行いました。

項 目	R2	R3	R4
レクリエーション室	96 件 778 名	107 件 909 名	200 件 2,404 名
調 理 実 習 室	3 件 25 名	14 件 140 名	28 件 296 名
臨時ボランティア活動室	65 件 431 名	— —	— —
ボランティア活動室	215 件 1,483 名	273 件 1,819 名	299 件 2,073 名
会 議 室	290 件 2,560 名	224 件 3,030 名	311 件 4,678 名
録音室（視聴覚室）	82 件 158 名	72 件 126 名	89 件 229 名
計	751 件 5,435 名	690 件 6,024 件	927 件 9,680 件

(2) 照明のLEDへの改修

令和2年度からの3年計画に基づき、令和4年度は1階レクリエーション室・沼南センター事務所・トイレ等の照明111基を改修しました。

2 介護予防センターいきいきプラザ管理運営事業

市委託

総務課

介護予防センターいきいきプラザの管理運営を行いました。

項 目	R2	R3	R4
研 修 室	3,954 名	3,182 名	3,258 名
会 議 室	1,985 名	919 名	375 名
デイサービス室	4 名	409 名	860 名
計	5,943 名	4,510 名	4,493 名

※令和4年度にトイレの温水洗浄便座を導入しました。

3施設の管理・経営を受託。経営方針として、健康づくりと介護予防の支援、いきがいと仲間づくりの支援、高齢者の主体的な活動の支援を掲げ、事業を展開しました。

(1) 指定管理期間

項 目	期 間
柏 寿 荘	R 3. 4. 1 ～ R 5. 3. 31
南部老人福祉センター	R 3. 4. 1 ～ R 8. 3. 31
沼南老人福祉センター	R 3. 4. 1 ～ R 8. 3. 31

※柏寿荘は令和5年度から3年間の指定管理を継続します

(2) 利用状況

項 目	R2	R3	R4
柏 寿 荘	7,116 名	14,078 名	16,650 名
南部老人福祉センター	12,082 名	29,327 名	39,725 名
沼南老人福祉センター	6,887 名	24,570 名	27,667 名
計	26,085 名	67,975 名	84,042 名

(3) 介護予防・世代間交流事業

項 目	R2	R3	R4
柏 寿 荘	10 事業 1,478 名	19 事業 2,767 名	17 事業 3,868 名
南部老人福祉センター	9 事業 1,258 名	15 事業 4,206 名	16 事業 7,073 名
沼南老人福祉センター	10 事業 612 名	15 事業 5,503 名	18 事業 5,495 名
計	29 事業 3,348 名	49 事業 12,476 名	51 事業 16,436 名

主な講座内容

[柏 寿 荘] フレイルチェック講座、インナーマッスル講座、歌謡曲で体操、ラジオ体操、スマイル体操講座、理学療法士による健康講座、防災訓練、交通安全教室、折り紙講座、編み物教室、ビリヤード教室、陶芸入門講座、夏休みボランティア体験、認知症の啓発、健康相談、栄養相談、うめぼし体操

[南 部] フレイルチェック講座、ロコモ体操講座、歌謡曲で体操、ボッチャ、70歳からの自分講座、美容セミナー、権利擁護講座、土佐日記、防災訓練、避難所開設訓練、折り紙講座、陶芸入門講座、陶芸体験講座、健康相談、栄養相談、うめぼし体操

[沼 南] フレイルチェック講座、脳いきいき教室、インナーマッスル講座、ラジオ体操、シニアリトミック（リズム体操）講座、やさしいヨガ教室、ラジオ体操、交通安全教室、消防訓練、悪質商法と対処法、編み物教室、囲碁大会、はがき絵教室、夏休みボランティア体験、七宝焼き教室、健康相談、栄養相談、毎日体操、

※年度当初予定していた老人福祉センターまつり及び子ども陶芸教室等の世代間交流事業は、新型コロナウイルス感染拡大防止により中止しました。

(4) 相談事業

高齢者の健康増進のため、健康相談を月2回、栄養相談を月1回実施しました。

項 目 施 設	健康相談			栄養相談		
	R2	R3	R4	R2	R3	R4
柏 寿 荘	109 名	214 名	251 名	50 名	82 名	89 名
南部老人福祉センター	140 名	240 名	242 名	75 名	145 名	210 名
沼南老人福祉センター	105 名	289 名	236 名	72 名	169 名	184 名
計	354 名	743 名	729 名	197 名	396 名	483 名

〔 参 考 〕 役 員（理事・監事）・評議員・組織図

1 役員（理事・監事）名簿

R5. 3. 31 現在

▶ 理事

選出区分	氏 名	所属等
柏市民生委員児童委員協議会の代表	山 名 恵 子	柏市民生委員児童委員協議会会長
福祉活動団体又は当事者団体の代表	平 山 隆	社会福祉法人彩会理事長
社会福祉法人又は施設を経営する者	吉 野 一 實	柏市老人福祉施設連絡協議会会長
	鈴 木 徹 生	柏市私立認可保育園協議会おお田保育園園長
地 域 住 民 組 織 の 代 表	阿 部 孝	柏市ふるさと協議会連合会会長
地域組織及び地域の経済団体の代表	長 瀬 慈 村	一般社団法人柏市医師会会長
	鈴 木 崇 弘	公益社団法人柏青年会議所理事長
行政及び教育関係機関	高 橋 裕 之	柏市保健福祉部部長
	藤 崎 英 明	柏市教育委員会学校教育部児童生徒課課長
社会福祉事業経営又は学識経験者	吉 江 悟	一般社団法人 Neighborhood Care 代表理事
	大 野 正 英	麗澤大学経済学部教授
	中 川 博	社会福祉法人柏市社会福祉協議会会長
	秋 谷 正	元柏市保健福祉部次長兼高齢者支援課長

〔会長・副会長・常務理事〕

役 職	氏 名	当該役職の在任期間
会長	中 川 博	R 1. 6. 24～
副会長	平 山 隆	R 3. 6. 24～
副会長	吉 野 一 實	R 1. 6. 24～
常務理事	秋 谷 正	R 3. 6. 24～

▶ 監事

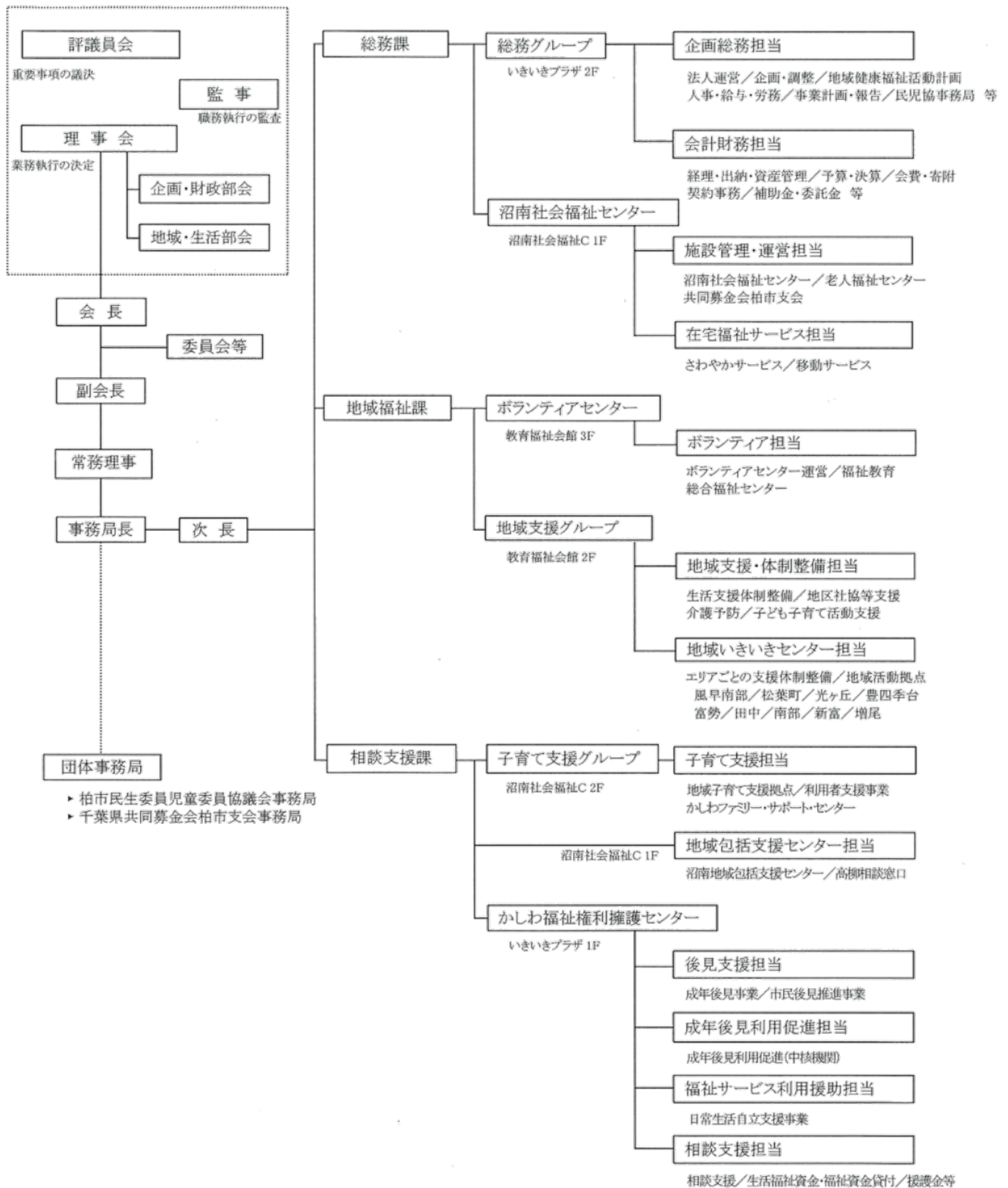
氏 名	現 職
佐 藤 勝 美	社会福祉法人沼風会理事
長谷川 秀 夫	司法書士

※役員（理事・監事）任期：令和3年6月24日から令和5年度定時評議員会終結時まで

選出区分	氏 名	所属等
柏市民健康づくり推進員連絡協議会 福祉活動団体又は当事者団体	平 野 準 子	柏市民健康づくり推進員連絡協議会会長
	山 田 俊 治	柏市シニアクラブ連合会会長
	中 野 し の ぶ	柏市手をつなぐ育成会会長
社会福祉法人又は施設を経営する団体 地域住民組織	横 尾 好 永	柏市介護サービス事業者協議会会長
	金 本 元 章	柏市柏の葉地域ふるさと協議会副会長
	森 貴 弘	柏市永楽台地域ふるさと協議会副会長
	高 橋 朝 彦	大津ヶ丘・塚崎地区社会福祉協議会会長
地域組織及び地域の経済団体	笠 原 輝 幸	柏市商店会連合会会長
	望 田 八重子	柏市ひとり親(母子、父子、寡婦)福祉会
	佐 藤 健一郎	柏商工会議所事務局長
	板 津 守	柏ロータリークラブ幹事
	石 原 洋 司	柏さくらライオンズクラブ事務局長
	寺 田 英 史	一般社団法人柏歯科医師会理事
	島 田 幸 男	一般社団法人柏市薬剤師会理事
	赤 地 浩	柏市消防団副団長
	金 森 靖 宏	柏市 PTA 連絡協議会副会長
	新 井 賢 蔵	柏市教育委員会生涯学習部教育総務課課長
行政及び教育関係機関	吉 田 敬	柏市地域づくり推進部市民活動支援課課長
	眞 塩 さやか	柏市こども部こども政策課課長
	中 川 智 陽	(公社)成年後見センター・リーガルサポート千葉県支部柏地区サブリーダー
社会福祉事業経営又は学識経験者	大久保 貴 将	ITS株式会社取締役社長

※評議員任期：令和3年6月24日から令和7年度定時評議員会終結時まで

令和4年度
社会福祉法人柏市社会福祉協議会 組織体系図



第4期 柏市地域健康福祉活動計画
社協アクションプラン・発展強化計画進捗状況

I 社協アクションプラン

[年度別評価] 「◎」 大幅に達成／「○」 概ね達成／「△」 取り組んだが達成に至らず／「×」 未実施

1 地域・団体支援、ネットワークづくり

社協アクションプラン

(1) 地域いきいきセンターを拠点とした身近な相談支援や地域づくりの推進

地域いきいきセンターでは、地域福祉の支援拠点として、市民の身近な場所での相談支援や複合的な生活課題のコーディネート、支えあいの地域づくりの推進に取り組めます。						
実施年度	初年度 (2019)	2 年目 (2020)	3 年目 (2021)	4 年目 (2022)	5 年目 (2023)	最終年度 (2024)
	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
年度別実施計画						実施評価
初年度	地域いきいきセンターにおける包括的な相談支援体制について、関係機関と共に検討を進め、年度内に具体的な方針を固める					◎
2 年目	市内相談関係機関の顔合わせ及び継続したあいネットとの調整会議を実施し、ケース対応の連携強化を行うとともに、包括的な相談支援体制におけるいきいきセンターの役割の具体化を進める					○
3 年目	あいネット及び関係各課との連携会議や相談支援機関と連携したケース対応を積み重ね、身近な地域での相談支援機能を強化する					○
4 年目	相談支援関係機関と連携した伴走支援を実施し、センターの相談支援機能強化に取り組む。 重層的支援体制整備事業にかかわる中で、センターの機能をどう活かし、どのような役割を担うべきなのか検討を進める					○
5 年目						
最終年度						

① 風早南部地域いきいきセンター

実施年度	初年度 (2019)	2 年目 (2020)	3 年目 (2021)	4 年目 (2022)	5 年目 (2023)	最終年度 (2024)
目標値	1,350 件			1,425 件		1,475 件
実績値①	1,383 件	906 件	906 件	743 件		
実績値②	218 件	163 件	177 件	156 件		
実績値③	821 件	540 件	487 件	465 件		

[※①年間利用件数／②相談件数／③地域支援数]

② 松葉町地域いきいきセンター

実施年度	初年度 (2019)	2 年目 (2020)	3 年目 (2021)	4 年目 (2022)	5 年目 (2023)	最終年度 (2024)
目標値	1,150 件			1,225 件		1,275 件
実績値①	972 件	984 件	1,349 件	1,572 件		
実績値②	102 件	151 件	158 件	325 件		
実績値③	557 件	436 件	762 件	860 件		

[※①年間利用件数／②相談件数／③地域支援数]

③ 光ヶ丘地域いきいきセンター

実施年度	初年度 (2019)	2 年目 (2020)	3 年目 (2021)	4 年目 (2022)	5 年目 (2023)	最終年度 (2024)
目標値	1,200 件			1,275 件		1,325 件
実績値①	1,307 件	820 件	1,126 件	1,147 件		
実績値②	153 件	152 件	291 件	411 件		
実績値③	696 件	349 件	337 件	370 件		

[※①年間利用件数／②相談件数／③地域支援数]

④ 豊四季台地域いきいきセンター

実施年度	初年度 (2019)	2 年目 (2020)	3 年目 (2021)	4 年目 (2022)	5 年目 (2023)	最終年度 (2024)
目標値	1,400 件			1,475 件		1,525 件
実績値①	1,300 件	1,061 件	1,216 件	1,490 件		
実績値②	141 件	150 件	96 件	277 件		
実績値③	861 件	605 件	799 件	928 件		

[※①年間利用件数／②相談件数／③地域支援数]

⑤ 富勢地域いきいきセンター

実施年度	初年度 (2019)	2 年目 (2020)	3 年目 (2021)	4 年目 (2022)	5 年目 (2023)	最終年度 (2024)
目標値	950 件			1,025 件		1,075 件
実績値①	970 件	816 件	1,524 件	1,548 件		
実績値②	92 件	91 件	198 件	424 件		
実績値③	642 件	495 件	704 件	920 件		

[※①年間利用件数／②相談件数／③地域支援数]

⑥ 田中地域いきいきセンター

実施年度	初年度 (2019)	2 年目 (2020)	3 年目 (2021)	4 年目 (2022)	5 年目 (2023)	最終年度 (2024)
目標値	—			1,150 件		1,200 件
実績値①	657 件	1,192 件	1,064 件	930 件		
実績値②	35 件	83 件	191 件	198 件		
実績値③	561 件	936 件	716 件	664 件		

[※①年間利用件数／②相談件数／③地域支援数]

⑦ 南部地域いきいきセンター (2020.5 開設)

実施年度	初年度 (2019)	2 年目 (2020)	3 年目 (2021)	4 年目 (2022)	5 年目 (2023)	最終年度 (2024)
目標値	—			610 件		660 件
実績値①	—	569 件	873 件	1,157 件		
実績値②	—	107 件	325 件	519 件		
実績値③	—	272 件	315 件	371 件		

[※①年間利用件数／②相談件数／③地域支援数]

⑧ 新富地域いきいきセンター (2021.4 開設)

実施年度	初年度 (2019)	2 年目 (2020)	3 年目 (2021)	4 年目 (2022)	5 年目 (2023)	最終年度 (2024)
目標値	—	—		575 件		625 件
実績値①	—	—	655 件	908 件		
実績値②	—	—	108 件	210 件		
実績値③	—	—	352 件	418 件		

[※①年間利用件数／②相談件数／③地域支援数]

⑨ 増尾地域いきいきセンター (2022.11 開設)

実施年度	初年度 (2019)	2 年目 (2020)	3 年目 (2021)	4 年目 (2022)	5 年目 (2023)	最終年度 (2024)
目標値	—	—	—	—		—
実績値①	—	—	—	172 件		
実績値②	—	—	—	29 件		
実績値③	—	—	—	39 件		

[※①年間利用件数／②相談件数／③地域支援数]

(2) コミュニティソーシャルワーカーとしての地域支援の実施

コミュニティソーシャルワーカーとして、市民とともに個人や地域の生活課題の把握や解決に向けた「我が事」「丸ごと」の地域づくりに取り組みます。						
実施年度	初年度 (2019)	2 年目 (2020)	3 年目 (2021)	4 年目 (2022)	5 年目 (2023)	最終年度 (2024)
	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
年度別実施計画						実施評価
初年度	地区担当職員が従事する業務から把握した個別課題を、地域や社会資源と繋げるよう意識付けを行う					△
2 年目	支えあいの取り組みを通じて、個別課題を踏まえた地域づくりを推進する					△
3 年目	各地区担当職員が関わる中で、地域の状況と個別課題の把握に努め、関係機関との連携強化に取り組む					△
4 年目	各地区担当職員が関わる中で、引き続き地域の状況と個別課題の把握に努め、関係機関との連携強化に取り組む					△
5 年目						
最終年度						

(3) ふるさと協議会や町会等、地域組織との連携の強化

地域の中心組織であるふるさと協議会や町会・自治会・区・管理組合の他、その地域にある多様な社会資源や広域で活動する団体等とも連携を強化し、ともに地域福祉の推進に取り組みます。						
実施年度	初年度 (2019)	2 年目 (2020)	3 年目 (2021)	4 年目 (2022)	5 年目 (2023)	最終年度 (2024)
	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
目標値	1,500 回			1,700 回		1,800 回
実績値	1,403 回	944 回	1,103 回	1,170 回		

[※地区担当職員出向回数]

年度別実施計画						実施評価
初年度	地域いきいきセンターの整備及び支えあい会議の取り組みを通じ、地域関係組織との連携強化を図る					○
2 年目	地域支援課と連携し、新たに立ち上がるふる協及びその地域の町会組織との関係を深める					○
3 年目	地域支援課と連携し、組織体制が変わる地域への支援を行い連携を強化する					○
4 年目	関係各課と連携を図りコロナ禍での地域活動ができるよう支援していく					○
5 年目						
最終年度						

(4) ゆるやかなネットワークの構築

既存の会議等と連携しながら、分野や対象、活動形態等に捉われず、あらゆる視点で、日頃からの情報交換や必要な時の連携、協力ができるゆるやかなネットワークづくりに取り組みます。						
---	--	--	--	--	--	--

① 未就学児を対象とした子育て支援に関するネットワークづくり

実施年度	初年度 (2019)	2 年目 (2020)	3 年目 (2021)	4 年目 (2022)	5 年目 (2023)	最終年度 (2024)
	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
目標値	1 回			1 回		1 回
実績値	1 回	1 回	1 回	1 回		

[※情報共有や勉強会、交流の場の回数]

年度別実施計画						実施評価
初年度	11 月頃に拠点で活動している子育て支援団体との第 2 回目の交流会（研修）を実施する					◎
2 年目	今年度も地域の子育て支援団体との交流及び研修会を実施。地域の活動の情報収集及び利用者への情報提供を積極的に行う					○
3 年目	子育て支援団体交流会の中で一緒に行っていた研修会と交流会を別枠として設け、研修と交流がそれぞれが実りある場となるよう実施していく					△
4 年目	3 団体で実施している「はぐはぐ交流会」を 2 回実施し、それぞれの取り組みや気になる利用者について情報共有する					◎

5 年目		
最終年度		

② 子どもの居場所に関するネットワークづくり

実施年度	初年度 (2019)	2 年目 (2020)	3 年目 (2021)	4 年目 (2022)	5 年目 (2023)	最終年度 (2024)
	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
目標値	10 団体			16 団体		20 団体
実績値	14 団体	21 団体	22 団体	34 団体		

[※ネットワークに参加する団体数]

年度別実施計画		実施評価
初年度	新規に立ち上がる子ども居場所活動団体に対し、連絡会への参加を呼びかける	◎
	未就学児以上を対象としている子育て支援団体との関係づくりのため、地域のイベント等に積極的に参加する	○
2 年目	こどもの居場所活動の立ち上げを希望する団体に対する提供情報の充実を図る	△
	ひろばに遊びに来た利用者に情報提供するための子育て居場所に関するマップの作成を行い、利用者へ積極的に情報発信できるよう努める	△
3 年目	こどもの居場所活動団体とスクールソーシャルワーカーをつなげる機会を作る	×
	子育て支援団体情報マップを完成し、ひろば利用者の情報提供に活用する。幼稚園個別説明会は、オンラインを活用した集団説明会とし、情報提供の一環として全ての園の内容が一目でわかる一覧表を作成し配布する	○
4 年目	こどもの居場所活動の立ち上げを希望する団体に対する支援の強化を図る	○
	子育て支援団体研修(10 月)と交流会(令和 5 年 1 月)を、「かしわ子育てまちづくりネットワーク・ここと」と共催で実施する。なお、オンライン開催も視野に入れコロナ禍でも開催できるようにする	○
5 年目		
最終年度		

③ 若者支援に関するネットワークづくり

実施年度	初年度 (2019)	2 年目 (2020)	3 年目 (2021)	4 年目 (2022)	5 年目 (2023)	最終年度 (2024)
	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
目標値	1 回			1 回		1 回
実績値	2 回	1 回	2 回	1 回		

[※連絡会の開催回数]

年度別実施計画		実施評価
初年度	新しい参加者を含めた連絡会を開催し、ネットワークづくりを行うとともに、若者支援の取り組みを検討し実施する	○
2 年目	連絡会の構成団体（助成金交付団体）以外にも参加を呼びかけ、情報や課題の共有、新しいネットワークづくりを行い、若者支援の連携強化を図る	○
3 年目	関係団体と課題解決を目的に研修・講座等を実施する。また、必要に応じて新たなネットワークを作る	○
4 年目	構成団体を見直し、新たなネットワークを構築する。また引き続き研修を行い資質の向上を図る	○
5 年目		
最終年度		

④ 相談機関等とたすけあい団体のネットワークづくり

実施年度	初年度 (2019)	2 年目 (2020)	3 年目 (2021)	4 年目 (2022)	5 年目 (2023)	最終年度 (2024)
	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
目標値	20 団体			40 団体		60 団体
実績値	20 団体	14 団体	28 団体	40 団体		

[※情報交換の場に参加する相談機関数]

年度別実施計画						実施評価
初年度	ケアマネージャーへの周知（団体一覧、たすけあいの理解促進）を行う					○
2 年目	ケアマネージャーへのたすけあい活動手引きの改訂を行う					△
3 年目	ケアマネージャー向けのたすけあい活動手引きの改訂を行う（たすけあいサービス以外に元気情報を活用して社会参加の視点を盛り込む）					○
4 年目	たすけあい団体と福祉関係機関との連携に向けた意見交換会を地域ごとに行い、情報の共有と関係づくりを行う					○
5 年目						
最終年度						

⑤ 分野を超えた社会福祉法人のネットワークづくり

実施年度	初年度 (2019)	2 年目 (2020)	3 年目 (2021)	4 年目 (2022)	5 年目 (2023)	最終年度 (2024)
	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
目標値	1 回			6 回		7 回
実績値	1 回	4 回	4 回	6 回		

[※連携の場等の開催数]

年度別実施計画						実施評価
初年度	年に 1 度の合同研修と懇親を実施。その他、法人連携や協働事業を模索するため、若い職員を中心としたネットワークの設置を検討する					○
2 年目	法人の種別バランス（高齢・障害・児童等）を考慮し、10 名程度のコアメンバーによる検討会の立ち上げを進める					◎
3 年目	市内の全法人を対象としたネットワークの組織化に向けて、現状の検討会の活性化により組織体制や事業展開（取り組み）を具現化していく					○
4 年目	社会福祉法人ネットワークの組織化に向けて具体的な組織の設立をすすめる					○
5 年目						
最終年度						

(5) たすけあいの重層化の推進

地域組織やNPO法人、企業等の様々な日常生活支援活動が共存と協働、連携しあえるしくみづくりに取り組みます。						
実施年度	初年度 (2019)	2 年目 (2020)	3 年目 (2021)	4 年目 (2022)	5 年目 (2023)	最終年度 (2024)
	検討	実施	⇒	実施	⇒	⇒
目標値	—			1 回		2 回
実績値	—	打合せ実施	打合せ実施	1 回		

[※研修・イベント数]

年度別実施計画						実施評価
初年度	たすけあい団体との連携が有効な専門職や企業の洗い出しを行う					△
2 年目	ネットワーク会議を開催し、多様な団体・企業などと手をつなげる状態を模索する					△
3 年目	生活支援につながる企業サービスの情報を整理して一覧を作成し、たすけあい活動と連携ができるよう情報を発信していく					△
4 年目	たすけあい団体と企業の連携に向けた意見交換会を実施し、試験的な取り組みを行う					○
5 年目						
最終年度						

(6) 支えあい団体を利用しやすい環境づくり

さわやかサービスのあり方を見直し、直接サービスを提供する他、たすけあい活動が、より多くの市民に利用されるよう、積極的に情報提供の窓口としての役割を果たします。

実施年度	初年度 (2019)	2 年目 (2020)	3 年目 (2021)	4 年目 (2022)	5 年目 (2023)	最終年度 (2024)
	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
目標値	1,200 件			800 件		900 件
実績値	4,549 件	4,004 件	4,175 件	4,292 件		

[※相談受付件数] 窓口・電話・訪問等により在宅福祉や介護についての相談を実施。相談の集計方法を改善したことにより、計上される件数が増加。

年度別実施計画		実施評価
初年度	事例を通じたさわやかサービスと町会エリア及びコミュニティエリア、たすけあい団体との連携関係を構築する	○
2 年目	さわやかサービスが持つ機能を地域課題のために有効に機能されるために、相談者やケアマネジャーからのニーズに基づき、支援メニュー・ルールの見直しを検討する	○
3 年目	支えあい団体との連携を図り、スムーズなコーディネートにつなげるため、それぞれの役割、担い手の状況等を把握する。引き続き、支援内容、ルールの見直しを検討する	○
4 年目	重層的な支えあい活動を推進していく中、従来の支えあい団体が存続し続ける為の方法についてなど、話し合いの場を設け、横の繋がりとの連携強化を図る	△
5 年目		
最終年度		

2

新たなしくみや活動づくり

社協アクションプラン

(1) 多様な居場所づくりの推進

様々な分野とコラボレーションしながら、誰もが集えて、多世代が交流できる住民主体の居場所づくりの推進に取り組みます。

実施年度	初年度 (2019)	2 年目 (2020)	3 年目 (2021)	4 年目 (2022)	5 年目 (2023)	最終年度 (2024)
	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
目標値	260 件			275 件		285 件
実績値	281 件	280 件	286 件	297 件		

[※多様な居場所数]

年度別実施計画		実施評価
初年度	多様な場所（公共施設・施設・企業・空き家・店舗）を活用した好事例を共有し、周知する	◎
2 年目	居場所に活用できる場の確保と一つの場で世代を超えて多様な活動が展開できる事例づくり、環境づくりを行う	◎
3 年目	多様な活動をしている通いの場の事例の情報収集と整理を行い、既存の啓発媒体の更新も踏まえながら、情報発信をしていく	△
4 年目	ほのぼのプラザますおで様々な取り組みを行い整理したうえで、参考例としての情報発信や通いの場づくりの推進を図る。	○
5 年目		
最終年度		

(2) 支えあい活動の推進

地域支えあい推進員と地区担当職員が、一体的に活動し、たすけあい活動や高齢者（多世代含む）の通いの場等の支えあい活動を推進します。

実施年度	初年度 (2019)	2 年目 (2020)	3 年目 (2021)	4 年目 (2022)	5 年目 (2023)	最終年度 (2024)
	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
年度別実施計画						実施評価
初年度	全世代型の視点から高齢者が活躍できる場の抽出を行う					◎
2 年目	地域元気情報の幅広い活用方法を検討し周知する					◎
3 年目	元気高齢者づくりのための協議を行い、地域元気情報の幅広い活用方法を検討し、関係者へ周知していく					△
4 年目	地域元気情報に新たな情報（企業等の情報）を加え、より幅広い活用ができるよう検討する					○
5 年目						
最終年度						

① たすけあい活動（町会エリア）

実施年度	初年度 (2019)	2 年目 (2020)	3 年目 (2021)	4 年目 (2022)	5 年目 (2023)	最終年度 (2024)
目標値	39 団体			54 団体		58 団体
実績値	32 団体	35 団体	36 団体	37 団体		

[※団体数]

② たすけあい活動（コミュニティエリア）

実施年度	初年度 (2019)	2 年目 (2020)	3 年目 (2021)	4 年目 (2022)	5 年目 (2023)	最終年度 (2024)
目標値	14 団体			18 団体		22 団体
実績値	17 団体	18 団体	19 団体	17 団体		

[※団体数]

③ たすけあい活動（複数コミュニティエリア）

実施年度	初年度 (2019)	2 年目 (2020)	3 年目 (2021)	4 年目 (2022)	5 年目 (2023)	最終年度 (2024)
目標値	14 団体			19 団体		20 団体
実績値	18 団体	17 団体	15 団体	16 団体		

[※団体数]

④ 通いの場（月一型）

実施年度	初年度 (2019)	2 年目 (2020)	3 年目 (2021)	4 年目 (2022)	5 年目 (2023)	最終年度 (2024)
目標値	196 団体			244 団体		275 団体
実績値	206 団体	200 団体	196 団体	196 団体		

[※団体数]

⑤ 通いの場（週一型）

実施年度	初年度 (2019)	2 年目 (2020)	3 年目 (2021)	4 年目 (2022)	5 年目 (2023)	最終年度 (2024)
目標値	15 団体			28 団体		37 団体
実績値	17 団体	17 団体	20 団体	20 団体		

[※団体数]

⑥ 通いの場（常設型）

実施年度	初年度 (2019)	2 年目 (2020)	3 年目 (2021)	4 年目 (2022)	5 年目 (2023)	最終年度 (2024)
目標値	11 団体			13 団体		14 団体
実績値	9 団体	8 団体	9 団体	10 団体		

[※団体数]

(3) 見守りのしくみづくりと支援

既存の近隣関係や町会等の防災訓練や要援護者支援のしくみ等を活用、連動した日常的な見守り活動の推進と支援に取り組みます。

実施年度	初年度 (2019)	2 年目 (2020)	3 年目 (2021)	4 年目 (2022)	5 年目 (2023)	最終年度 (2024)
	検討	実施	⇒	⇒	⇒	⇒
目標値	—			20 件		40 件
実績値	—	—	—	—		

[※見守りのしくみと支えあい活動の連携数]

年度別実施計画		実施評価
初年度	公的な窓口の周知と一体的な見守り普及啓発チラシを配布する	△
2 年目	通いの場、たすけあいから発展した見守りの推進を行う	△
3 年目	市の総合相談体制構築の状況を注視し、住民のゆるやかな見守りを進めるために、見守り安心ダイヤルの方向性について市と調整していく	×
4 年目	市の包括支援体制構築の状況を注視し、住民のゆるやかな見守りを進めるために、見守り安心ダイヤルの方向性について市と確認していく	×
5 年目		
最終年度		

(4) 効果的な介護予防活動の創造と普及

関係団体と連携し、健康寿命の延伸に効果的な介護予防事業の創造やその普及に取り組みます。

実施年度	初年度 (2019)	2 年目 (2020)	3 年目 (2021)	4 年目 (2022)	5 年目 (2023)	最終年度 (2024)
	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
目標値	220 回			230 回		240 回
実績値	261 回	122 回	154 回	—		

[※介護予防講座数]

年度別実施計画		実施評価
初年度	講座を通じて影響のある企画内容や講師の評価、発掘を行うとともに、ほのぼのプラザの貸館業務等を通じ、民間団体が主催する市民向け講座の活用を図る	◎
2 年目	いきいきセンター及び地域包括支援センター及び地域組織との連携による講座展開と、講座に集まらなくても介護予防の知識等が周知されるための紙面講座等の展開を行う	△
3 年目	地域包括支援センターや地域いきいきセンター等との連携によって、介護予防を通じた居場所づくりの支援、ノウハウを共有するとともに、動画を通じた居場所づくり活動の支援を行う。また、市担当課の方向性を踏まえた対応と円滑な内外調整を行っていく	○
4 年目	令和 3 年度末で事業受託終了	—

(5) 新たな福祉課題へのモデル的な活動の実施

新たな福祉課題（現代的な課題等）に対応するため、課題に応じた支援体制（ゆるやかな連携等）やモデル的な活動、しくみづくりに取り組みます。

実施年度	初年度 (2019)	2 年目 (2020)	3 年目 (2021)	4 年目 (2022)	5 年目 (2023)	最終年度 (2024)
	検討	⇒	実施	⇒	⇒	⇒
目標値	—			1 件		1 件
実績値	検討	2 件	2 件	2 件		

[※新たな課題に対する体制や活動数]

年度別実施計画		実施評価
初年度	新たな課題や複合的な課題解決に向けた総合相談やいきいきセンター、地域の連携によるモデル的な活動を検討する	△
2 年目	複合的な課題解決に向けた会議等を年 2 回開催し、課題解決に向けた連携の場づくりを行う	○
3 年目	金銭管理に関する課題を整理し、関係機関等と連携体制や新たな取り組み、仕組みを検討する	○
4 年目	令和 5 年度開始に向け、緊急一時的な資金調達が難しい支援困難事例等への新たな緊急援護金制度の創設に向けた調整を図る 令和 5 年度開始に向け、生活困窮世帯の中学生等を対象とした、学用品の支援等の新たな仕組みづくりの調整を図る	○
5 年目		
最終年度		

(6) 空き家の活用等に関する研究

市の空き家対策の状況を踏まえながら、空き家の有効活用やそのしくみづくりについて研究します。

実施年度	初年度 (2019)	2 年目 (2020)	3 年目 (2021)	4 年目 (2022)	5 年目 (2023)	最終年度 (2024)
	検討	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
年度別実施計画		実施評価				
初年度	市住宅政策課の動向を踏まえ、本会としての方向性について検討する	△				
2 年目	市からの利活用物件の情報に対し、地域での活用に向けて体制整備グループとの連携により可能性を探っていく	○				
3 年目	住環境再生課からの利活用物件の情報に対し、地域での活用に向けての調整を行っていく	△				
4 年目	遺贈寄附の受け皿として、空き家の活用に向けた検証を進める	△				
5 年目						
最終年度						

(7) 子育て支援拠点の充実

イベントや講座等の充実による居心地の良い居場所づくりや出張相談等の相談業務の実施等、子育て支援拠点の充実に取り組みます。また、災害時にできるはぐはぐ広場での親子への支援等の検討を進めます。

① 居心地の良い居場所づくりと相談支援体制の充実

実施年度	初年度 (2019)	2 年目 (2020)	3 年目 (2021)	4 年目 (2022)	5 年目 (2023)	最終年度 (2024)
	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
年度別実施計画		実施評価				
初年度	利用者のニーズに応え、年齢に応じた遊具等の整備及びファミサポ、拠点、利用者支援事業を併せたパンフレットを作成する	◎				
2 年目	前年度の体制を継続。出張相談や育児講座で発信された内容をホームページで発信し、より多くの人に情報提供を行う。また、他機関とのつながりを強化し、個別のケースに対して連携が取れるよう進めていく	○				
3 年目	出張相談は、新たにラコルタ柏「多世代交流スペース」で実施する。また、新たな相談方法としてリモートを活用した相談を緩やかに実施する	○				

4 年目	今年度父親に向けてアンケートを実施。アンケートで得た父親の思い等を組み取る中で、父親同士の交流や父子でも通いやすいひろばを模索しながら進めていく。 ニーズの高い0歳のイベント「すくすくタイム」を月1回出張ひろばとしてラコルタ柏で実施する。 新たに光ケ丘と南部の地域いきいきセンターで、毎月各1回出張相談を実施する。また、出張相談及びオンライン相談のPRを強化し、気軽に利用できる環境づくりと相談者の増加を図る。	○
5 年目		
最終年度		

② 災害時の親子（未就学児とその親）への支援

実施年度	初年度 (2019)	2 年目 (2020)	3 年目 (2021)	4 年目 (2022)	5 年目 (2023)	最終年度 (2024)
	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
目標値	2 回			2 回		2 回
実績値	2 回	2 回	3 回	3 回		

[※利用者を交えた避難訓練実施回数]

年度別実施計画		実施評価
初年度	職員避難訓練を毎月実施、年2回利用者を交えた訓練を実施する	◎
	災害時対応を沼南社会福祉センターと子育て支援拠点で検討し、避難訓練を実施する	△
2 年目	災害の際に、常に職員が敏速に動けるよう、定期的な避難訓練を実施。災害用備蓄品の管理及び備蓄場所、使用方法の確認を定期的に行う	○
	子育て支援グループとの避難訓練時に災害時を想定し、受け入れ体制のシミュレーションを実施する	◎
3 年目	4月に非常時の持ち出し品と避難経路の確認を行う。また、月1回子育て支援グループでの避難訓練（うち利用者を交えた訓練を3回実施）を実施し、随時改善を図る	○
	はぐはぐひろばの利用者を交え、新設した避難階段を使用し、安全な避難訓練が実施できるよう、避難階段周辺の整備を行い、避難訓練を実施する	○
4 年目	4月は、マニュアルの確認及び避難経路、持ち出し品の確認を行う 5月より月1回避難訓練を実施する。うち3回は利用者参加型とし、見えてきた課題等は、その都度確認し見直しを図る 子育て世代の防災に取り組む公益活動団体との連携を図る	◎
5 年目		
最終年度		

(8) 成年後見制度の利用促進

<p>成年後見制度利用促進法に基づき、柏市や職能団体等と連携し、かしわ福祉権利擁護センターにおける成年後見制度の利用促進に積極的に取り組みます。</p> <p>また、制度の普及啓発や相談窓口の設置等により、潜在的な対象者の早期発見から支援までのしくみづくりに取り組みます。</p>						
実施年度	初年度 (2019)	2 年目 (2020)	3 年目 (2021)	4 年目 (2022)	5 年目 (2023)	最終年度 (2024)
	検討	⇒	実施	⇒	⇒	⇒
年度別実施計画						実施評価
初年度	柏市等と話し合いを持ち、成年後見制度の普及啓発や中核機関の設置等についてしくみや内容等を検討する					◎
2 年目	かしわ福祉権利擁護センターのあり方も踏まえ、引き続き市担当課と話し合いを行い、来年度の実施に向けた準備等を行う					◎
3 年目	一次相談機関（地域包括支援センター、地域生活支援拠点）との連携体制の構築と、協働した成年後見制度普及啓発等事業を行う					○
4 年目	第2期成年後見制度利用促進基本計画と現行の取り組みと擦り合わせを行い、取り組みの見直し等を行う 一次相談機関（特に地域生活支援拠点）との連携や研修機会の提供等を通じて、成年後見制度に関する一次相談機関の対応力の向上を図る					○

5 年目		
最終年度		

(9) 日常的な活動等に障害者も参加できる環境づくり

障害者を対象とした活動ではなく、日常的な様々な活動や場面の中に、障害者が自然と活動、参加できる工夫や環境づくりに取り組みます。

実施年度	初年度 (2019)	2 年目 (2020)	3 年目 (2021)	4 年目 (2022)	5 年目 (2023)	最終年度 (2024)
	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
目標値	1 回			2 回		2 回
実績値	1 回	0 回	0 回	16 回		

[※理解促進に関わる取り組み回数]

年度別実施計画		実施評価
初年度	障害者のスポーツ推進の取り組みと連動し、地域行事などに障害者が気軽に参加できるような環境づくりを関係団体と検討する	○
2 年目	市の障害者スポーツの取り組みを通じて、障害者が参加しやすい地域活動のあり方を検討する	△
3 年目	市スポーツ課による障害者スポーツ推進連絡会へ参画を継続し、状況に応じて具体の調整を行う	×
4 年目	ラコルタ柏において、障害者関係団体との連携による「障害もある子もない子も参加できる」場を積極的に展開し、地域展開のモデルとする	○
5 年目		
最終年度		

3 人材の育成や活用、支援

社協アクションプラン

(1) 我が事意識の醸成に向けた福祉教育の推進

我が事意識の醸成を目指し、世代に応じた福祉教育を展開します。また、児童・生徒に対しては、啓発チラシやボランティア体験等、夏休み期間を活用した福祉事業の充実に取り組みます。

実施年度	初年度 (2019)	2 年目 (2020)	3 年目 (2021)	4 年目 (2022)	5 年目 (2023)	最終年度 (2024)
	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
目標値	600 人			600 人		600 人
実績値	676 人	132 人	360 人	543 人		

[※夏ボラの参加者数]

年度別実施計画		実施評価
初年度	「夏ボラのススメ」を発行、学校等に配布・周知のうえ参加を呼び掛ける	○
2 年目	「夏ボラのススメ」を発行し、児童期から福祉へ興味関心や障害理解を深め、地域活動参加への呼びかけを行う	△
3 年目	「夏ボラのススメ」を発行し、児童期から福祉へ興味関心や障害理解を深め、地域活動参加への呼びかけを行う	○
4 年目	ふくしの種、夏ボラ、福祉体験教室、出前講座により推進する。夏ボラについては、デザインを刷新し、メインターゲットである中高生の参加増を目指す	○
5 年目		
最終年度		

(2) ボランティアコーディネート機能の充実

依頼者と活動者をつなぐコーディネート効率化と実践を通じた量・質を兼ね備えたコーディネートに取り組みます。						
実施年度	初年度 (2019)	2 年目 (2020)	3 年目 (2021)	4 年目 (2022)	5 年目 (2023)	最終年度 (2024)
	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
目標値	480 件			480 件		480 件
実績値	446 件	74 件	108 件	177 件		

[※ボランティアコーディネート件数]

年度別実施計画		実施評価
初年度	通常のコーディネート業務に加え、体験同行や依頼先施設等への訪問を行う	○
2 年目	単発的な依頼と年間を通じた依頼のすみ分けを意識して取り組む。ボランティア支援希望者と活動希望者の円滑な調整及び活動同行や施設等への訪問を適宜行う	△
3 年目	コロナ禍でのボランティア活動への支援。ボランティア団体や依頼者へ新たな活動方法の提案をする。また、活動希望者のニーズにある活動先の紹介をしていけるようなマッチングに取り組み、データ分類を行っていく	○
4 年目	コロナにより停滞した活動について、ボランティア団体の活動状況をアンケートにより把握し、工夫等を共有し、再活性化を目指す	○
5 年目		
最終年度		

(3) 活動の場までつなぐ人材の育成

活動の場へのコーディネートまでを含めた人材育成（講座）・相談支援に取り組みます。						
実施年度	初年度 (2019)	2 年目 (2020)	3 年目 (2021)	4 年目 (2022)	5 年目 (2023)	最終年度 (2024)
	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
目標値	5 講座			10 講座		10 講座
実績値	5 講座	3 講座	3 講座	7 講座		

[※体験等を含む人材育成講座数]

年度別実施計画		実施評価
初年度	入門、精神保健ボランティア講座、傾聴講座等を開催し、人材の育成を行う	○
2 年目	例年実施する講座に加え、施設等でニーズの高いボランティアの企画・養成を行う	△
3 年目	各機関と連携しての講座の企画や実施を行い、育成後の活動の場を提供していける仕組みづくりに取り組む	○
4 年目	コロナにより制限される活動が多いが、ラコルタ事業をはじめ、活動できる場の把握と調整をしながら人材育成を進める	○
5 年目		
最終年度		

(4) プロボノの研究

各分野の専門家が、職業上持つ知識やスキル、経験を活かし社会貢献するボランティア活動（＝プロボノ）を研究します。						
実施年度	初年度 (2019)	2 年目 (2020)	3 年目 (2021)	4 年目 (2022)	5 年目 (2023)	最終年度 (2024)
	検討	⇒	実施	⇒	⇒	⇒
目標値	—			100 人		200 人
実績値	—	—	—	155 人		

[※専門技術を活かしたボランティア登録者数]

年度別実施計画		実施評価
初年度	個人登録ボランティアの持つ専門技術の情報整理を行う	○
2 年目	昨年実施した調査データをもとに活用方法を検討する	△
3 年目	調査データを基に活用方法について、引き続き検討を行う	△
4 年目	依頼ニーズの増加が想定されるパソコン、スマホを得意領域とする登録ボランティアへのアンケートを行い、そのスキルを用いた研修の場設定と活動の場提供を進める	○
5 年目		
最終年度		

(5) ニーズに応じた人材の育成と確保、活動支援

福祉教育や支援の担い手等、ニーズに応じた人材育成や活動者、担い手の確保、活動支援に取り組みます。また、ボランティアセンターの個人ボランティア登録者に対し、定期的な情報提供を行う等、活動の活性化に取り組みます。

① 福祉教育ボランティアの育成と活動支援

実施年度	初年度 (2019)	2 年目 (2020)	3 年目 (2021)	4 年目 (2022)	5 年目 (2023)	最終年度 (2024)
	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
目標値	30 人			55 人		79 人
実績値	41 人	41 人	20 人	36 人		

[※福祉教育ボランティア登録者数]

年度別実施計画		実施評価
初年度	福祉教育ボランティア交流会を実施し、福祉体験講座の講師依頼時に活動できるよう調整を行う	○
2 年目	福祉教育ボランティア養成講座を実施し、人材の拡充を行う	△
3 年目	少人数で対応可能な福祉体験の内容検討と、ボランティア増員のための養成講座を実施する	△
4 年目	見直しを図ったマニュアルをもとに、既存ボランティアのフォローアップと新たな人材育成を進める	○
5 年目		
最終年度		

② 災害時に動けるボランティアの育成と確保

実施年度	初年度 (2019)	2 年目 (2020)	3 年目 (2021)	4 年目 (2022)	5 年目 (2023)	最終年度 (2024)
	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
目標値	72 人			77 人		87 人
実績値	79 人	96 人	102 人	103 人		

[※災害ボランティアコーディネーター登録者数]

年度別実施計画		実施評価
初年度	災害ボランティアコーディネーター養成講座を開催し、コーディネーターを養成、修了者による自主勉強会の支援を行う	○
2 年目	養成講座の企画・開催及び防災・災害ボランティア団体との連携・交流、その他、修了者による被災地支援の検討等を行う	○
3 年目	感染症対策を講じた災害ボラセン運営マニュアルの見直しとコーディネーターの養成を継続する	○
4 年目	前年度訓練により課題を修正したマニュアルをもとに災害ボランティアＣＯの育成とフォローアップ、訓練を実施する	○
5 年目		
最終年度		

③ 生活支援員の育成と確保

実施年度	初年度 (2019)	2 年目 (2020)	3 年目 (2021)	4 年目 (2022)	5 年目 (2023)	最終年度 (2024)
	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
目標値	45 人			55 人		65 人
実績値	43 人	38 人	38 人	36 人		

[※生活支援員数]

年度別実施計画		実施評価
初年度	新たな生活支援員獲得に向けた対策を検討、退任民生委員向けに説明会を開催し、新しい生活支援員を確保する	△
2 年目	他部署との連携による人材発掘や市民後見人養成研修受講生を生活支援員につなげる等、新たな人材の確保を行う	△
3 年目	他部署と連携による人材発掘や市民後見人養成研修受講者を生活支援員につなげるなどの人材発掘を行う	△
4 年目	市民後見人養成研修受講者以外の生活支援員獲得の取り組みを行う	○
5 年目		
最終年度		

④ 市民後見人の養成・育成と活動支援

実施年度	初年度 (2019)	2 年目 (2020)	3 年目 (2021)	4 年目 (2022)	5 年目 (2023)	最終年度 (2024)
	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
目標値	25 人	31 人		55 人		79 人
実績値	23 人	23 人	44 人	53 人		

[※市民後見人候補者数]

年度別実施計画						実施評価
初年度	養成研修中は、定期研修や利用者訪問等を行い、修了後はフォローアップ研修や情報交換を行い育成する					◎
2 年目	第 4 期市民後見人養成研修（座学、実習等）を実施、新たな市民後見人の養成を行う					△
3 年目	第 4 期市民後見人養成研修を実施、新たな市民後見人の養成を行う					○
4 年目	第 5 期市民後見人養成研修を実施、新たな市民後見人の養成を行う。また修了者に対して、研修だけではなく連携・交流を意識した支援を行う					○
5 年目						
最終年度						

⑤ 後見支援員の活動の場の提供と拡充

実施年度	初年度 (2019)	2 年目 (2020)	3 年目 (2021)	4 年目 (2022)	5 年目 (2023)	最終年度 (2024)
	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
目標値	15 人			30 人		40 人
実績値	14 人	25 人	28 人	28 人		

[※後見支援員延活動者数]

年度別実施計画						実施評価
初年度	法人後見の継続により、後見支援員活動の場を確保するとともに、普及啓発活動等への協力を促し、活動の場の提供と拡大を図る					○
2 年目	後見支援員の新たな活動の場として、南部地域いきいきセンターを活用した意思決定支援（望みノート）や成年後見の普及啓発活動を行う					○
3 年目	南部地域いきいきセンター以外でも終活応援ルームを行うなど、意思決定支援、成年後見制度普及啓発活動を拡大する					○
4 年目	法人後見業務や終活応援ルームの増所を図り、後見支援員の活動の場の提供と拡充を行う					○
5 年目						
最終年度						

⑥ さわやかサービス協力会員の確保

実施年度	初年度 (2019)	2 年目 (2020)	3 年目 (2021)	4 年目 (2022)	5 年目 (2023)	最終年度 (2024)
	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
目標値	170 人			230 人		250 人
実績値	149 人	168 人	168 人	171 人		

[※さわやかサービス協力会員数]

年度別実施計画						実施評価
初年度	既にルートのあるシニアへの募集に加え、長期的な人材確保のため子育て世代への募集ルートを開拓する					◎
2 年目	社協のサービスを跨いだ学びの機会の提供により、地域共生社会における多様な参加支援を進め、さわやかサービス協力会員を確保する					◎
3 年目	年 4 回の登録説明会の実施のほか、協力会員の人数を確保したい地域（増尾、光ヶ丘、南部等）に出向き、臨時説明会を実施する。また、スキルアップ研修等で会員同士のつながりをつくり活動の活性化に努める					△
4 年目	市民のニーズに柔軟に対応し、手厚いサービス提供ができるようにする為、引き続き協力会員確保に努める					△
5 年目						
最終年度						

⑦ 柏市訪問型生活支援サポーター（かじサポ）の養成

実施年度	初年度 (2019)	2 年目 (2020)	3 年目 (2021)	4 年目 (2022)	5 年目 (2023)	最終年度 (2024)
	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
目標値	310 人			100 人		100 人
実績値	323 人	333 人	333 人	86 人		

[※かじサポ登録者数]

年度別実施計画						実施評価
初年度	研修の参加者増加に向け、募集ルートの開拓、資格取得をし、就労していない方への調査、フォローアップ講座を行う					◎
2 年目	生涯現役促進協議会との連携により募集ルートの確保を行う					△
3 年目	柏市訪問型生活支援サポーター（かじサポ）のフォローアップとともに、現時点の状況について情報を収集する（現況調査）					○
4 年目	フォローアップ研修と現況調査の実施					○
5 年目						
最終年度						

⑧ ファミリー・サポート・センター協会員・両方会員の確保

実施年度	初年度 (2019)	2 年目 (2020)	3 年目 (2021)	4 年目 (2022)	5 年目 (2023)	最終年度 (2024)
	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
目標値	400 人	430 人	460 人	490 人		550 人
実績値	370 人	416 人	455 人	468 人		

[※ファミサポ協会員・両方会員数]

年度別実施計画						実施評価
初年度	地区ごとの利用状況や協会員の状況等を踏まえ、地区担当者や地区リーダー協力のもと、効果的な人材確保に取り組む（地域での説明会の実施）					○
2 年目	基礎研修が受けやすい体制を構築する。また、必要とされた地域に出向いての個別説明と事業説明を積極的に行い、協会員獲得のためのチラシやポスターを各所に配布。社協のホームページで情報も発信していく。					○
3 年目	基礎研修会の開催回数（年 4 回から 6 回）や午前のみ 2 日間コース（1 回から 2 回）、開催場所（松葉近隣センターの 3 か所）を拡大し、会員確保に努める。また、協会員獲得の P R 活動に地区リーダーも交えて取り組める内容を構築し、実施する					○
4 年目	礎研修会を、いきいきプラザと沼南センターの 2 会場で年 6 回（2 回は午前のみ 2 日コース）実施する。また、協会員を身近に感じる取り組みとして、地区リーダーに話をしてもらう時間を新たに設ける 援助件数の多い中央地区と協会員数の少ない南部地区に対して、チラシや張り紙等の会員獲得の取り組みを強化し、会員数の増加を図る					○
5 年目						
最終年度						

⑨ 個人登録ボランティア登録者の増加

実施年度	初年度 (2019)	2 年目 (2020)	3 年目 (2021)	4 年目 (2022)	5 年目 (2023)	最終年度 (2024)
	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
目標値	1,000 人			1,120 人		1,200 人
実績値	1,094 人	931 人	880 人	941 人		

[※個人ボランティア登録者数]

年度別実施計画						実施評価
初年度	「通年ボラ∞」を発行・配布し周知を図る					○
2 年目	「通年ボラ∞」の発行及び配布。Q R コード登録によるお知らせメール機能の P R を行う					○
3 年目	ボランティア入門講座の開催数を増やし、個人ボランティア登録者の増につなげる。また、メールマガジン配信システムを活用し登録者に対する情報発信を行う					△

4 年目	窓口相談、入門講座をはじめ、地域活動ガイダンス、生涯現役窓口やシルバー人材Cとの連携等、多様なチャンネルにより個人登録ボランティアの増を目指す	△
5 年目		
最終年度		

(6) モデル活動の実施と「地域づくり」との連動

地域いきいきセンターや総合福祉センター（多世代交流）等で実施した、モデル的な成功事例を共有し、横展開を図ります。

実施年度	初年度 (2019)	2 年目 (2020)	3 年目 (2021)	4 年目 (2022)	5 年目 (2023)	最終年度 (2024)
	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
目標値	1 事例			1 事例		1 事例
実績値	1 事例 (支えあいイベント)	1 事例 (教育福祉会館事業)	1 事例 (オンラインの活用)	4 事例 (企業連携等)		

[※モデル的な取り組み事例数]

年度別実施計画						実施評価
初年度	試行的、先行的に実施する人材育成や地域活動について、他の地域での適用を検討し中央から地域、地域から地域へ広げる仕組みをつくる					△
2 年目	新教育福祉会館の方針を踏まえ、開館に向けて多目的スペースでの事業展開や講座等の企画案を作成しておく。(コロナ禍により試行が困難なため)					○
3 年目	昨年度作成した企画案を活用し、実施に向けた検討を行う					△
4 年目	いきいきセンターや総合福祉センター等で仕掛けたモデル的な取り組みを他地域で活用し、地域づくりにつなげていく					○
5 年目						
最終年度						

(7) 介護予防を通じた地域活動の支援

介護予防事業でのノウハウを活かし、つながりを絶やさないよう情報提供や人材育成等に取り組みます。

実施年度	初年度 (2019)	2 年目 (2020)	3 年目 (2021)	4 年目 (2022)	5 年目 (2023)	最終年度 (2024)
	実施	⇒	⇒	実施	⇒	⇒
目標値	120 回			実施		実施
実績値	105 回	15 回	106 回	278 件		

[※1～3年目：フレイル予防・健康づくり出前講座数、4～5年目：介護予防の情報発信の実施]

[※4～5年目：介護予防グッズの貸し出し件数]

年度別実施計画						実施評価
初年度	健康づくり出前講座、人材育成講座、介護予防グッズ等を通じて、地域住民の主体的な介護予防活動を支援する					○
2 年目	健康づくり出前講座、人材育成講座、介護予防グッズ等を通じて、地域住民の主体的な介護予防活動を支援する					△
3 年目	フレイル予防健康づくり出前講座を通じた居場所づくり活動の支援を行う					○
4 年目	ほのぼのプラザますおの通いの場で取り組む介護予防に係る情報の提供及びグッズの貸し出し					○
5 年目						
最終年度						

(1) 総合相談（貸付等）を窓口とした生活課題へのアプローチ

総合相談（貸付等）をきっかけに、相談者が抱える複合的な福祉課題の整理や制度・専門機関等へのつながり等、課題解決に向けた支援に取り組めます。

実施年度	初年度 (2019)	2 年目 (2020)	3 年目 (2021)	4 年目 (2022)	5 年目 (2023)	最終年度 (2024)
	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
目標値	80 件			120 件		130 件
実績値	209 件	2,072 件	1,078 件	3,582 件		

[※課題を整理し支援機関や制度につないだ件数]

※コロナ特例貸付で状況確認シートを使用して、あいネットと連携、情報共有した件数も含む

年度別実施計画		実施評価
初年度	複合的な生活課題を抱えた相談者の課題を整理し、解決に向けた助言や必要な機関等へのつながりを行う	◎
2 年目	複合的な課題を抱える相談者の課題の整理や助言、必要機関へのつながり等を行い、相談者の課題解決を図る	○
3 年目	心配ごと相談や福祉資金の貸付等の相談対応や督促等により、相談者の課題解決や解決に必要な支援を行う	○
4 年目	複合的な課題を抱える相談者の課題を整理し、必要な支援機関への繋ぎを行う。また、重層的支援体制を意識し関係機関との連携強化を図る	○
5 年目		
最終年度		

(2) 相談の集約と分析による新たな福祉課題への対応

社協の各相談窓口に寄せられた相談や生活課題を集約・分析し、新たな福祉課題等の整理や解決、対応等に取り組めます。

実施年度	初年度 (2019)	2 年目 (2020)	3 年目 (2021)	4 年目 (2022)	5 年目 (2023)	最終年度 (2024)
	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
年度別実施計画						実施評価
初年度	社協内での相談データの集計方法の見直しを行い、相談データから総合相談が必要なデータを抽出して課題を整理する					△
2 年目	各担当間の相談データの集計や分析を行い、福祉課題の傾向や取り組むべき課題の整理を行う					△
3 年目	対応困難な相談事例等を集約・整理し、課題解決に向けた検討や連携などにつなげる					△
4 年目	社協内の相談事業を行う担当間で、対応困難事例の対応策等を共有するなどの検討を行う					△
5 年目						
最終年度						

(3) 複合的な福祉課題解決への連携と支援

相談支援機関等が複合的な福祉課題の解決に取り組む際、総合相談や地域いきいきセンター等がその特徴やノウハウを活かし、分野を越えた横断的な支援体制の構築や課題解決への支援に取り組みます。

① 横断的な検討会議等の開催

実施年度	初年度 (2019)	2 年目 (2020)	3 年目 (2021)	4 年目 (2022)	5 年目 (2023)	最終年度 (2024)
	検討	実施	⇒	⇒	⇒	⇒
目標値	—			2 回		2 回
実績値	—	2 回	3 回	3 回		

[※分野を超えた検討の場の実施回数]

年度別実施計画		実施評価
初年度	柏市やあいネット等の関係機関と協議を行い、計画に掲げる包括的な相談支援体制の構築に向けた検討を行う	○
2 年目	複合的な課題解決に向けた会議等を年 2 回開催し、課題解決に向けた連携の場づくりを行う	○
3 年目	社協、あいネット、生活支援課等との定例的な打合せを活用して連携や支援を行う	○
4 年目	あいネット、生活支援課等重層的支援関係団体の会議に参加する。また必要に応じて会議を開催する	○
5 年目		
最終年度		

② 複合的な課題を抱えたケース等の伴走支援（中間期見直しにより 4 年目から追加）

実施年度	初年度 (2019)	2 年目 (2020)	3 年目 (2021)	4 年目 (2022)	5 年目 (2023)	最終年度 (2024)
	—	—	—	実施	⇒	⇒
目標値	—	—	—	240 件		280 件
実績値	—	—	—	298 件		

[※相談支援機関と連携した伴走支援活動延件数]

年度別実施計画		実施評価
初年度	—	—
2 年目	—	—
3 年目	—	—
4 年目	複合的な課題を抱えた世帯に対し、多機関協働による伴走支援を行うため、市からの新規委託事業「エリアごとの支援体制整備事業」におけるエリアコーディネーターを担い、小・中会議を実施する。会議実施を通して、関係機関との連携強化と、より円滑な伴走支援の実施を目指す	○
5 年目		
最終年度		

(4) 福祉サービス利用援助事業の速やかな利用に向けた体制づくり

速やかな訪問調査や契約判断を行える体制づくりを進め、支援が必要な利用者の速やかな制度利用に取り組みます。

実施年度	初年度 (2019)	2 年目 (2020)	3 年目 (2021)	4 年目 (2022)	5 年目 (2023)	最終年度 (2024)
	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
年度別実施計画						実施評価
初年度	生活支援員向けの研修会を開催し、質の向上を図るとともに、退任民生委員向け説明会を実施し、新たな生活支援員の確保を行う					△
2 年目	利用者数の増加に対応するため、生活支援員の確保や研修等を行い、人材確保と質の向上を図る					△
3 年目	認知症、精神障害者等、様々な利用者に対応するため、生活支援員の確保に向けた研修、スキルアップ研修等を実施する					○

4 年目	高齢者、障害者様々な利用者に対応した、また活動経験年数に応じた研修を行う	○
5 年目		
最終年度		

(5) 権利擁護の切れ目のない支援

元気なうちから亡くなるまでを意識した継続的な支援体制の構築を目指し、任意後見や死後事務等に取り組みます。

実施年度	初年度 (2019)	2 年目 (2020)	3 年目 (2021)	4 年目 (2022)	5 年目 (2023)	最終年度 (2024)
	検討	実施	⇒	⇒	⇒	⇒
年度別実施計画						実施評価
初年度	任意後見、死後事務、財産管理等委任契約を総合的に支援できる相談支援体制の構築に向けた支援を行う					◎
2 年目	福祉サービス利用援助事業の利用者から法人後見への移行や任意後見、死後事務等のモデル的な取り組みを継続しながら、切れ目のない支援体制の充実を図る					○
3 年目	日常生活自立支援事業から成年後見制度利用に向け、切れ目のない支援ができるよう生活支援員、後見支援員への研修体制を充実する					○
4 年目	第2期成年後見制度利用促進基本計画を踏まえた取り組み（任意後見制度の普及啓発等）を行う					○
5 年目						
最終年度						

(6) 介護予防事業の効果的な実施

これまでの介護予防事業の実践によるノウハウを活かし、老人福祉センターにおける介護予防の充実と利用者への情報提供に取り組みます。

① 介護予防センターにおける効果的な介護予防の実施

実施年度	初年度 (2019)	2 年目 (2020)	3 年目 (2021)	4 年目 (2022)	5 年目 (2023)	最終年度 (2024)
	実施	⇒	⇒	—	—	—
目標値	50 回			—	—	—
実績値	68 回	63 回	82 回	—	—	—

[※公共施設等を利用した講座開催回数]

年度別実施計画						実施評価
初年度	柏の葉公園センター、モラージュ柏、クリーンセンター、地域医療連携センター等の地域性を意識した講座企画を増やす					○
2 年目	柏の葉公園センター、モラージュ柏、クリーンセンター、地域医療連携センター等を活用し、地域に根ざした講座展開を進める					△
3 年目	コロナ禍でも社会参加できる活動の場づくりの提案・支援を行うとともに、紙面講座を通じた「つながり切らないための活動」支援を行っていく					◎
	計画3年目（令和3年度末）をもって、柏市からの介護予防事業の受託が終了となったため実践終了とする					—

② 老人福祉センターにおける効果的な介護予防の実施

実施年度	初年度 (2019)	2 年目 (2020)	3 年目 (2021)	4 年目 (2022)	5 年目 (2023)	最終年度 (2024)
	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
目標値	500 人			800 人		1,000 人
実績値	514 人	60 人	113 人	886 人		

[※老人福祉センター事業の内、主たる目的が介護予防の講座の参加者数]

年度別実施計画						実施評価
初年度	ほのぼのプラザとの連携を強化し、介護予防機能を有した事業展開をする					○

2 年目	参加者の増加を目的とし、ほのぼのプラザと連携を強化し魅力ある講座を実施する	△
3 年目	高齢者の引きこもり防止を目的に、コロナ禍でも創意工夫を図り、魅力ある講座を実施するため、ほのぼのプラザとの連携、強化を図る	△
4 年目	コロナ禍でも創意工夫しながら、魅力ある講座を企画し参加者の増加を図る。また、トータルヘルス協議会と連携し、新たな講座を開講する	○
5 年目		
最終年度		

(7) 新たな子ども・子育て支援（預かり事業）の実施

一時預かり事業（ぞうさんルーム）の拡充や、保護者の緊急時に子どもを預かる体制づくりに取り組みます。

① 一時預かり事業（ぞうさんルーム）の拡充

実施年度	初年度 (2019)	2 年目 (2020)	3 年目 (2021)	4 年目 (2022)	5 年目 (2023)	最終年度 (2024)
	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
目標値	190 人			210 人		210 人
実績値	185 人	98 人	140 人	208 人		

※3 年目）コロナ禍で受入人数を半分体制

【※ぞうさんルーム利用者数】

年度別実施計画		実施評価
初年度	利用者からのニーズに応え、10 月から月 1 回ぞうさんルーム実施日の拡大を図る	○
2 年目	令和 3 年 10 月より第 3 火曜日を実施予定のため、一人に対する月の利用制限を設ける等、多くの方に利用してもらうよう利用状況の見直しを図る	○
3 年目	ぞうさんルームについて、3 時間から 6 時間に一部拡大（受け入れ人数の半分）し、6 時間の利用者にアンケートを行い、利用の効果を把握して今後の拡大の検討の参考にする	○
4 年目	5 月より第 4 火曜日の追加と利用上限時間（月 1 2 時間）及び、最大 4 人受け入れ可能な時間配分を設定し、利用実人数の増加を図る ぞうさんルームの拡大（毎日実施）に向けて、協力会員の獲得や予約方法等の見直しや職員の増員等、子育て支援課と協議をする	○
5 年目		
最終年度		

② 保護者の緊急時の子どもの預かりの体制づくり

実施年度	初年度 (2019)	2 年目 (2020)	3 年目 (2021)	4 年目 (2022)	5 年目 (2023)	最終年度 (2024)
	検討	⇒	⇒	⇒	⇒	実施

※利用者のニーズに応えた預かり体制の検討・実施

年度別実施計画		実施評価
初年度	市との定期的な話し合いを行い、場所や人材確保を含め検討する	△
2 年目	社協としての緊急の預かりを再確認したうえで、実施できることを想定した受け入れ体制の構築及びマニュアル作りを考えていく	△
3 年目	ぞうさんルームの 6 時間拡大による利用者親子の反応をみて、一時保育の在り方を考えていく。また、アンケート調査を実施し、利用者のニーズに応えられるよう模索し、小さなことでも実施につなげられる糸口を探す	○
4 年目	去年度のアンケートを今年度も継続し、ニーズの整理等を行う アンケート結果から見えてきた利用者のニーズに応えられる取り組みを小さなことでも実施する	○
5 年目		
最終年度		

(8) 移動困難者への支援

高齢者や障害者等の移動困難者に対し、通院や社会参加（サロン参加等）等の日常生活における移動支援に取り組みます。福祉有償運送の安定的な実施（こらくだくん）に取り組みます。						
実施年度	初年度 (2019)	2 年目 (2020)	3 年目 (2021)	4 年目 (2022)	5 年目 (2023)	最終年度 (2024)
	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
目標値	6,500 件			6,800 件		7,000 件
実績値	5,681 件	4,506 件	5,199 件	4,969 件		

[※年間利用総件数]

年度別実施計画		実施評価
初年度	職員の資質向上に向けた研修会を実施する	○
2 年目	利用者に対し均一したサービス提供ができるように、特例等の見直しを含め内規等の見直しを図る	○
3 年目	市民にとって利用しやすく均一したサービスが提供できるよう、特例件数の更なる見直し、内規等の整備を実施する	○
4 年目	車両購入計画の見直し、また、車両管理について内規等の見直しを図る	○
5 年目		
最終年度		

(9) 地域組織との連携による地域包括ケアシステムのモデル展開と普及

沼南圏域から地域組織や地元住民等の協力と連携のある個別ケアの支援体制（地域包括ケアシステム）のモデル的な展開と普及に取り組みます。						
実施年度	初年度 (2019)	2 年目 (2020)	3 年目 (2021)	4 年目 (2022)	5 年目 (2023)	最終年度 (2024)
	実施	⇒	⇒	実施	⇒	⇒
目標（積算）	1 件			2 件		3 件
実績値（積算）	1 件	2 件	3 件	4 件		

[※個別ケア支援体制の普及数]

年度別実施計画		実施評価
初年度	団地で地域組織と連携して徘徊模擬訓練・サポーター講座などを行い、戸建て地域と比較した住まい方の違いによる効果的な認知症の方の見守り体制づくりを検討する	△
2 年目	団地や学校・商店会などの地域の中で、認知症の方への声かけと見守り体制について、有事の際（新型コロナや災害等）の多対応も合わせ、地域組織や事業者と連携し検討する	△
3 年目	大津ヶ丘団地や商店会を中心に、認知症サポーター養成講座、徘徊模擬訓練などを行い、地域の中での認知症の方への声かけと見守り体制について、地域組織や事業者と連携し検討する	○
4 年目	大津ヶ丘・塚崎地区で地域住民と協力し、パンザマストやメール配信を利用した認知症の方の見守り体制をつくる 高柳相談窓口のあるヤオコー、その他の店舗と連携し、認知症があっても利用しやすい施設（地域資源）となるよう仕組みづくりを進める	△
5 年目		
最終年度		

5 情報発信・普及啓発

社協アクションプラン

(1) 地域共生社会の普及啓発

市民一人ひとりがあらゆる生活課題に取り組む「我が事」の意識等「地域共生社会」の考え方や活動について、その普及啓発に取り組みます。						
実施年度	初年度 (2019)	2 年目 (2020)	3 年目 (2021)	4 年目 (2022)	5 年目 (2023)	最終年度 (2024)
	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒

年度別実施計画		実施評価
初年度	第4期活動計画のPRを含め、本会HPにより地域共生社会の考え方等について啓発を行う	◎
2年目	行政との連携会議の充実と地域での支えあい活動を活かした地域共生社会の意識の醸成を進めていく	○
3年目	第4期柏市地域健康福祉活動計画の見直しとともに、地域共生社会の実現に向けた啓発方法を再考していく	○
4年目	紙ひこうきを活用した地域共生社会構築を切り口とした情報配信 各担当によるオンラインやYouTubeによる情報配信に向けた環境整備	○
5年目		
最終年度		

(2) 福祉課題の社会化（見える化）

社協に寄せられた相談内容の分析結果や福祉課題等を市民や関係機関等に発信し、地域で起きている福祉課題の社会化（見える化）に取り組めます。

実施年度	初年度 (2019)	2年目 (2020)	3年目 (2021)	4年目 (2022)	5年目 (2023)	最終年度 (2024)
	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
目標値	1回			1回		1回
実績値	1回	3回	1回	1回		

[※見える化して発信した回数]

年度別実施計画		実施評価
初年度	相談データ等を整理・分析し、福祉課題や傾向等の見える化を行うとともに、各種会議やHP等を活用し、福祉課題の傾向等の情報共有を行う	△
2年目	貸付利用者の状況や心配ごと相談の相談内容等のデータを整理し、課題や傾向を分析する。また、分析結果を会議等で情報提供・共有する	○
3年目	対応困難な相談事例等を集約・整理し、課題の見える化を図り、課題解決に向けた検討や連携などにつなげる	○
4年目	貸付利用者の傾向を分析し、現状と課題の見える化を図る。また、特に生活保護受給者が多いことから分析結果は、生活支援課と共有する	○
5年目		
最終年度		

(3) 全世代を対象とした意思決定支援の普及啓発と実施

子どもから高齢者、障害の有無を問わず活用できる「わたしの望みノート」を目指します。また、介護や医療、死後等に関し、本人が意思を伝えられない時に伝える手段として意思決定支援の必要性の普及啓発と作成機会の提供に取り組めます。

① 「わたしの望みノート」の改訂

実施年度	初年度 (2019)	2 年目 (2020)	3 年目 (2021)	4 年目 (2022)	5 年目 (2023)	最終年度 (2024)
	検討	⇒	実施	⇒	⇒	⇒
年度別実施計画						実施評価
初年度	記入した人やケアマネージャー等の支援者から活用状況について意見を聞き、市・医師会が作成した資料や厚労省の動向等を踏まえて、「わたしの望みノート」改訂に向けて情報収集する					○
2 年目	「わたしの望みノート」を記入・活用した市民のモニタリング結果を踏まえ、より良い「わたしの望みノート」への改訂に向けた準備を行う					△
3 年目	これまでの取り組み等を踏まえ、今後のわたしの望みノートのあり方の検討と必要な改定を行う					○
4 年目	昨年度の後見支援員へのアンケートを踏まえ、書きやすいノートへ改定する					△
5 年目						
最終年度						

② 全世代に対する意思決定支援に関する普及啓発

実施年度	初年度 (2019)	2 年目 (2020)	3 年目 (2021)	4 年目 (2022)	5 年目 (2023)	最終年度 (2024)
	検討	実施	⇒	⇒	⇒	⇒
目標値	—			200 人		250 人
実績値	—	155 人	100 人	124 人		

[※普及啓発した人数]

年度別実施計画						実施評価
初年度	現在の「わたしの望みノート」をもとに、親を介護している世代や学生等も意思決定の必要性や重要性について考えられる普及啓発の仕方や内容を検討する					△
2 年目	南部いきいきセンターで行う事業を通して、幅広い人たちへの意思決定支援の普及啓発を行う					△
3 年目	後見支援員と協力して、南部近隣センター以外の場所で普及啓発事業を行う					△
4 年目	軽度知的障害者を対象とした意思決定支援ツールを作成する。また軽度知的障害者とその親へ、ツールとして意思決定支援の普及啓発を行う					△
5 年目						
最終年度						

(4) 障害者のスポーツを通じた理解促進

障害者のスポーツとの連携等、新たに福祉以外の切り口から障害理解の促進に取り組みます。						
実施年度	初年度 (2019)	2 年目 (2020)	3 年目 (2021)	4 年目 (2022)	5 年目 (2023)	最終年度 (2024)
	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
目標値	1 回			2 回		2 回
実績値	1 回	0 回	0 回	1 回		

[※スポーツを切り口とした理解促進の取り組み数]

年度別実施計画						実施評価
初年度	市スポーツ課との連携により、障害者スポーツの支援ボランティアの育成とともに、理解者を増やしていく					○
2 年目	市スポーツ課による障害者スポーツ推進連絡会に引き続き参画し、スポーツを通じた障害理解や人材育成を推進する					△
3 年目	市スポーツ課による障害者スポーツ推進連絡会へ参画を継続し、状況に応じて具体の調整を行う					×
4 年目	柏市障害者スポーツ推進連絡会の再開と共に関係団体との連携により、今後、当会で何ができるかを改めて検討する					△
5 年目						
最終年度						

(5) 寄附文化の醸成

様々な寄附や活動助成等の方法について、広く市民に普及啓発を行い、寄附文化の醸成や新たな活動助成金の獲得方法等の普及啓発に取り組みます。						
実施年度	初年度 (2019)	2 年目 (2020)	3 年目 (2021)	4 年目 (2022)	5 年目 (2023)	最終年度 (2024)
	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
年度別実施計画						実施評価
初年度	多様な寄附方法やファンレイジング等の情報を収集し整理する					△
2 年目	遺贈を含めた金銭及び物品寄附の仕組みづくりについて検討していく					△
3 年目	寄附の受け皿設置及び啓発物作成に向けた情報の整理を行う					○
4 年目	遺贈寄附の受け皿準備と併せて、啓発用チラシの制作をすすめていく					△
5 年目						
最終年度						

Ⅱ 社協発展・強化計画

〔年度別評価〕 「◎」 大幅に達成／「○」 概ね達成／「△」 取り組んだが達成に至らず／「×」 未実施

1 拠点戦略

社協発展・強化計画

(1) 新たな地域いきいきセンターの設置

市と協議の上、市民の身近な相談窓口や地域活動支援、ネットワークづくり等の拠点となる地域いきいきセンターの計画的な設置に取り組みます。

実施年度	初年度 (2019)	2 年目 (2020)	3 年目 (2021)	4 年目 (2022)	5 年目 (2023)	最終年度 (2024)
	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
目標値	6 ヶ所			9 ヶ所		11 ヶ所
実績値	6 ヶ所	7 ヶ所	8 ヶ所	9 ヶ所		

〔※地域いきいきセンター設置数〕

年度別実施計画		実施評価
初年度	市と調整を行い、補助金（人件費、事業費）要求等を行っていく 計画の設置目標を前倒しし、関係機関と調整のもと整備する	○ ○
2 年目	設置計画に基づき、次期開設に向けた調整を地域支援グループとともに進め、 人員配置と補助金要求の調整を行っていく 令和 3 年度 8 か所目の新規開設に向けて、関係機関及び地域との調整を図る	◎ ○
3 年目	市担当課との調整により、設置計画の見直しと設置に向けた調整（人員配置 計画、市補助金等）を行っていく 令和 4 年度 9 か所目のセンター開設に向けて、市担当課と協議をしながら準備・ 調整（地域選定、地域との合意形成等）を行う	○ ○
4 年目	令和 4 年度新規開設予定の増尾地域いきいきセンターの開設準備を進める。 令和 3 年度に柏市関係課と共有した整備計画に基づき、令和 5 年度 10 ヶ所目 の新規開設に向けた準備、調整を行う。	○
5 年目		
最終年度		

(2) 災害時、はぐはぐひろば沼南利用者への一時避難体制の整備

はぐはぐひろば沼南開設時に災害が起きた際、帰宅に不安を感じる利用者等を沼南社会福祉センターで一
時避難するための体制整備に取り組みます。

実施年度	初年度 (2019)	2 年目 (2020)	3 年目 (2021)	4 年目 (2022)	5 年目 (2023)	最終年度 (2024)
	検討	実施	⇒	⇒	⇒	⇒
年度別実施計画		実施評価				
初年度	沼南社会福祉センターと子育て支援グループの合同避難訓練を実施する					△
	避難所としての体制整備等の検討を行う					△
2 年目	センター内のそれぞれの担当グループの体制を整え、シミュレーションを交 えた避難訓練及び一時避難場所として想定した訓練を、センター全体で年 1 回行っていく					○
	災害時マニュアル等とあわせて、避難所として必要な新たな資機材の調査、 検討を行う					○
	子育て支援グループの避難訓練と併せ、一時避難場所を想定したシミュレ ーションを実施する					◎
3 年目	沼南社会福祉センターと子育て支援グループの連携で、一時避難体制と役割 を明確化し、はぐはぐひろばの避難訓練を沼南社会福祉センターの訓練に合 わせて、年 1 回合同で実施する					○
	引き続き、マニュアル改定と職員周知を実施し、資機材管理等については、 業者と調整を進め、引き続き検討する					○
	沼南社会福祉センターに新設した避難階段への避難経路の安全性を高めるた め、転落防止柵を設置する					◎
4 年目	センター全体の避難訓練等の取り組みや役割分担を確認しながら今年度の計 画や避難訓練を実施する。 子育て世代の防災に取り組む公益活動団体との連携を図る。					○
5 年目						
最終年度						

(3) 沼南社会福祉センターの維持管理及び機能の充実

沼南社会福祉センターの修繕計画等に基づく計画的な維持管理の徹底と、市民が利用しやすいセンターを目指し、センター機能の充実に取り組みます。

実施年度	初年度 (2019)	2 年目 (2020)	3 年目 (2021)	4 年目 (2022)	5 年目 (2023)	最終年度 (2024)
	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
目標値	13,000 人			14,500 人		15,500 人
実績値	12,414 人	5,435 人	6,024 人	9,680 人		

[※来館者数]

年度別実施計画		実施評価
初年度	利用者のニーズに応え、貸館の管理機能の充実を図る（調理室の整備）	○
	修繕費に関する負担の整理・調整を行い、財政に係る基本方針における修繕積立計画の見直しを行う	○
2 年目	規定に沿った貸館業務を実施するために、利用団体の利用料等の見直しを図る、また、LED化を計画どおり実施する（3 階）	◎
	財政に係る基本方針の見直しと修繕等保全計画に基づく工事を実施、来年度計画の実施に向けた補助金調整を行っていく	○
3 年目	定期補修整備の実施、主にエレベーター補修及び高圧電気設備の補修と照明のLED化（2F）	○
	修繕等保全計画の更新と計画に基づく工事に係る市補助金の調整を行っていくとともに、修繕積立金のあり方を検討する	○
4 年目	コロナ感染拡大防止対策に向けての設備等の検討 専門業者に委託し、大規模修繕計画の見直しを図る	△
5 年目		
最終年度		

(4) 沼南社会福祉センターの全世代型施設への強化

子育て支援拠点や移動サービス、地域包括支援センター、ボランティア活動室等、あらゆる市民を対象とした施設である沼南社会福祉センターを、全世代型の施設として、その機能強化に取り組みます。

実施年度	初年度 (2019)	2 年目 (2020)	3 年目 (2021)	4 年目 (2022)	5 年目 (2023)	最終年度 (2024)
	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
年度別実施計画		実施評価				
初年度	子育て世代から高齢者まで多様な世代の方からの相談等が受けられる相談窓口の連携を強化する	○				
	全世代型の施設を意識した連携事業を行う	△				
	各担当と連携し、試行的実施に向け定期的に検討の場を設置する	△				
2 年目	定期的な会議の場を設け、計画的な事業展開を図る	○				
	センター全体での会議の実施、各担当グループができることを出しあい、センター全体で取り組めるイベント等を模索及び計画を立てていく	△				
	令和 2 年度の早い時期に、沼南社会福祉センターと子育て支援グループと、お互いの特性を活かした効果的な取り組みについて検討する	○				
	令和 2 年度の試行的実施に向けて、各担当による検討・調整の場を設定する	○				
3 年目	全世代型施設への取り組みについて、担当課間で話し合いの場を設け、具体策を講じ、事業実施に向け計画する	○				
	はぐはぐひろば利用者やイベント等の際に、障害者施設の出張販売や認知症カフェとの連携など、新たなつながりや理解を生む機会を提供する	△				
	沼南社会福祉センター全体でできることを話し合う機会をもつ。各担当が協力し合える体制づくりのために、災害避難訓練の合同実施を今年度も行う	○				
	関連する各担当による検討の場を設定し、試行実施に向けた調整を行っていく	○				
4 年目	全世代型施設への取り組み強化を図る為、引き続き定期的な話し合いの場を設ける。また、昨年度コロナ感染まん延防止期間で延期となった交流事業の実現に向けた計画を実行する	△				
5 年目						
最終年度						

(5) 事務所機能のあり方の検討と事務所施設の確保

ボランティアセンター設置場所や事業規模の拡大、職員数の増加等を踏まえ、機能的な事務所機能のあり方の検討と事務所施設の確保に取り組みます。						
実施年度	初年度 (2019)	2 年目 (2020)	3 年目 (2021)	4 年目 (2022)	5 年目 (2023)	最終年度 (2024)
	検討	⇒	実施	⇒	⇒	⇒
年度別実施計画						実施評価
初年度	官民協働検討委員会の動向を踏まえ、地域福祉課と連携しボランティアセンターのあり方等を検討する					△
2 年目	市の包括的相談支援体制の方向性に基づき、新たな教育福祉会館における本会の役割を明確化し、令和 3 年度に向け組織改編を検討する					◎
3 年目	将来的な事業展開を踏まえ、組織体制及び事務所のあり方を整理し、組織改編を視野に検討を行っていく					○
4 年目	将来的な事業展開を踏まえ、組織体制及び事務所のあり方を整理し、組織改編を視野に検討を行っていく					△
5 年目						
最終年度						

2

人事戦略

社協発展・強化計画

(1) 人事採用計画に基づく職員定数の適正化と計画的な職員採用【採用】

事業規模や業務量、職員の年齢構成等を踏まえ、人事採用計画の見直しを図るとともに、計画的な人事採用により、職員の適正定数確保に取り組みます。						
実施年度	初年度 (2019)	2 年目 (2020)	3 年目 (2021)	4 年目 (2022)	5 年目 (2023)	最終年度 (2024)
	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
年度別実施計画						実施評価
初年度	地域包括支援センターにランチや利用促進基本計画における中核機関の動向により、人事採用計画の見直しを行う					○
2 年目	将来的な事業展開を踏まえ、地域いきいきセンターや相談支援体制の強化・安定化を柱とした適正な人員配置を検討し、定年補充等を含めた採用計画の見直しを行う					◎
3 年目	地域いきいきセンターの設置計画及び定年退職者の補充、さらには将来的な組織改編を視野に職員定数及び採用計画の見直しを行う					○
4 年目	今後 10 年間に向けた採用計画を立てていく					△
5 年目						
最終年度						

(2) 体系的な人材育成による職員の専門性の向上と資質の確保【育成】

人材育成・研修体系基本方針に基づき、OJT（職務内）、OFF-JT（職務外）、SDS（自己啓発援助制度）の視点から人材育成を行い、職員の専門性の向上と職務職階に必要な資質の確保に取り組みます。						
実施年度	初年度 (2019)	2 年目 (2020)	3 年目 (2021)	4 年目 (2022)	5 年目 (2023)	最終年度 (2024)
	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
年度別実施計画						実施評価
初年度	階層別研修の見直しとOJTのあり方、指導担当職員の配置等について検討する					◎
2 年目	人材育成基本方針に基づき、特に法人会計や労務管理等に関する外部研修への参加・資格取得を強化する					◎
3 年目	職員の人材育成・研修体系基本方針に基づき、職階上並びに業務上必要な専門知識の取得を推進していく					○

4 年目	職員の人材育成・研修体系基本方針に基づき、職階上並びに業務上必要な専門知識の取得を推進していく	○
5 年目		
最終年度		

(3) 明確な評価制度と処遇等への適正な反映【評価と処遇、配置】

明確な人事考課制度と基準に基づく評価、評価結果の処遇への適正な反映等により、適正な人事管理や配置、職員の就業意欲の向上に取り組みます。

実施年度	初年度 (2019)	2 年目 (2020)	3 年目 (2021)	4 年目 (2022)	5 年目 (2023)	最終年度 (2024)
	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
年度別実施計画						実施評価
初年度	現在の人事考課制度と処遇を検証し、その方策を検討する					△
2 年目	実施計画等の連動による目標設定と人事評価を検討する					◎
3 年目	評価目標の取り組み推進に向けた中間面談を実施する					○
4 年目	正職員の評価制度と昇格の仕組みの明確化。契約職員の契約更新に向けた意向調査、評価、通知のスケジュール調整					○
5 年目						
最終年度						

(4) 障害者雇用の推進【採用】

障害者がその能力を発揮できる職場環境の整備と職員の意識改革を図る等、障害者雇用の推進に取り組みます。

実施年度	初年度 (2019)	2 年目 (2020)	3 年目 (2021)	4 年目 (2022)	5 年目 (2023)	最終年度 (2024)
	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
年度別実施計画						実施評価
初年度	障害者雇用に係る関係機関（団体）と調整し、受入体制を整えたうえで、基準以上にするための採用準備を行う					△
2 年目	関係機関と連携し、障害者雇用のための情報収集と雇用に向けた検討を行う					◎
3 年目	障害者雇用職員が継続して働きやすい環境整備とマニュアルを作成する					△
4 年目	昨年度は障害者雇用の継続に至らなかったため、本会での受け入れ環境を再度確認するとともに、ハローワーク、障害者就労支援機関と雇用に向けた調整を行う					○
5 年目						
最終年度						

(5) 働きやすい職場環境の整備による長期雇用の実現【処遇】

働きやすい職場環境や福利厚生等の充実を図り、職員の長期雇用を実現し、安定した組織運営や福祉サービスの提供、地域福祉活動の支援に取り組みます。

実施年度	初年度 (2019)	2 年目 (2020)	3 年目 (2021)	4 年目 (2022)	5 年目 (2023)	最終年度 (2024)
	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
年度別実施計画						実施評価
初年度	働き方改革に向けた本会方針を策定するとともに、衛生委員会への諮問や近年の離職率を算出する					△
2 年目	働きやすい職場についてのアンケートを実施する					◎
3 年目	前年度の職場環境調査及びストレスチェックの評価を踏まえて、改善目標の設定と改善に向けた職員の意識の共有をする					◎
4 年目	「時間外労働・休日労働の管理について」のフロー図等を作成し、職員へ周知を図った。今年度は、時間外労働・休日労働及び年休消化率の実績を見て、改善等の動向を把握し、より働きやすい職場環境の実現を目指す					○
5 年目						
最終年度						

(1) 役員・評議員の機能強化

定数や選出区分の見直し等を行い、理事会や評議員会の活性化と環境整備を図り、執行・議決機関としての機能強化に取り組みます。						
実施年度	初年度 (2019)	2 年目 (2020)	3 年目 (2021)	4 年目 (2022)	5 年目 (2023)	最終年度 (2024)
	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
年度別実施計画						実施評価
初年度	任期満了に伴う改選（令和 3 年度）に向けた定数及び執行・議決機関の意義を再確認するとともに、理事会・評議員会で意見聴取し、方針案を策定する					△
2 年目	令和元年度に調査した他市状況結果をさらに精査したうえで、任期満了に伴う改選（令和 3 年度）に向けて方針案を提案する					◎
3 年目	令和 3 年度の役員、評議員の改選を機に、それぞれの役割の明確化と機能強化並びに職員と顔の見える関係の構築に取り組む。また、議論できる体制と意思決定を行う機会を増やすために理事会の充実を図り、地域ニーズや活動者等の声を法人の運営に反映できるよう、評議員のテーマ別懇談会を実施する。さらにはオンライン会議の開催に向けた環境の整備と体制を構築する					○
4 年目	昨年度、理事・評議員の定数の見直し、役員の役割の明確化を図った。今年度は、その機能についての評価を行い、次年度の改選に向けてさらなる機能強化を図る					○
5 年目						
最終年度						

(2) 市社協の認知度向上と理解者の拡大

既存の P R 媒体の定期的な見直しや新たな広報媒体の活用、対象を意識した普及啓発活動等により、市社協の認知度向上や理解者の拡大に取り組みます。						
実施年度	初年度 (2019)	2 年目 (2020)	3 年目 (2021)	4 年目 (2022)	5 年目 (2023)	最終年度 (2024)
	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
年度別実施計画						実施評価
初年度	オンライン及びオフライン媒体を有機的に活用した P R を行う					○
2 年目	社協事業の啓発を行うための啓発物を制作する					△
3 年目	企業に向けたアンケートによる協力可能な状況を踏まえて、G L 会議等で議論し、認知度向上に企画案を作成する					○
4 年目	社協ガイドや福祉の広報紙「紙ひこうき」等の社協に関する情報の届け先を精査し、認知度向上に務める。また、社協の事業報告の他、寄付等の市民から得た好意の活用状況について知らせていくことで、利用者拡大を図る					○
5 年目						
最終年度						

(3) 災害時の体制整備

災害時、利用者の安否確認や災害ボランティアセンター設置等を速やかに行えるように職員参集や設置訓練等を実施し、災害時の体制整備に取り組みます。						
実施年度	初年度 (2019)	2 年目 (2020)	3 年目 (2021)	4 年目 (2022)	5 年目 (2023)	最終年度 (2024)
	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
年度別実施計画						実施評価
初年度	本部マニュアルの再確認及び担当部署の対策（マニュアル等の有無）を集約し、総括的な対策について検討する					△
	沼南社会福祉センターの防災計画の見直しを行い、避難訓練を実施する					△
2 年目	災害対策会議の検討内容にあわせてマニュアル改訂を行う					△
	避難経路の確保と整備として、はぐはぐひろばからの外階段の設置や外経路の整備を実施する。また、それに併せ新たな避難経路のマニュアルを作成する					○
3 年目	引き続き、マニュアル改定と職員周知を実施し、資機材管理等については、業者と調整を進め、引き続き検討する					○
	消防計画に沿った避難訓練を実施し、新たに避難経路のマニュアルを作成する					○

4 年目	引き続きマニュアル改定と職員周知を徹底する。資機材の点検は課を超えた職員参加による資機材在庫点検を行うことで、周知を図る	◎
	消防計画に沿った災害訓練の実施。また、その中で地震等により一時避難所となった場合を想定した訓練を取り入れる	△
5 年目		
最終年度		

(4) 社会福祉法人との連携強化

協議体や中間組織としての機能を活かし、社会福祉法人等とのネットワーク形成や連携を図りながら機能的な法人運営や効果的な事業展開に取り組みます。						
実施年度	初年度 (2019)	2 年目 (2020)	3 年目 (2021)	4 年目 (2022)	5 年目 (2023)	最終年度 (2024)
	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
年度別実施計画						実施評価
初年度	年に 1 度の合同研修と懇親を実施。その他、法人連携や協働事業を模索するため若い職員を中心としたネットワークの設置を検討する					○
2 年目	法人の種別バランス（高齢・障害・児童等）を考慮し、10 名程度のコアメンバーによる検討会の立ち上げを進める					◎
3 年目	市内の全法人を対象としたネットワークの組織化に向けて、現状の検討会の活性化により組織体制や事業展開（取り組み）を具現化していく					○
4 年目	社会福祉法人ネットワークの組織化に向けて具体的な組織の設立をすすめる					○
5 年目						
最終年度						

(5) 機能的な事務局組織体制の構築

組織と事業規模が拡大する中で、スピード感のある意思決定や組織運営が行える機能的な事務局組織体制の構築に取り組みます。また今後、A I（人工知能）等の新たな技術を活用した事務の効率化等の検討も行います。						
実施年度	初年度 (2019)	2 年目 (2020)	3 年目 (2021)	4 年目 (2022)	5 年目 (2023)	最終年度 (2024)
	検討	⇒	実施	⇒	⇒	⇒
年度別実施計画						実施評価
初年度	組織体制の現状を再整理・再検討する。また、スピーディな事務処理、決裁手段ができる環境を模索する					△
2 年目	専決・決裁区分の見直しを行う					△
3 年目	集めた情報を整理し、検証・評価・協議を行う					△
4 年目	他市事例を元に、本会内での事務局機能の課題や、より効果的な担当間の連携にむけて検証する場を設ける					○
5 年目						
最終年度						

(6) 市との連携強化

事業担当者間の課題解決や懸案事項の調整、合意形成等を目的とした会議等を開催し、市との連携強化に取り組みます。						
実施年度	初年度 (2019)	2 年目 (2020)	3 年目 (2021)	4 年目 (2022)	5 年目 (2023)	最終年度 (2024)
	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
年度別実施計画						実施評価
初年度	社会福祉課との連絡調整会議や地域共生社会の実現に向けた連携会議により、包括的な相談支援体制の構築に向け調整を図っていく					○
2 年目	福祉政策課との連絡調整会議、地域共生社会の実現に向けた連携会議において、特に包括的相談支援体制の構築について本会の意向等を発信していく					○

3 年目	地域共生社会の実現や重層的支援体制整備事業において、本会の役割と機能を十分に発揮するため、市や関係機関と連携をさらに強化していく。また、災害時における相互協力に関する協定の締結等についても具現化を進めていく	○
4 年目	災害ボラセンの委託契約に関する調整も行うことができたが、来年度は相互協力に関する協定の締結に向け、さらに連携を進めていく	○
5 年目		
最終年度		

(7) 個人情報保護や財務会計のチェック体制の強化

個人情報の保護や財務会計のチェック体制の強化等、法人としてのコンプライアンスやガバナンスの強化に取り組みます。						
実施年度	初年度 (2019)	2 年目 (2020)	3 年目 (2021)	4 年目 (2022)	5 年目 (2023)	最終年度 (2024)
	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
年度別実施計画						実施評価
初年度	現状の個人情報のリスト化、会計チェックの再検証を行い、内部牽制の再構築を図る					○
2 年目	個人情報の取り扱いに関する知識向上と意識の醸成を図ったうえでチェック体制のあり方について検討する					◎
3 年目	外部講師を招いて研修会を実施し、その後、担当ごとのチェックリスト作成を検討する					○
4 年目	改正個人情報保護法のポイント等を職員へ周知し、個人情報データ取扱のリスク対応等の観点を共有する					○
5 年目						
最終年度						

4

財政戦略

社協発展・強化計画

(1) 会員会費制度の見直しと会員確保

会費の安定財源化を目指し、会員会費制度の見直しと P R の強化、使途の明確化（充当先の整理）等を図り、会員確保と会費拡充に取り組みます。						
実施年度	初年度 (2020)	2 年目 (2021)	3 年目 (2022)	4 年目 (2023)	5 年目 (2024)	最終年度 (2025)
	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
年度別実施計画						実施評価
初年度	財源確保・社協認知度のための会員制度の啓発方法を検討する					○
2 年目	会員向けに昨年度発行した社協カレンダーの評価アンケートを行い、その結果をもとに今後について検討する。また、3-(2) と一体的な運営を行う					○
3 年目	パンフレットの見直しと合わせて、職員に写真の提供依頼をしていく					△
4 年目	未納が続いているの会員の整理をし、正確な会員の把握をする。 そのうえで、市社協のやっている事業がよりわかりやすいようなカレンダーの作成や、新規会員への P R の方法を模索し、会員の確保に努める					○
5 年目						
最終年度						

(2) 寄附文化の醸成と寄附者の拡大

市民が寄附したいと思える寄附制度の構築と市民一人ひとりに届くPRや寄附者への実績報告等により、寄附文化の醸成と寄附者の拡大に取り組みます。						
実施年度	初年度 (2019)	2 年目 (2020)	3 年目 (2021)	4 年目 (2022)	5 年目 (2023)	最終年度 (2024)
	検討	実施	⇒	⇒	⇒	⇒
年度別実施計画						実施評価
初年度	寄附者への実績報告を行い、寄附の継続を推進するとともに、募金箱設置増などの新たな寄附（募金）の啓発等、可能性を検討する					△
2 年目	寄附者以外に対し寄附金の使われ方を周知する方法を検討する					△
3 年目	寄附の受け皿設置及び啓発物作成に向けた情報の整理を行う					○
4 年目	遺贈寄附の受け皿準備と併せて、啓発用チラシの制作をすすめていく					△
5 年目						
最終年度						

(3) 物品寄附の有効活用に向けたしくみづくり

受領した物品を市内の社会福祉法人等で有効活用してもらえネットワークの構築やしくみづくりに取り組みます。						
実施年度	初年度 (2019)	2 年目 (2020)	3 年目 (2021)	4 年目 (2022)	5 年目 (2023)	最終年度 (2024)
	検討	実施	⇒	⇒	⇒	⇒
年度別実施計画						実施評価
初年度	物品寄附による必要な施設（団体）への情報提供方法を検討する					△
2 年目	物品寄附の有効活用に向け、新たな情報提供方法を検討する					△
3 年目	物品寄附受付対応強化と受付・活用のルール化、さらに活用先が広げるツール作り（ホームページの活用等）を行う					△
4 年目	昨年度は、社会福祉法人連携を通じて活用先に一部広がりをみせたため、新たな活用先を引き続き模索するとともに、寄附受け入れ時のルール化についても検討する					○
5 年目						
最終年度						

(4) 新たな財源獲得に向けた収益事業の検討

自主財源の更なる獲得に向け、新たな収益事業の実施に向けて取り組みます。						
実施年度	初年度 (2019)	2 年目 (2020)	3 年目 (2021)	4 年目 (2022)	5 年目 (2023)	最終年度 (2024)
	検討	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
年度別実施計画						実施評価
初年度	新規取り組みを含め、収益事業の方策を再検討する					△
2 年目	収益事業の自動販売機設置経営事業を評価し、今後の方策を検討する					△
3 年目	新型コロナウイルス感染拡大による企業活動の影響に鑑み、アンケート実施時期を検討する					△
4 年目	自動販売機の設置に関して必要性等を整理し、新たに特別会員へ設置依頼をかけることも視野に検討を進める					△
5 年目						
最終年度						

(5) 共同募金の効果的・機能的な配分

共同募金配分委員会での活発な議論を通じ、共同募金財源の地域活動への効果的・機能的な配分に取り組みます。						
実施年度	初年度 (2019)	2 年目 (2020)	3 年目 (2021)	4 年目 (2022)	5 年目 (2023)	最終年度 (2024)
	検討	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
年度別実施計画						実施評価
初年度	共同募金配分委員会を通じた適正な配分方法を検討する					△
2 年目	教育福祉会館耐震工事後の団体支援の方針を踏まえた助成金の見直しを検討する					△
3 年目	援護金や団体助成金等の仕組みについて組織全体で検討、見直しを図る					◎
4 年目	令和 3 年度に検討してきた、生活困窮世帯の小中学生への支援への調整継続と、令和 5 年から廃止する歳末たすけあい援護金配分については、変更になる旨と困ったときは社協に相談してもらえるように周知をしていく					○
5 年目						
最終年度						

(6) 適正な予算編成と配分

財政に係る基本方針に基づき、各事業の経費に対して最も適した収入財源を充当する等、収入と支出の関係性を踏まえ、市民や市から理解を得られる適正な予算編成と配分に取り組みます。						
実施年度	初年度 (2019)	2 年目 (2020)	3 年目 (2021)	4 年目 (2022)	5 年目 (2023)	最終年度 (2024)
	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
年度別実施計画						実施評価
初年度	自主財源の充当先を再検討し、特に新たな事業に対する財源確保を検討する					○
2 年目	特に基金を財源とした事業展開とその他財源（会費・寄附・共募等）における事業の整理を担当課とともに検討していく					△
3 年目	中長期的な視点に基づき、特に共同募金配分金（一般・歳末）や目的型基金を財源とした使途の整理と予算編成の見直しを行っていく					○
4 年目	共同募金、会費収入の減少に対応し、基金含め、各事業担当課と使い道を検討する。成年後見報酬のあり方を検討する					○
5 年目						
最終年度						

(7) コスト意識の徹底と財源の有効活用

限られた財源を有効に活用し、法人運営や各事業を効果的、安定的に実施するために、職員にコスト意識を徹底させ、無駄のない財源活用に取り組みます。						
実施年度	初年度 (2019)	2 年目 (2020)	3 年目 (2021)	4 年目 (2022)	5 年目 (2023)	最終年度 (2024)
	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
年度別実施計画						実施評価
初年度	コスト削減、財源の有効化を図るためのリスト化等の整備を検討する					△
2 年目	各部署におけるコスト削減の目標設定を促す。OA 機器に関する知識や技術の向上によるコスト削減につながる研修会等を企画調整室と検討する					○
3 年目	コピーや印刷に係るコストを算出し、前年度との比較を行ったうえで全職員へ周知伝達を行う。また、各担当で取り組むことができるコスト削減への取り組みを検討する					△
4 年目	会費や寄附、募金の財源の背景を認識し、より有効活用に向けた意識を全職員が共有するように研修等の場を活用し周知する					△
5 年目						
最終年度						

(8) 遺贈による寄附のしくみづくり

遺言等による遺贈への気持ちに応えるべく、遺贈による寄附受付のしくみづくりや新たな民間財源として有効活用できる方法の確立に取り組みます。

実施年度	初年度 (2019)	2 年目 (2020)	3 年目 (2021)	4 年目 (2022)	5 年目 (2023)	最終年度 (2024)
	検討	実施	⇒	⇒	⇒	⇒
年度別実施計画						実施評価
初年度	遺贈の受付についてマニュアル化し、使途を検討する					△
2 年目	遺贈寄附について権利擁護センターと連携して情報を収集し、遺贈寄附のあり方について検討する					○
3 年目	遺贈による寄附の仕組みづくりに向けて、規程や要綱等の情報収集を行い、窓口設置に向けて準備を進めていく					○
4 年目	遺贈寄附の受け皿準備と併せて、啓発用チラシの制作をすすめていく					○
5 年目						
最終年度						

社会福祉法人柏市社会福祉協議会
令和4年度事業報告書

柏市柏五丁目1-1番8号
電話 04-7163-9000
